

市 政 世 論 調 査 報 告 書

(第35回・平成15年)

調 査 項 目

第 1 章

定 生 防 文 地 都 市	犯 化 政	住 活 ・ 振 域 市 へ	防 興	意 環 災 の 福 交 の	対 推 要	向 境 策 進 祉 通 望
---------------------------------	-----------------	---------------------------------	--------	---------------------------------	-----------------	---------------------------------

第 2 章

「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度

八 王 子 市

はじめに

長期にわたる景気低迷により、右肩上がりの経済は大きく転換しています。また、かつて経験したことのない少子・高齢社会の到来など、今後の都市経営は、これまでのような高度成長を前提とした拡大指向の網羅型から、着実な計画に基づく選択型への転換を迫られています。

本市では、公募による市民の皆さんからご提案いただいた素案をもとに、新たな基本構想・基本計画として「人とひと、人と自然が共生し、だれもが生き生きするまち」をまちづくりの基本理念とした「八王子ゆめおりプラン」を策定し、本年度から実施しています。

また、8月には、このゆめおりプランを着実に推進していくために、市の組織を的確で効率的な行政運営を可能とする組織に再編し、市民の皆様との新たな協働関係を築く中で、全庁を挙げて様々な課題への取り組みを始めました。

今後は、「行政主導のまちづくり」から「市民と行政が対等な立場で、共通する目標の実現に向かって協調・協力する協働のまちづくり」への転換や、積極的な情報公開と広聴・広報活動の充実などにより、市民と行政との相互理解を深め、説明責任を果たし、市民に納得いただける質の高いサービスの提供に努めて参ります。

この『市政世論調査』は、広聴活動の一環として、市民の皆様の生活環境への意識や市の施策に対する評価及び要望を把握し、これからのまちづくりの資料とするために毎年実施しています。

なお、今年度の市政世論調査では、ゆめおりプランに掲げた各施策に対する指標の達成度を計るため、第2章に『「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度』を調査項目として設定しています。

今後も、市政世論調査を通じて市民の皆様の市政への参加を図り、調査結果を有効に活用し、市民の皆様と市との協働によるまちづくりを推進してゆく所存です。

最後になりましたが、この調査にご協力いただきました市民の皆様に心から御礼申し上げます。

平成15年9月

八王子市長 黒須 隆一

目 次

I	調査の概要	3
1	調査の目的	3
2	調査設計	3
3	調査項目	3
4	回収結果	4
5	報告書の見方	4
6	回答者の属性	5
II	調査結果の分析	13
	第1章	13
1	定住意向	13
1-1	定住意向	13
1-2	住み続けたい理由	16
1-3	市外へ移りたい理由	19
2	生活環境	21
2-1	生活環境の評価	21
3	防犯・防災対策	28
	(1) 防犯対策	
3-1	「生活の安全・安心に関する条例」の認知状況	28
3-2	日常生活における生活環境の安全度	29
3-3	現在の八王子市の治安状況	31
3-4	犯罪や危険との遭遇の有無	32
3-5	犯罪や危険に遭遇した場所	33
3-6	防犯対策の必要性	35
3-7	実行している（していた）防犯対策	37
3-8	防犯情報入手の際、一番有効と思う情報媒体	38
3-9	勧誘行為による迷惑経験の有無	39
3-10	勧誘内容	40
3-11	現在の勧誘行為についての印象	41
	(2) 防災対策	
3-12	災害に備えた準備の有無	42
3-13	大地震に備えた準備状況	42
3-14	建物倒壊防止や家具の転倒防止策の有無	43
3-15	自宅周辺の危険な場所の有無	44
3-16	居住地域の避難場所の認知度	45

(3) 自主防災組織	
3-17 自主防災組織の必要性	4 6
3-18 自主防災組織の結成状況	4 6
3-19 自主防災組織への参加の有無	4 7
3-20 自主防災組織に参加していない理由	4 8
3-21 自主防災組織や町会・自治会での防災訓練の実施状況	4 9
3-22 自主防災組織の活動に必要なこと	5 0
4 文化振興の推進	5 1
4-1 最も関心のある芸術・文化	5 1
4-2 1年間に鑑(観)賞または参加した芸術・文化活動	5 2
4-3 1年間の芸術・文化活動への参加頻度	5 3
4-4 芸術・文化活動から最も得られるもの	5 3
4-5 芸術・文化活動を行う際の情報媒体	5 4
4-6 文化施設使用時の選択理由や基準	5 5
5 地域福祉	5 6
(1) 地域での支え合い	
5-1 近所の人との付き合いの程度	5 6
5-2 悩みや不安の有無	5 7
5-3 悩みや不安について相談したい相手	5 8
5-4 日常生活が不自由になった際に地域に望むこと	5 9
5-5 地域で協力して取り組む必要がある問題	6 0
5-6 社会福祉サービス充実のための行政との関係	6 1
5-7 今後最も重視していくことが望ましい福祉分野	6 1
5-8 市が優先して取り組むべき保健・福祉施策	6 2
(2) 健康づくり	
5-9 日頃のストレスの有無	6 3
5-10 自分の健康状態	6 4
5-11 健康維持・増進のために自ら心がけていること	6 4
6 都市交通	6 5
6-1 外出の際に利用する交通手段	6 5
6-2 駅までの交通手段	6 6
6-3 交通手段の転換意向	6 7
6-4 交通手段利用時の不満度	6 8
6-5 不満を感じる理由	6 9
6-6 不満を感じない理由	7 0
6-7 交通手段の転換を進める際の課題	7 1
6-8 J R 八王子駅等の駅周辺の交通環境の課題	7 2
6-9 今後の交通環境の整備に期待すること	7 3

7 市政への要望	7 4
7-1 重点施策要望	7 4
第2章	7 8
8 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度	7 8
8-1 「協働」という言葉の認知度	7 8
8-2 「協働」が必要だと感じる分野	7 9
8-3 市の「協働」推進状況	8 0
8-4 市政情報への関心度	8 1
8-5 市政情報の入手媒体	8 2
8-6 現在の情報入手方法の満足度	8 3
8-7 市政情報の入手にあたり効果的な改善点	8 4
8-8 1年間でボランティア活動への参加の有無	8 5
8-9 1年間で盆踊りや清掃等地域行事への参加の有無	8 6
8-10 市の相談窓口の利用の有無	8 7
8-11 市の相談窓口を利用しない理由	8 8
8-12 市が行っている相談の認知状況	8 9
8-13 市が行っている相談の認知媒体	9 0
8-14 市の相談窓口の充実度	9 1
8-15 かかりつけの医療機関の有無	9 1
8-16 1年間に取り組んだ学習活動	9 2
8-17 取り組んだ学習活動の頻度	9 3
8-18 今後取り組みたい学習活動	9 4
8-19 1年間に行ったスポーツの内容	9 5
8-20 スポーツをした理由	9 7
8-21 1年間に行ったスポーツの頻度	9 8
8-22 『八王子八十八景』の認知度	9 9
8-23 魅力的だと感じる景観	1 0 0
8-24 居住地域の景観への配慮の有無	1 0 0
8-25 景観づくりに必要なこと	1 0 1
8-26 市外から八王子市を訪れる人の目的	1 0 2
8-27 八王子市のにぎわいと活力の有無	1 0 2
8-28 「八王子市環境基本条例」の認知度	1 0 3
8-29 環境問題への関心度	1 0 4
8-30 関心のある環境問題	1 0 5
8-31 省エネ・省資源のために行っていること	1 0 6

Ⅲ 質問と回答	1 0 9
---------	-------

調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市のまちづくりに有効に活用するほか、本調査を通じて市民参加・市民と市との協働によるまちづくりを推進する。

2. 調査設計

(1) 調査地域 : 八王子市内全域

(2) 調査対象 : 市内在住の満20歳以上の男女個人

(3) 対象者数 : 3,000人

(4) 抽出方法 : 層化2段無作為抽出法(層化→地点抽出→対象者抽出)

層化...「八王子ゆめおりプラン」で示された本庁・事務所管轄区域に基づき、6地域に区分する。(下図の地域区分図参照)

地点抽出...各地域の調査対象人口(満20歳以上男女)に応じて調査対象を配分する。調査対象に基づいて合計100地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。

対象者抽出...抽出された各地点において対象者が30人となるよう無作為系統抽出を行う。

本調査における地域区分

中央地域 : 本庁管内
西部地域 : 元八王子・恩方・川口
西南部地域 : 浅川・横山・館
北部地域 : 加住・石川
東南部地域 : 由井・北野
東部地域 : 由木・由木東・南大沢



(5) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収(ご協力のお礼とご回答のお願いハガキ 1回)

(6) 調査期間 : 平成15年6月20日～7月3日

(7) 調査機関 : (株)サーベイリサーチセンター

3. 調査項目

(1) 定住意向

(2) 生活環境

(3) 防犯・防災対策

(4) 文化振興の推進

(5) 地域福祉

(6) 都市交通

(7) 市政への要望

(8) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度

4. 回収結果

対象者数 : 3,000人

有効回収数 : 1,717票

有効回収率 : 57.2%

5. 報告書の見方

- (1) 回答は各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で表示してある。
- (2) 百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合には回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 全体には属性無回答を含むため、男女別等の属性別計の数と一致しない。
- (5) 作図・表の都合上、設問や回答の選択肢及び数値を省略している場合がある。

【標本誤差について】

調査結果の比率から母集団 (20歳以上の市民全体) の傾向を推測するには、統計上の誤差 (標本誤差) を考慮する必要がある。この誤差は回答者数と各設問の回答の率から、以下の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 比率算出の基数 (サンプル数)
p = 回答の比率

各回答比率における標本誤差早見表

回答の比率 (p) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,717	± 2.1%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%	± 3.4%
1,500	± 2.2%	± 2.9%	± 3.4%	± 3.6%	± 3.7%
1,000	± 2.7%	± 3.6%	± 4.1%	± 4.4%	± 4.5%
500	± 3.8%	± 5.1%	± 5.8%	± 6.2%	± 6.3%
250	± 5.4%	± 7.2%	± 8.2%	± 8.8%	± 8.9%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 12.3%	± 13.9%	± 14.1%
50	± 12.0%	± 16.0%	± 18.3%	± 19.6%	± 20.0%

(注) 表は $\frac{N - n}{N - 1} \times 1$ として算出した。

【早見表の見方】

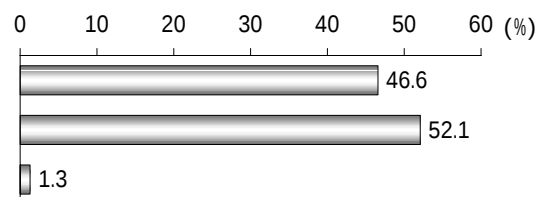
たとえば、「定住意向」について、「当分は住み続けたい」と回答した人は、全体 (n = 1,717) の41.9%であった。このケースでは抽出に伴う標本誤差は早見表より「± 3.3%」であるから、八王子市の20歳以上の人で「当分は住み続けたい」と考えている人は、標本誤差を補正すると38.6%から45.2%の間にあるということになる。

また、この計算式は信頼度を95%に設定してあるので、そのように考えて95%間違いがないということである (信頼度を99%に上げると誤差の幅はさらに大きくなり、実用に不適当なため95%を採用している)。

6 回答者の属性

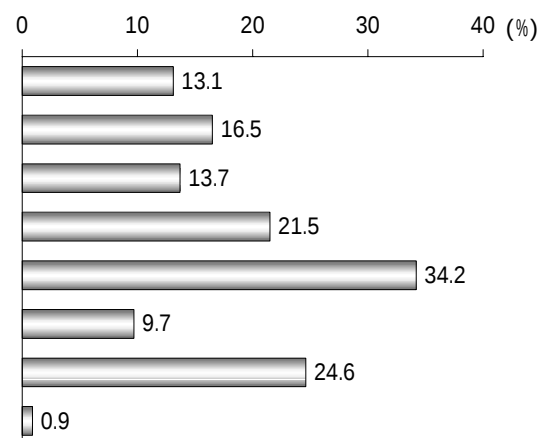
1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	800	46.6
2 女性	895	52.1
無回答	22	1.3
合 計	1,717	100.0



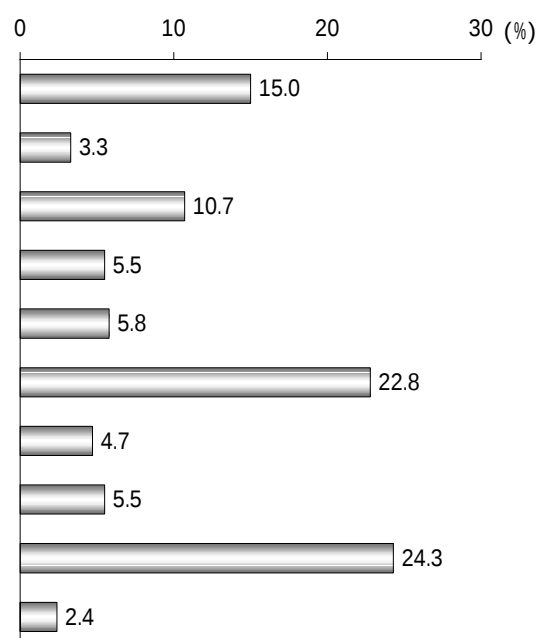
2 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 20代	225	13.1
2 30代	283	16.5
3 40代	235	13.7
4 50代	370	21.5
5 60歳以上	588	34.2
(60～64歳)	166	9.7
(65歳以上)	422	24.6
無回答	16	0.9
合 計	1,717	100.0



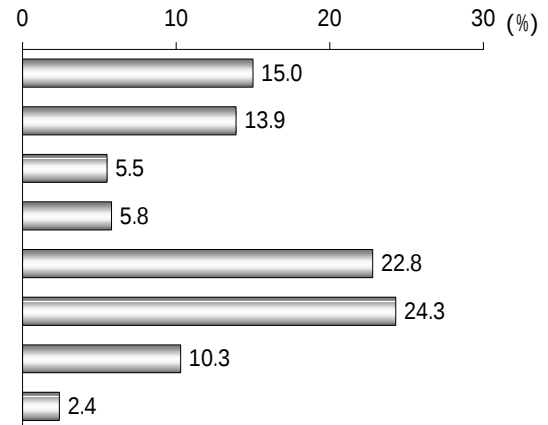
3 ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)
1 20～39歳で単身者	258	15.0
2 20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	56	3.3
3 20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	183	10.7
4 20～64歳で一番下の子どもが小学生	95	5.5
5 20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	99	5.8
6 20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	391	22.8
7 40～64歳で単身者	81	4.7
8 40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	95	5.5
9 65歳以上	417	24.3
無回答	42	2.4
合 計	1,717	100.0



■ ライフステージ（集約型）

	基数(人)	構成比(%)
独身期	258	15.0
家族形成期	239	13.9
家族成長前期	95	5.5
家族成長後期	99	5.8
家族成熟期	391	22.8
老齢期	417	24.3
その他	176	10.3
無回答	42	2.4
合 計	1,717	100.0

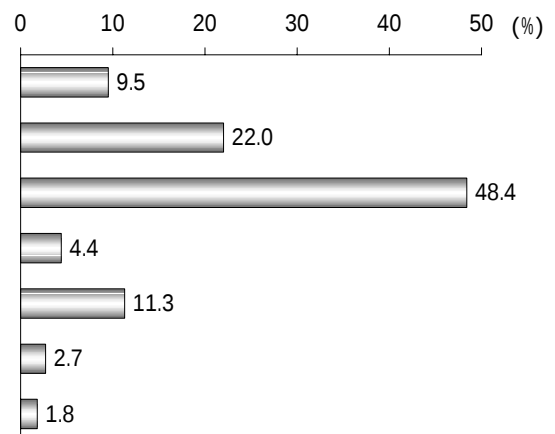


＊ ＊ ライフステージ区分 ＊ ＊

独 身 期	20～39歳で単身者
家 族 形 成 期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家族成長前期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家族成長後期	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生
家 族 成 熟 期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老 齢 期	65歳以上
そ の 他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

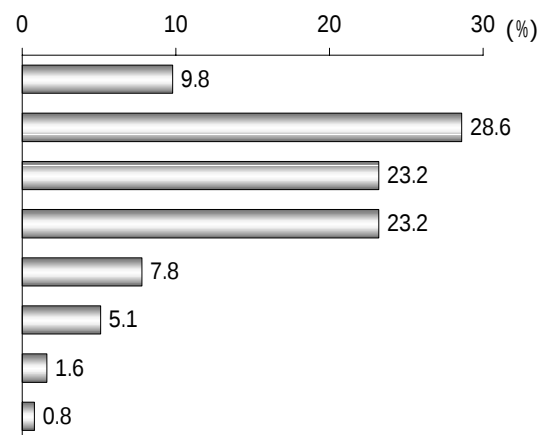
4 世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし（単身世帯）	163	9.5
2 夫婦のみ（一世代世帯）	377	22.0
3 親と未婚の子ども（二世代世帯）	831	48.4
4 親と子ども夫婦（二世代世帯）	75	4.4
5 親と子どもと孫（三世代世帯）	194	11.3
6 その他	46	2.7
無回答	31	1.8
合 計	1,717	100.0



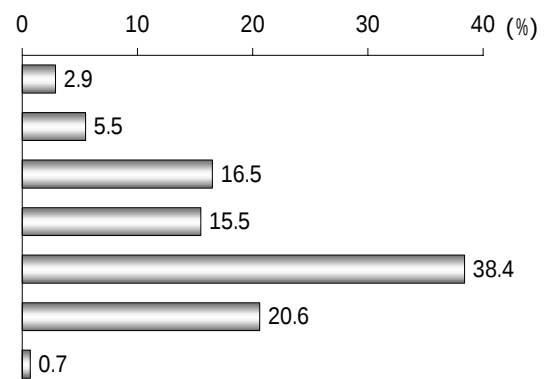
5 同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	168	9.8
2 2人	491	28.6
3 3人	398	23.2
4 4人	398	23.2
5 5人	134	7.8
6 6人	87	5.1
7 7人以上	27	1.6
無回答	14	0.8
合 計	1,717	100.0



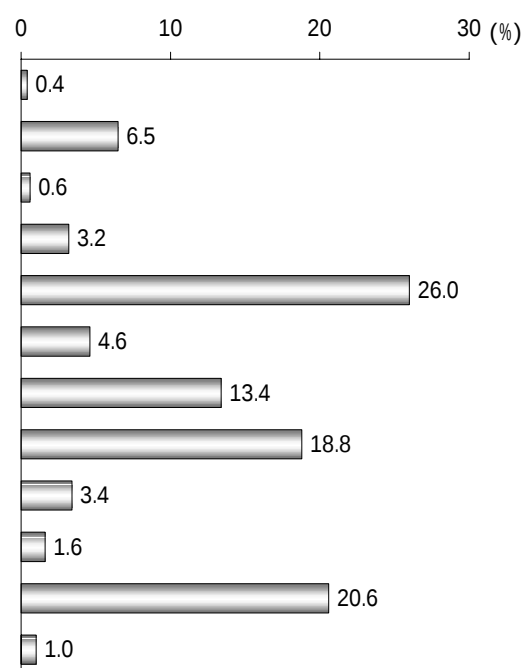
6 居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1 1年未満	49	2.9
2 1～3年未満	95	5.5
3 3～10年未満	283	16.5
4 10～20年未満	266	15.5
5 20年以上	659	38.4
6 生まれてからずっと	353	20.6
無回答	12	0.7
合 計	1,717	100.0



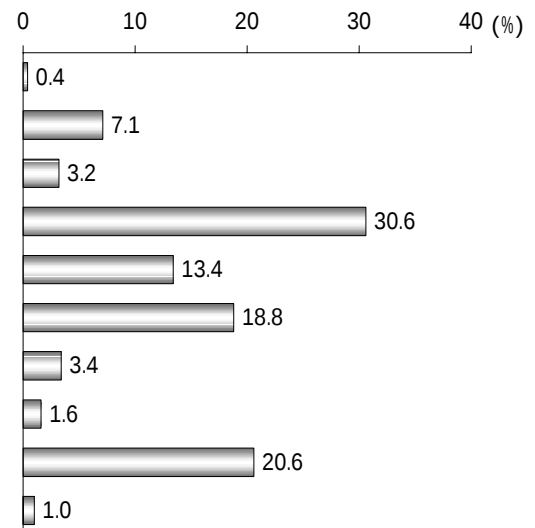
7 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 農・林・漁業	7	0.4
2 自営業	112	6.5
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	10	0.6
4 会社や団体の役員	55	3.2
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	446	26.0
6 教員・公務員	79	4.6
7 アルバイト・パート	230	13.4
8 (専業)主婦・主夫	322	18.8
9 学生	59	3.4
10 その他	27	1.6
11 無職	353	20.6
無回答	17	1.0
合 計	1,717	100.0



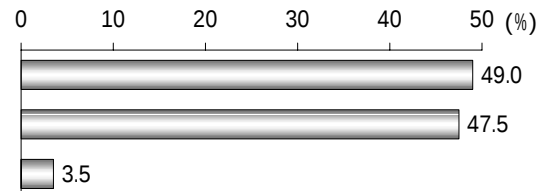
■職業（集約型）

	基数(人)	構成比(%)
農・林・漁業	7	0.4
自営業・自由業	122	7.1
会社や団体の役員	55	3.2
サラリーマン	525	30.6
アルバイト・パート	230	13.4
（専業）主婦・主夫	322	18.8
学生	59	3.4
その他	27	1.6
無職	353	20.6
無回答	17	1.0
合 計	1,717	100.0



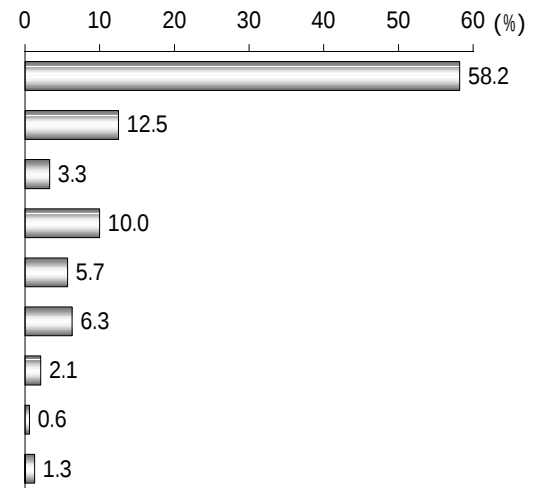
7 - 1 仕事場

	基数(人)	構成比(%)
1 八王子市内	460	49.0
2 八王子市外	446	47.5
無回答	33	3.5
合 計	939	100.0



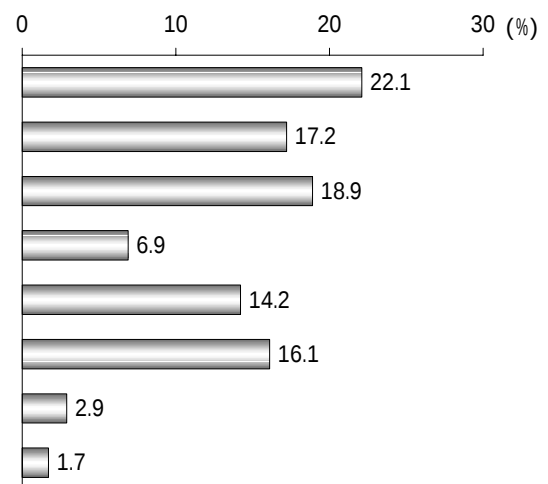
8 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 一戸建て（持ち家）	999	58.2
2 分譲マンション	215	12.5
3 一戸建て（借家）	57	3.3
4 民間の賃貸アパート・マンション	171	10.0
5 公団・公社の賃貸住宅	98	5.7
6 都営・市営住宅	108	6.3
7 社宅・官舎・寮	36	2.1
8 その他	10	0.6
無回答	23	1.3
合 計	1,717	100.0



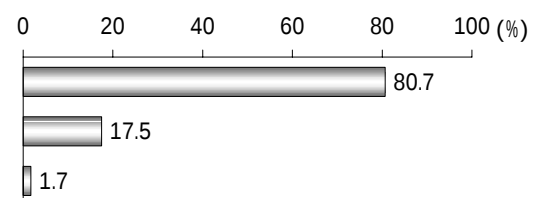
9 居住地域

	基数(人)	構成比(%)
1 本庁管内（中央地域）	380	22.1
2 元八王子・恩方・川口（西部地域）	296	17.2
3 浅川・横山・館（西南部地域）	324	18.9
4 加住・石川（北部地域）	119	6.9
5 由井・北野（東南部地域）	244	14.2
6 由木・由木東・南大沢（東部地域）	276	16.1
（不明）	49	2.9
無回答	29	1.7
合 計	1,717	100.0



10 町会や自治会の加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1 入っている	1,386	80.7
2 入っていない	301	17.5
無回答	30	1.7
合 計	1,717	100.0



調査結果の分析

第 1 章

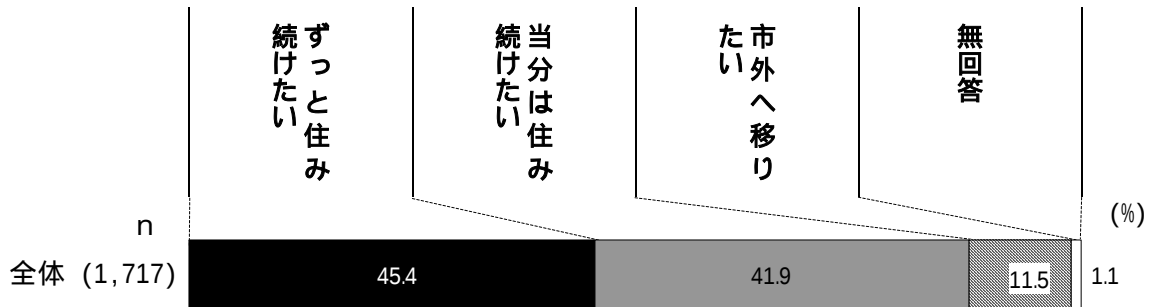
1 定住意向

1 - 1 定住意向

《住み続けたい》が約 9 割と多数を占める

問 1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は 1 つだけ)

< 図表 1 - 1 > 定住意向

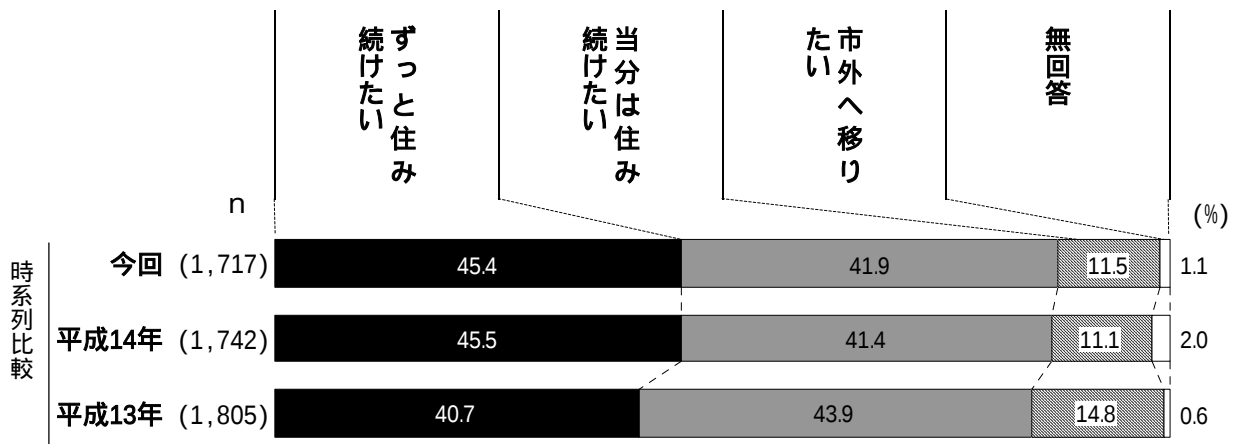


市への定住意向では、「ずっと住み続けたい」(45.4%) が最も高く、これに「当分は住み続けたい」(41.9%) を合算すると、《住み続けたい》(87.3%) は約 9 割と多数を占める。一方、「市外へ移りたい」(11.5%) は 1 割強である。(図表 1 - 1)

【時系列比較】

「ずっと住み続けたい」は、平成13年から平成14年にかけて 5 ポイント増加しており、今回も平成14年と同じ水準を維持している。この傾向は、「当分は住み続けたい」と合算した、《住み続けたい》でもても変わらない。(図表 1 - 2)

< 図表 1 - 2 > 時系列比較



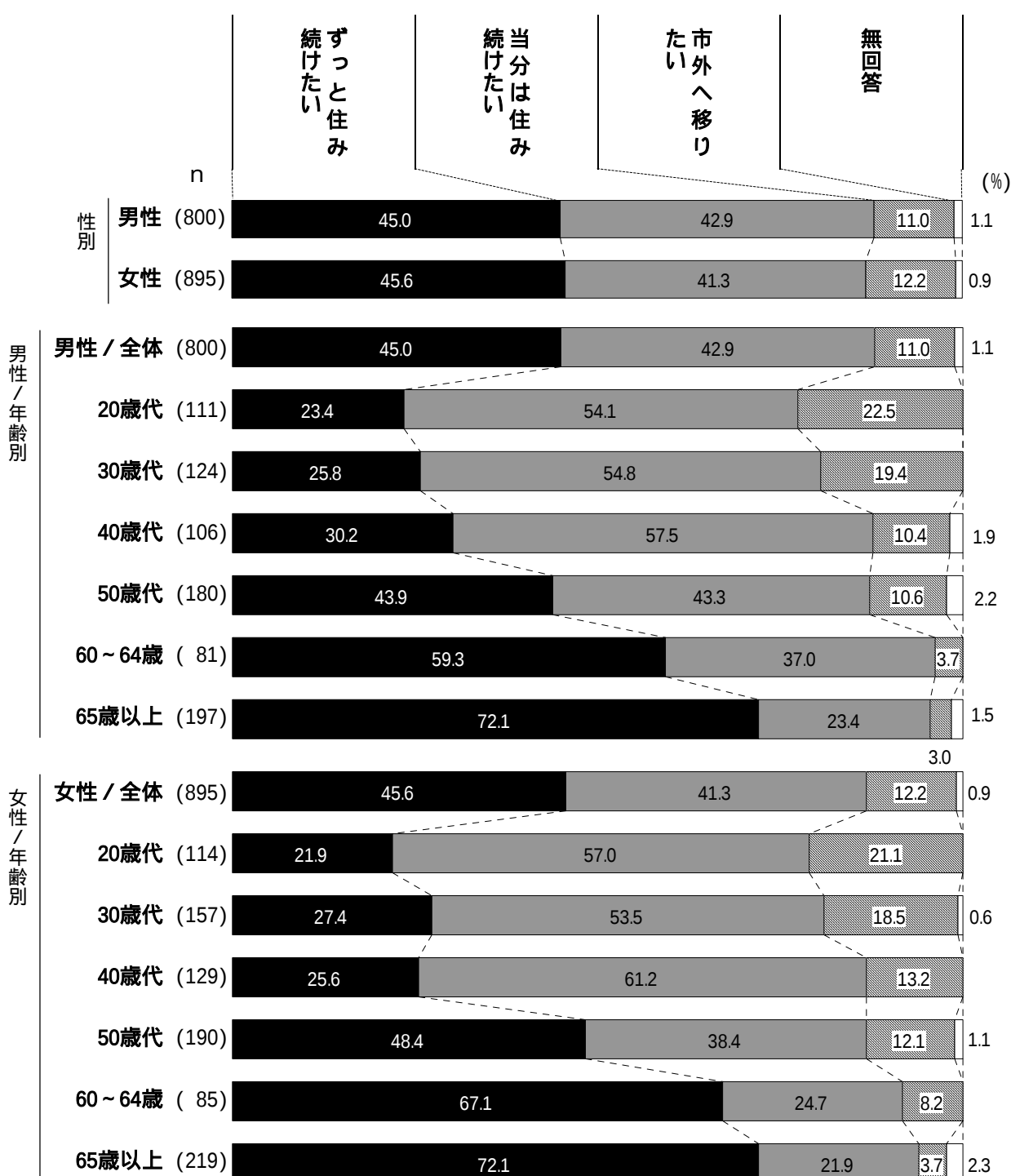
【性別】

定住意向に性別による差はみられない。

【性／年齢別】

男性では、「ずっと住みたい」は年齢が上がるほど漸増し、65歳以上で7割を超え高率である。《住みたい》としてみても、年齢が上がるほど漸増する傾向がみられ、60歳以上は9割台半ばを超え、ほぼ全員が該当する。一方、女性では、「ずっと住みたい」は50歳代で急増し、60～64歳で6割台半ばを超え、65歳以上で7割を超える。《住みたい》は年齢が上がるほど漸増して、60歳以上は9割台と高率である。逆に、「市外へ移りたい」は男女ともに20～30歳代で比較的高くなっており、2割前後となっている。(図表1 - 3)

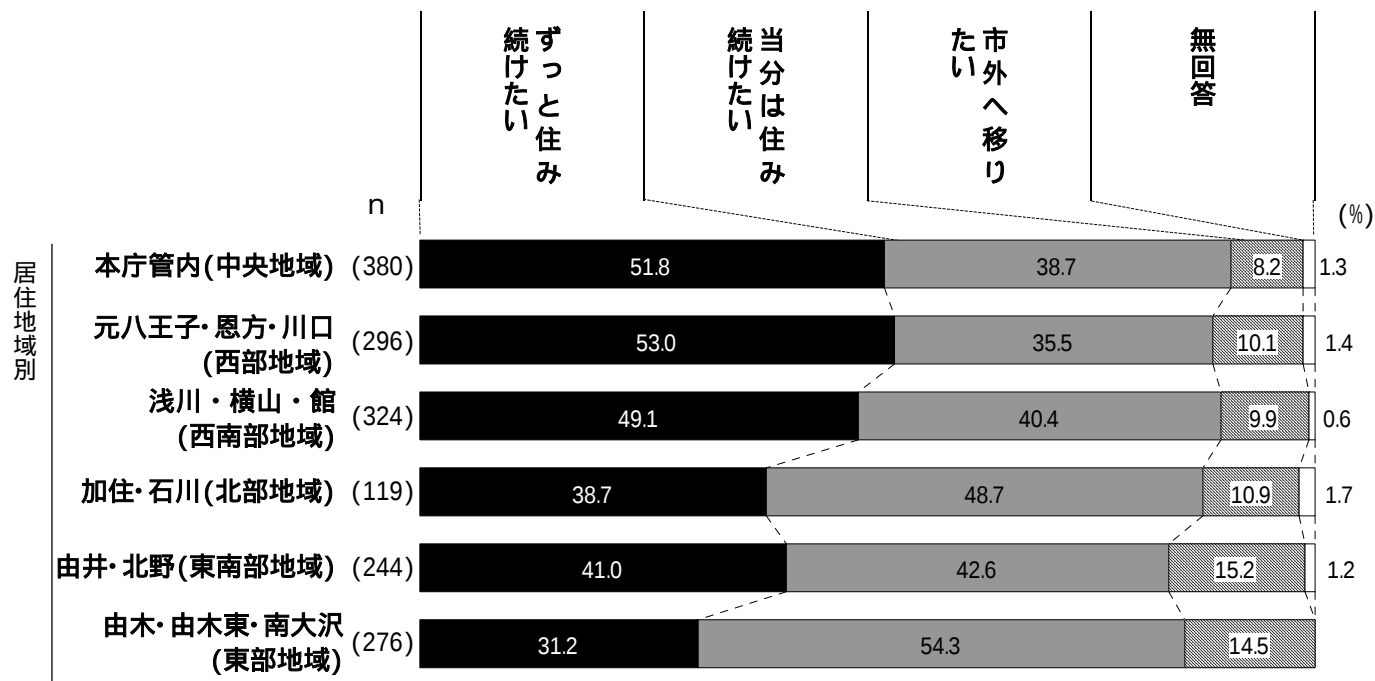
<図表1 - 3> 性／年齢別



【居住地域別】

「ずっと住みたい」は、元八王子・恩方・川口（西部地域）と本庁管内（中央地域）が半数を超え高く、これに浅川・横山・館（西南部地域）が僅差で続く。《住みたい》は由井・北野（東南部地域）と由木・由木東・南大沢（東部地域）が他の地域に比べ低くなっている。その結果、この地域は「市外へ移りたい」で高い傾向にある。（図表１－４）

< 図表 1 - 4 > 居住地域別



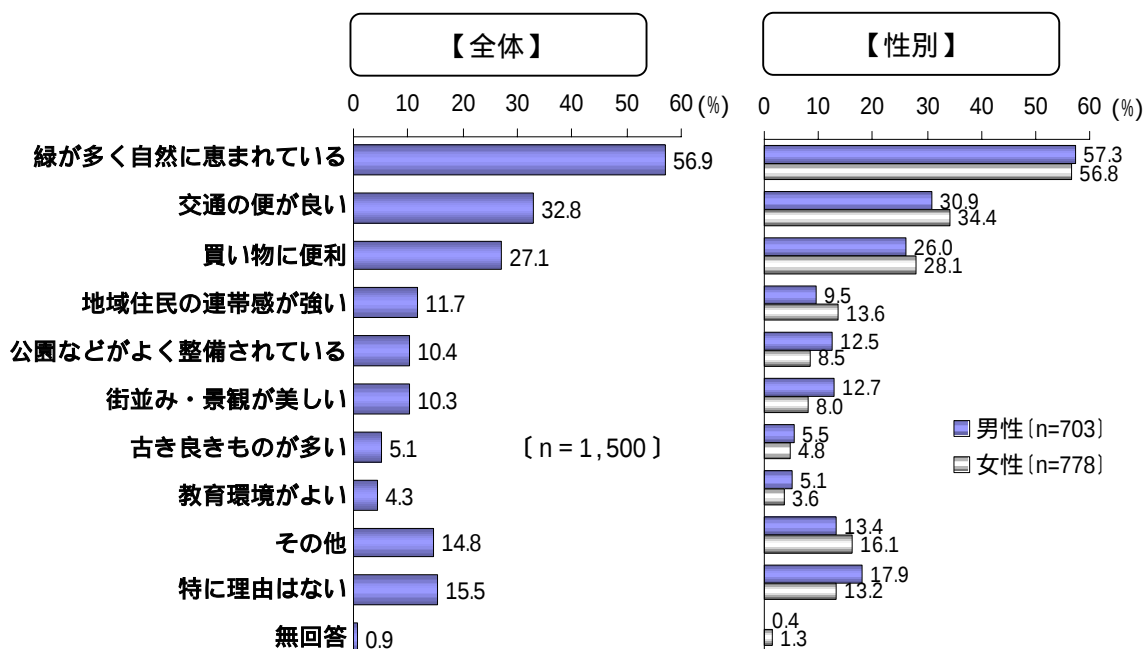
1 - 2 住み続けたい理由

「緑が多く自然に恵まれている」が半数を超え突出

(問1で、「1 ずっと住み続けたい」か「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問1 - 1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

<図表1 - 5> 住み続けたい理由(複数回答)



住み続けたい理由としては、「緑が多く自然に恵まれている」(56.9%)が突出し半数を超えている。次いで、「交通の便が良い」(32.8%)がほぼ3人に1人、「買い物に便利」(27.1%)が約3割で目立つ。なお、「特に理由はない」(15.5%)は1割台半ばである。

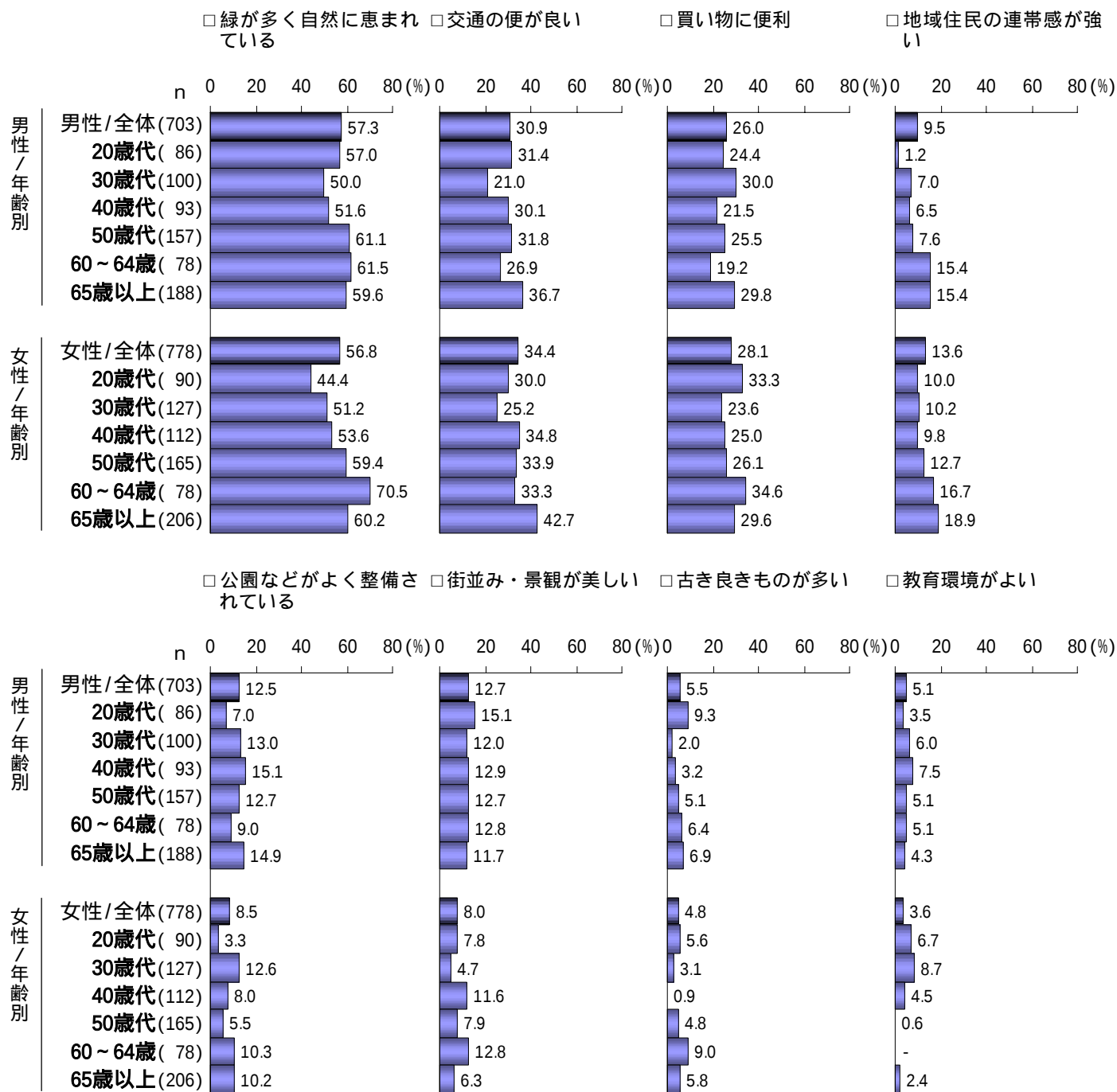
【性別】

性別で最も差が目立つのは、「街並み・景観が美しい」は男性の方が女性よりも5ポイント高いことである。また、「特に理由はない」でも、男性は5ポイント上回っている。(図表1 - 5)

【性／年齢別】

「緑が多く自然に恵まれている」は、女性で年齢が上がるほど漸増し、60～64歳で7割を超える。
「交通の便が良い」は、男女ともに65歳以上が高くなっており、特に、女性は4割を超える。「買い物に便利」は、男性では30歳代と65歳以上が3割前後で比較的高く、女性では60～64歳と20歳代が3割台半ばに近い。また、「地域住民の連帯感が強い」は女性で年齢が上がるほど漸増する傾向がみられる。
（図表1 - 6）

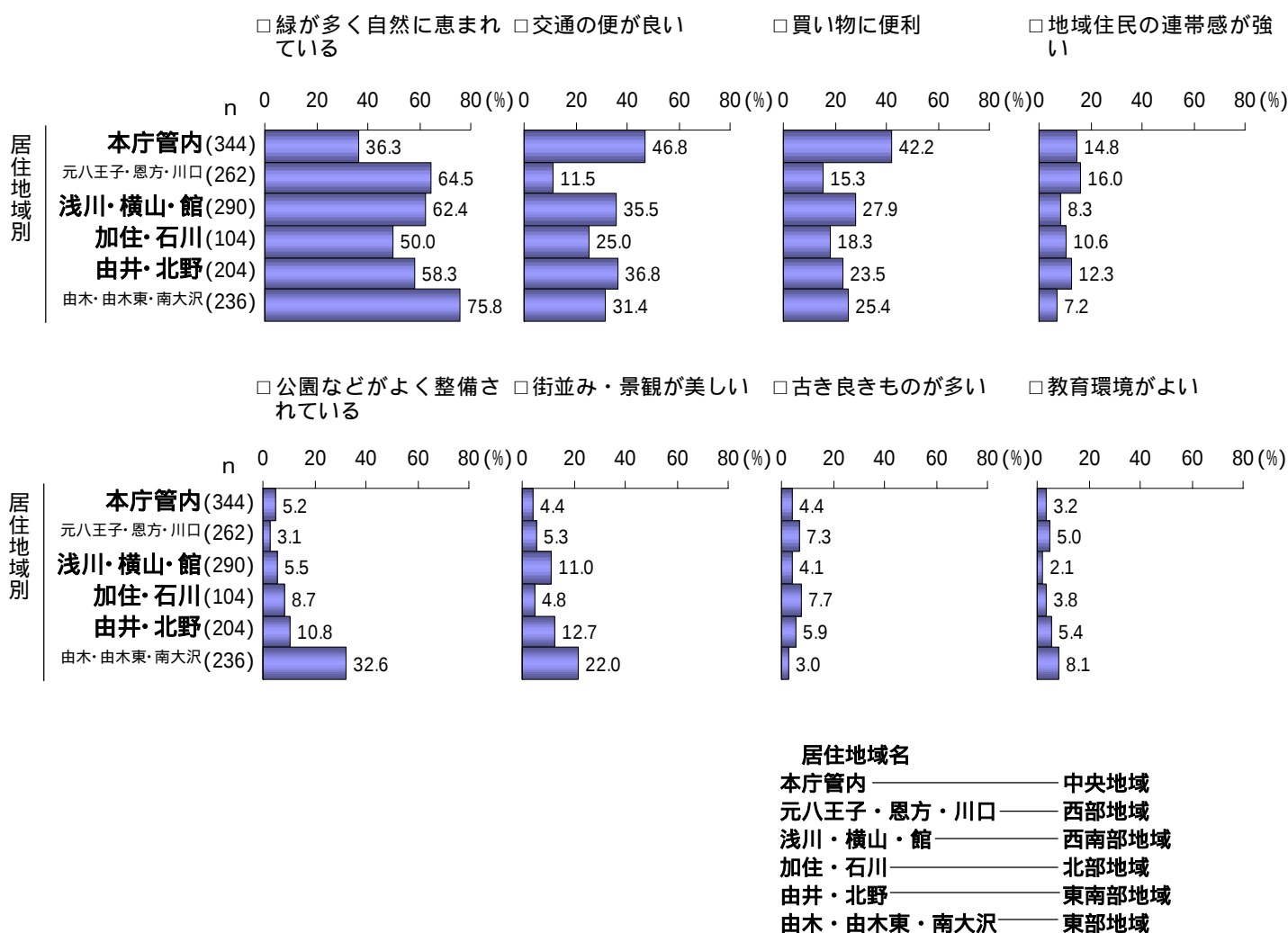
<図表1 - 6> 性／年齢別（上位8項目）



【居住地域別】

「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）が4人に3人で最も高くなっている。「交通の便が良い」と「買い物に便利」は、本庁管内（中央地域）が最も高く4割台で、この地域と元八王子・恩方・川口（西部地域）は、「地域住民の連帯感が強い」で1割台半ば前後である。また、「公園などがよく整備されている」と「街並み・景観が美しい」は、由木・由木東・南大沢（東部地域）が最も高く、特に、「公園などがよく整備されている」はほぼ3人に1人である。（図表1 - 7）

<図表1 - 7> 居住地域別（上位8項目）



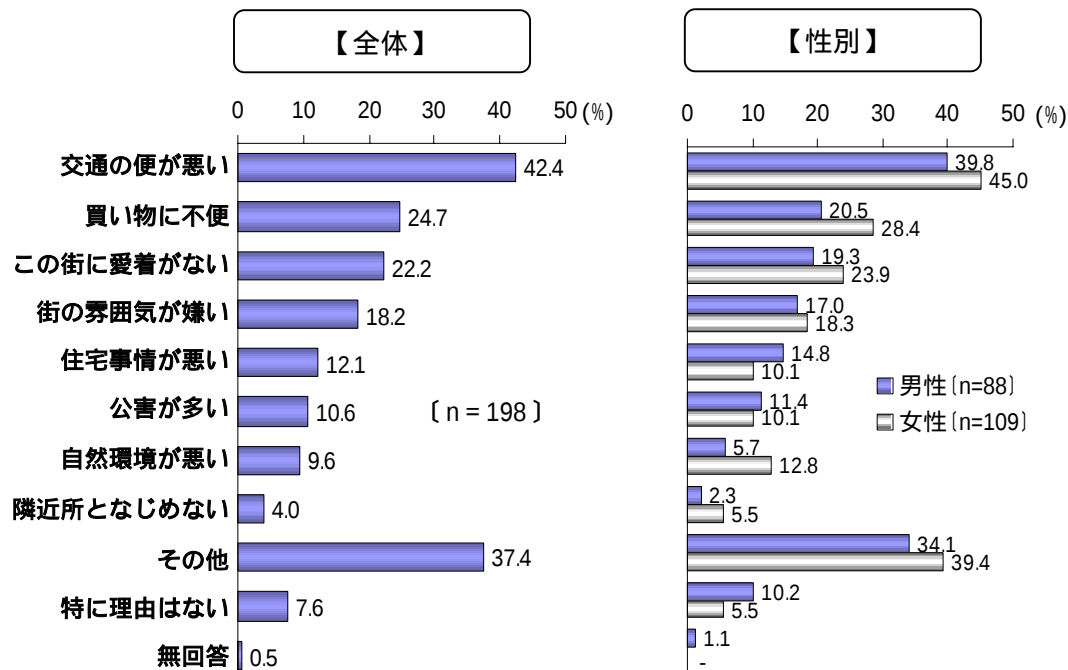
1 - 3 市外へ移りたい理由

「交通の便が悪い」が4割強でトップ

(問1で、「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1 - 2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

<図表1 - 8> 市外へ移りたい理由(複数回答)



市外へ移りたい理由としては、「交通の便が悪い」(42.4%)が4割強で最も高くなっている。これに続くのは、「買い物に不便」(24.7%)がほぼ4人に1人、「この街に愛着がない」(22.2%)と「街の雰囲気が嫌い」(18.2%)で2割前後である。

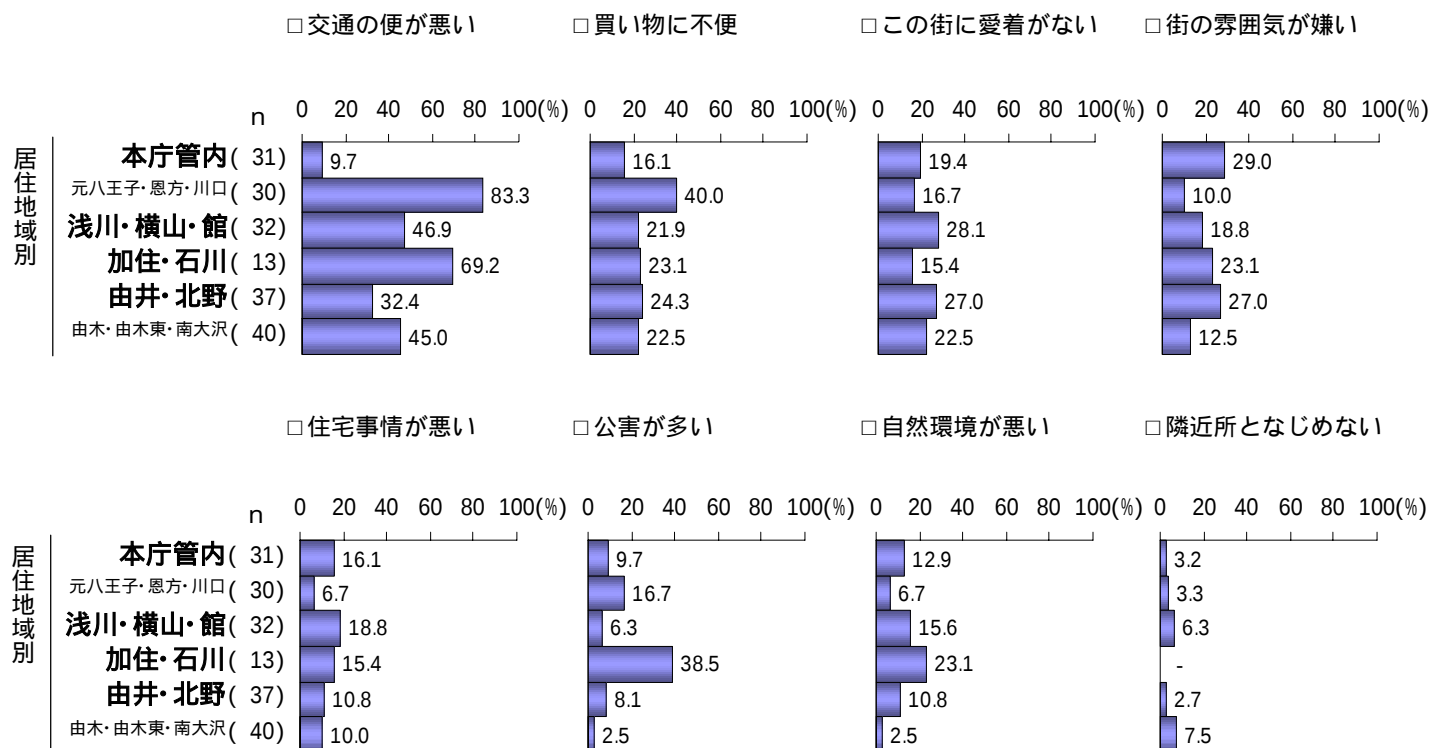
【性別】

女性の方が男性よりも高い項目が多く、差が大きいものを列挙すると、「買い物に不便」の8ポイント、「自然環境が悪い」の7ポイント、「交通の便が悪い」と「この街に愛着がない」の5ポイント差などがある。逆に、男性は、「住宅事情が悪い」で5ポイント上回る。また、「特に理由はない」でも男性は5ポイント高くなっている。(図表1 - 8)

【居住地域別】

「交通の便が悪い」は、元八王子・恩方・川口（西部地域）が最も高く 8 割台半ばに近い。この地域は、「買い物に不便」でも最も高く、4 割となっている。「この街に愛着がない」は浅川・横山・館（西南部地域）と由井・北野（東南部地域）が、「街の雰囲気が嫌い」は本庁管内（中央地域）と由井・北野（東南部地域）が約 3 割である。（図表 1 - 9）

< 図表 1 - 9 > 居住地域別（上位 8 項目）



加住・石川はnが少ないため参考までに掲載することとし、文中では触れていない。

居住地域名
 本庁管内 ————— 中央地域
 元八王子・恩方・川口 ——— 西部地域
 浅川・横山・館 ————— 西南部地域
 加住・石川 ————— 北部地域
 由井・北野 ————— 東南部地域
 由木・由木東・南大沢 ——— 東部地域

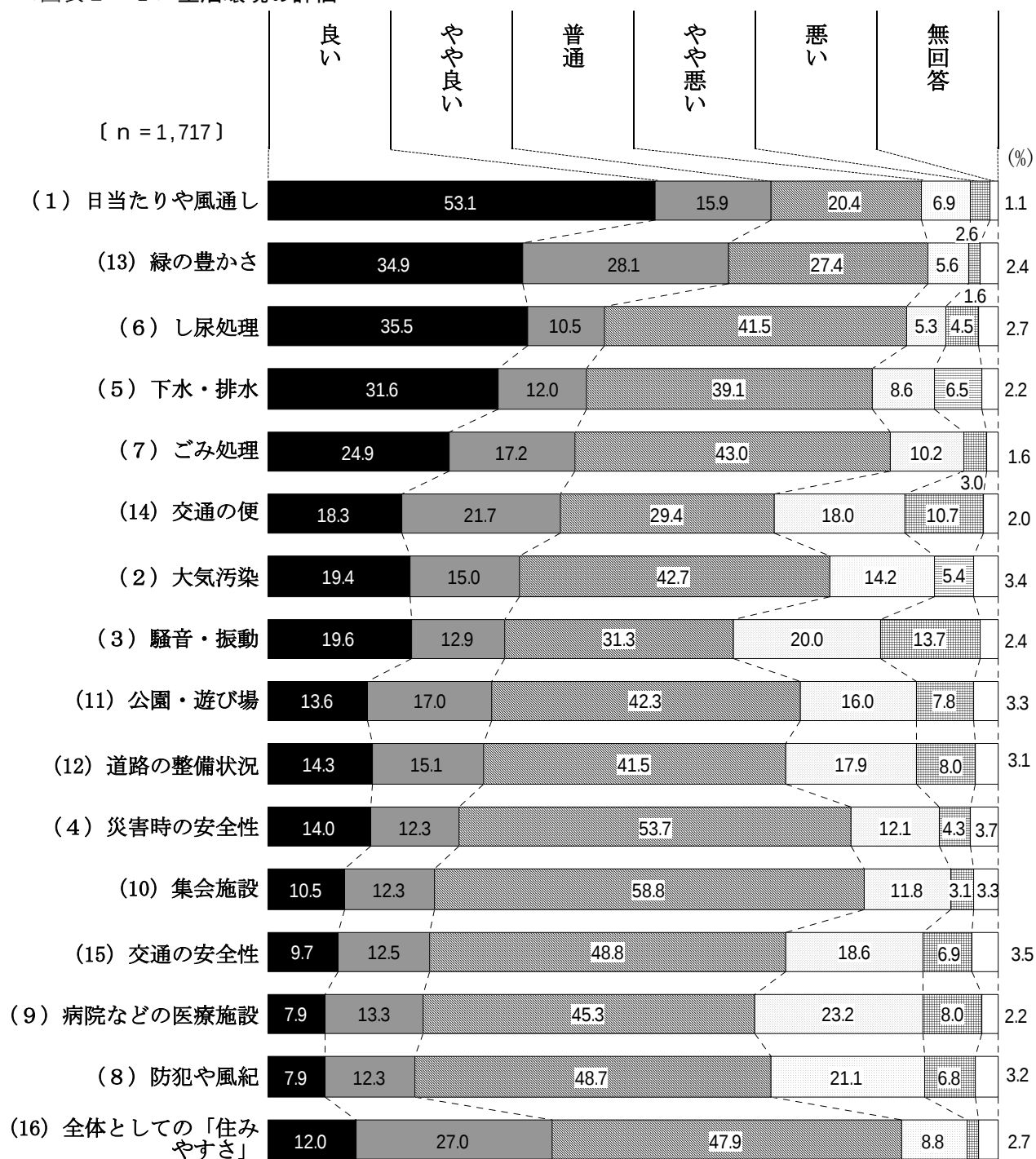
2 生活環境

2-1 生活環境の評価

“日当たりや風通し”と“緑の豊かさ”が高評価を受けている上位2項目

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つつ)

<図表2-1>生活環境の評価



この図表は、『(16) 全体としての「住みやすさ」』を除き、「良い」(「良い」+「やや良い」)の比率が高い順に並べ替えている。

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」を合算して《良い》、「やや悪い」と「悪い」を合算して《悪い》と分類し、それぞれの上位5項目を列举すると次のようになる。

◎ 《良い》

①日当たりや風通し	69.0%
②緑の豊かさ	63.0
③し尿処理	46.0
④下水・排水	43.6
⑤ごみ処理	42.1

× 《悪い》

①騒音・振動	33.7%
②病院などの医療施設	31.2
③交通の便	28.7
④防犯や風紀	27.9
⑤道路の整備状況	25.9

なお、“全体としての「住みやすさ」”は、《良い》(39.0%)が4割弱、《悪い》(10.4%)が1割強と、《良い》の方が高くなっている。(図表2-1)

～加重平均値（満足度）～

生活環境を比率でみるのとは別に、比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\begin{aligned} & \text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ & + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ & + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ & + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ & + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ \text{評価点} = & \frac{\quad}{\text{回答者数}} \end{aligned}$$

この算出方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境として、5.00点に近くなるほど満足度は高く、逆に、1.00点に近くなるほど満足度は低い。

これによる評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。(図表2-2)

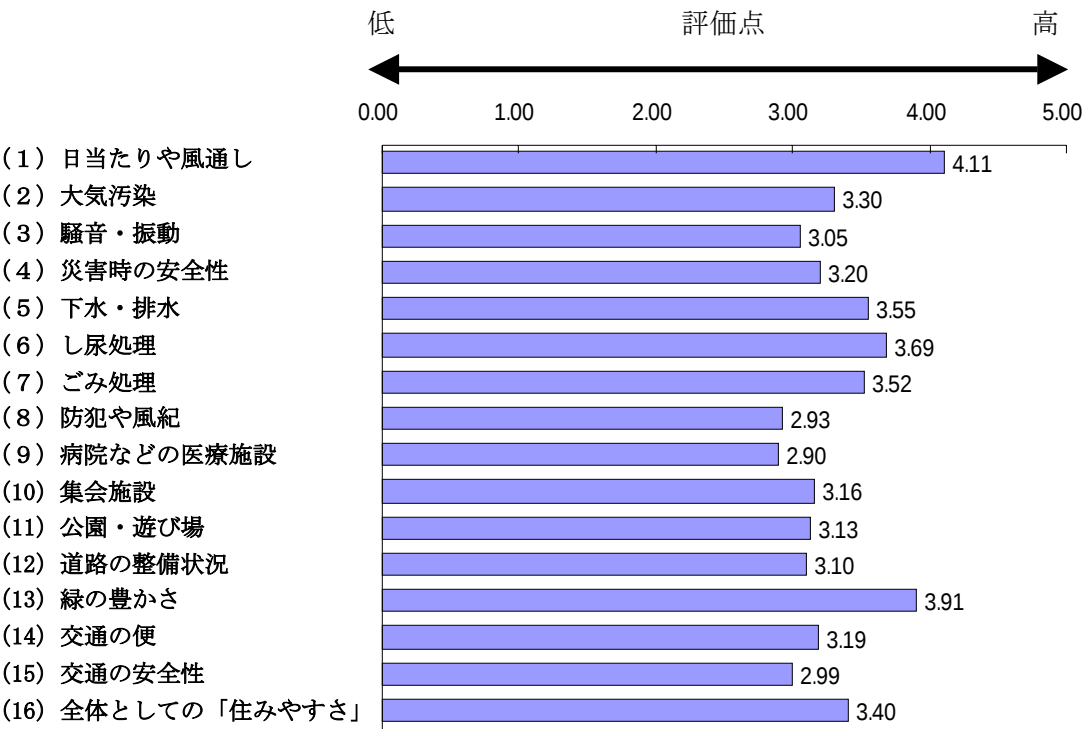
◎高いもの

- ①日当たりや風通し..... 4.11点
- ②緑の豊かさ..... 3.91
- ③し尿処理..... 3.69
- ④下水・排水..... 3.55
- ⑤ごみ処理..... 3.52

▲低いもの

- ①病院などの医療施設..... 2.90点
- ②防犯や風紀..... 2.93
- ③交通の安全性..... 2.99
- ④騒音・振動..... 3.05
- ⑤道路の整備状況..... 3.10

<図表2-2>生活環境の評価点



＜図表 2－3＞居住地域別評価点

(点)

	評価点						
	全体	本庁管内 (中央地域)	元八王子・恩方・川口 (西部地域)	浅川・横山・館 (西南部地域)	加住・石川 (北部地域)	由井・北野 (東南部地域)	由木・由木東・南大沢 (東部地域)
(1) 日当たりや風通し	4.11	3.85	4.27	4.04	4.20	4.17	4.34
(2) 大気汚染	3.30	2.90	3.49	3.26	2.95	3.42	3.73
(3) 騒音・振動	3.05	2.80	3.38	3.14	2.09	3.26	3.17
(4) 災害時の安全性	3.20	3.11	3.20	3.23	3.07	3.11	3.46
(5) 下水・排水	3.55	3.57	3.04	3.46	3.45	3.85	3.96
(6) し尿処理	3.69	3.70	3.22	3.65	3.72	3.95	4.02
(7) ごみ処理	3.52	3.52	3.43	3.56	3.32	3.52	3.57
(8) 防犯や風紀	2.93	2.83	3.02	3.01	2.71	2.84	3.04
(9) 病院などの医療施設	2.90	3.16	2.68	3.03	2.98	2.73	2.77
(10) 集会施設	3.16	3.15	3.15	3.21	3.08	3.00	3.30
(11) 公園・遊び場	3.13	2.85	2.94	3.05	2.99	3.22	3.77
(12) 道路の整備状況	3.10	2.91	2.63	3.16	2.94	3.07	3.88
(13) 緑の豊かさ	3.91	3.32	4.12	4.02	3.75	3.95	4.40
(14) 交通の便	3.19	3.68	2.40	3.35	2.83	3.22	3.33
(15) 交通の安全性	2.99	2.93	2.70	3.08	2.64	3.00	3.43
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.40	3.33	3.21	3.49	3.14	3.41	3.68

 は、項目内での最高値をあらわす。
 は、項目内での最低値をあらわす。

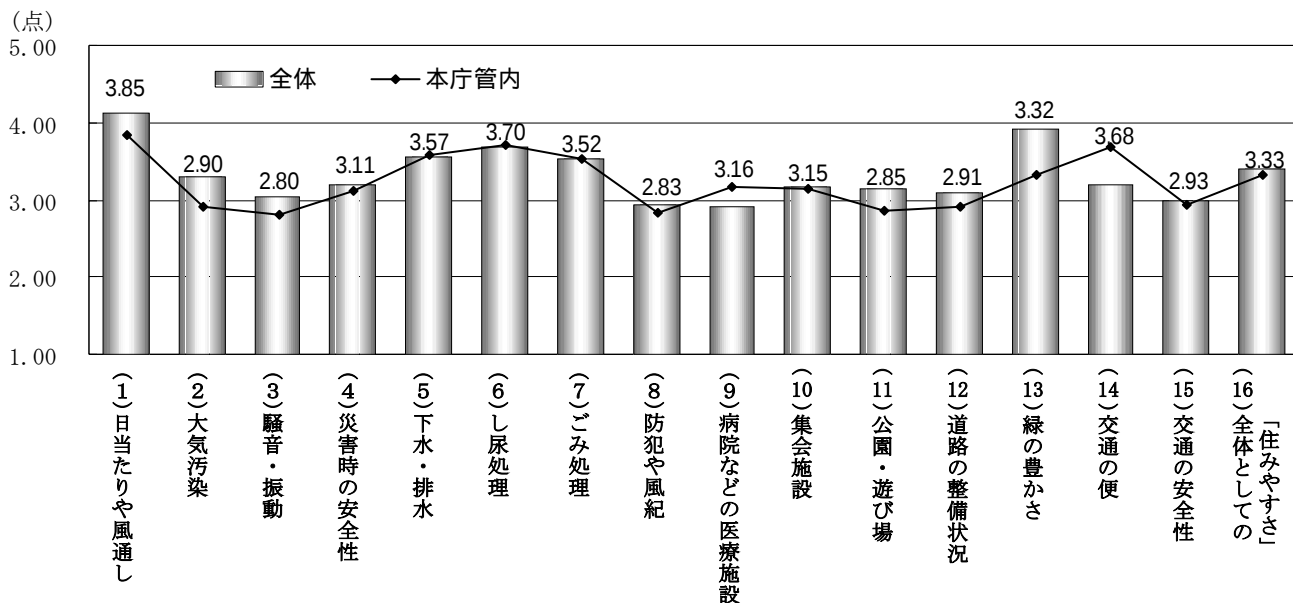
次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

□市全体と居住地域別の満足度評価比較（加重平均値）

<本庁管内（中央地域）>

市全体との差をみると、「交通の便」が市全体を比較的大きく上回り、0.49点差となっている。逆に、16項目中11項目が市全体を下回り、その差が大きいのは「緑の豊かさ」の0.59点、「大気汚染」の0.40点差などである。なお、「病院などの医療施設」と「交通の便」は6地域中で最も評価が高い。逆に、「日当たりや風通し」と「大気汚染」、「公園・遊び場」、「緑の豊かさ」は、6地域で最も評価が低い。（図表2-4）

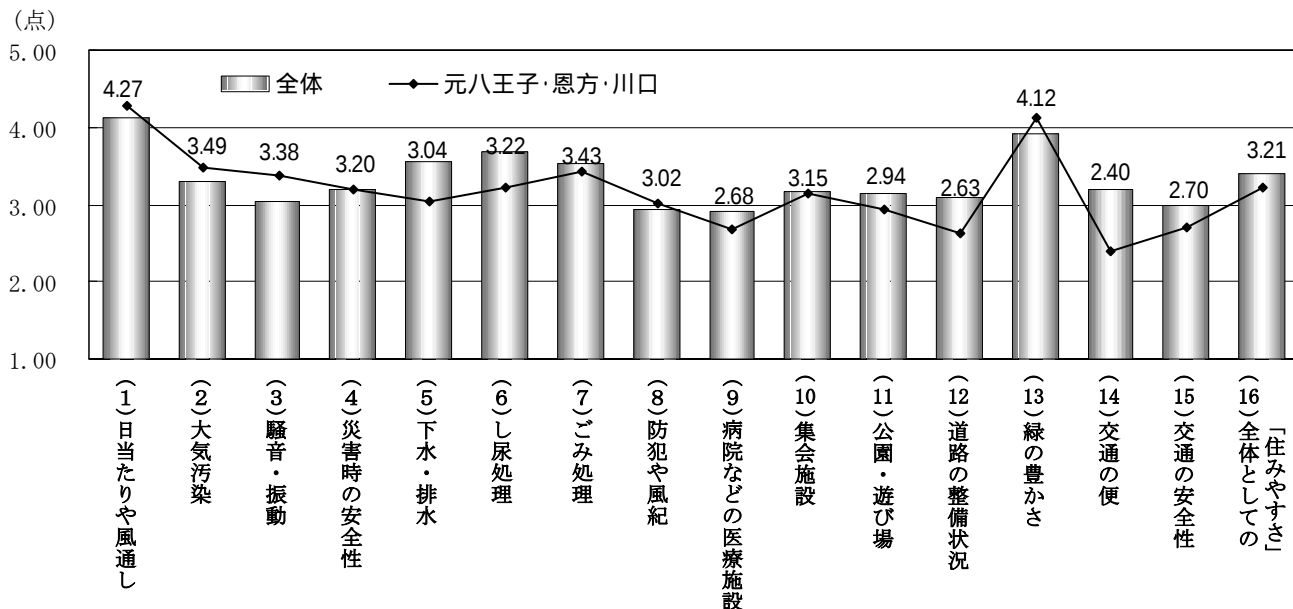
<図表2-4>本庁管内（中央地域）



<元八王子・恩方・川口（西部地域）>

市全体との差をみると、最も大きく市全体を上回るのは「騒音・振動」で0.33点差がある。逆に、市全体を下回るものには、「交通の便」の0.79点、「し尿処理」と「道路の整備状況」の0.47点、「下水・排水」の0.51点差などがある。なお、「騒音・振動」は6地域中で最も評価が高く、「下水・排水」と「し尿処理」、「病院などの医療施設」、「道路の整備状況」、「交通の便」は6地域中で最も評価が低い。（図表2-5）

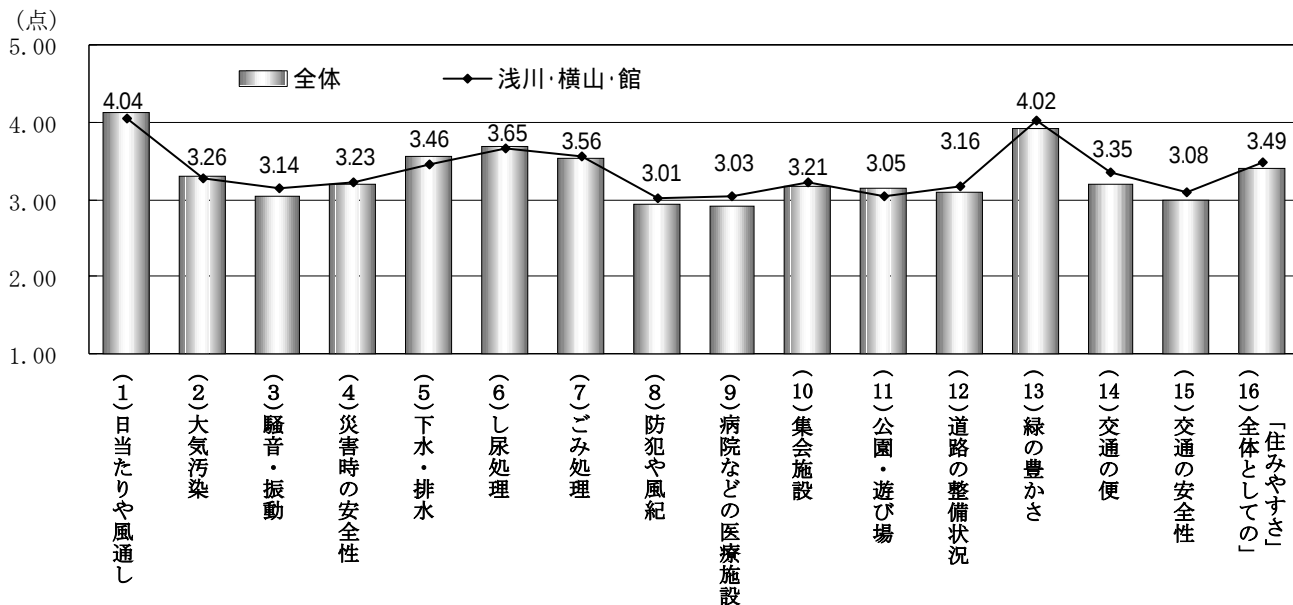
<図表2-5>元八王子・恩方・川口（西部地域）



< 浅川・横山・館（西南部地域） >

この地域の傾向としては、市全体といずれの項目も大きく違いがないことがあげられる。（図表 2－6）

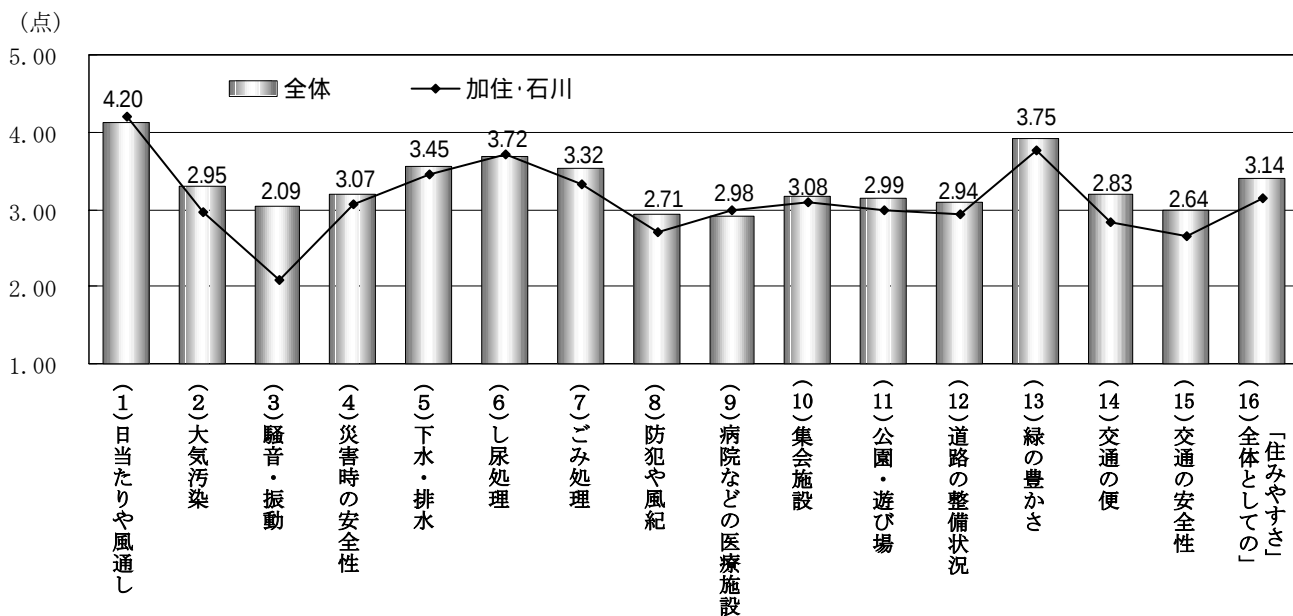
< 図表 2－6 > 浅川・横山・館（西南部地域）



< 加住・石川（北部地域） >

市全体を大きく上回る項目はみられない。逆に、16項目中13項目が下回り、「騒音・振動」の0.96点差、「交通の便」の0.36点差、「大気汚染」と「交通の安全性」の0.35点差などがある。この地域は、「騒音・振動」、「災害時の安全性」、「ごみ処理」、「防犯や風紀」、「交通の安全性」、そして、全体としての「住みやすさ」が、6地域中最も評価が低くなっている。（図表 2－7）

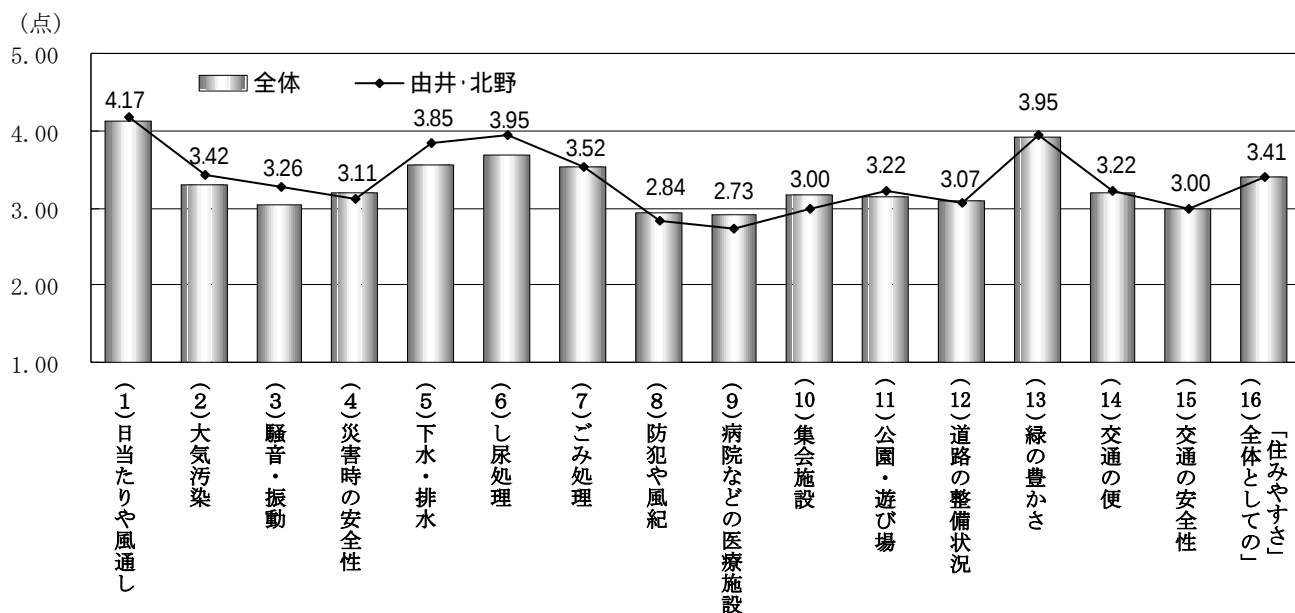
< 図表 2－7 > 加住・石川（北部地域）



< 由井・北野（東南部地域） >

16項目中11項目で市全体を上回り、「下水・排水」で0.30点、「し尿処理」で0.26点差などがある。逆に、市全体を下回る項目が5項目があるが、大きな差はない。なお、「集会施設」は6地域中で最も評価が低い。（図表2-8）

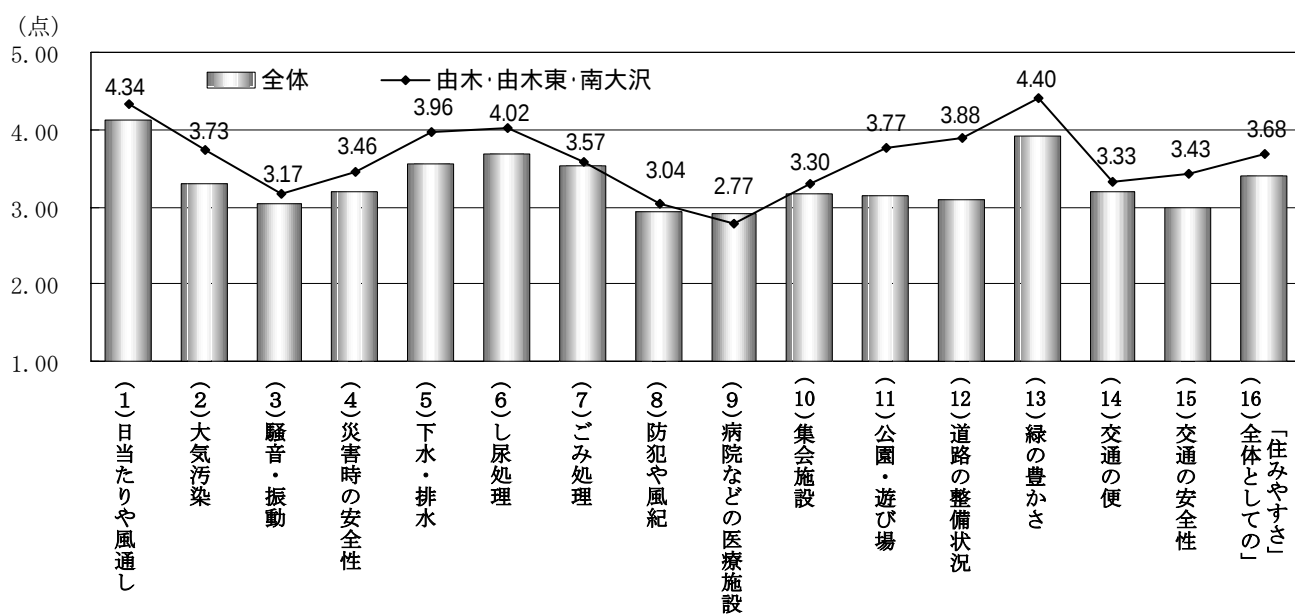
< 図表2-8 > 由井・北野（東南部地域）



< 由木・由木東・南大沢（東部地域） >

16項目中15項目が市全体を上回っており、6地域中で最も評価が高い地域と考えられる。市全体を大きく上回る項目には、「道路の整備状況」の0.78点、「公園・遊び場」の0.64点、「緑の豊かさ」の0.49点、「交通の安全性」の0.44点、「大気汚染」の0.43点、「下水・排水」の0.41点差などがある。なお、6地域中で16項目中13項目が、最も評価が高い。（図表2-9）

< 図表2-9 > 由木・由木東・南大沢（東部地域）



3 防犯・防災対策

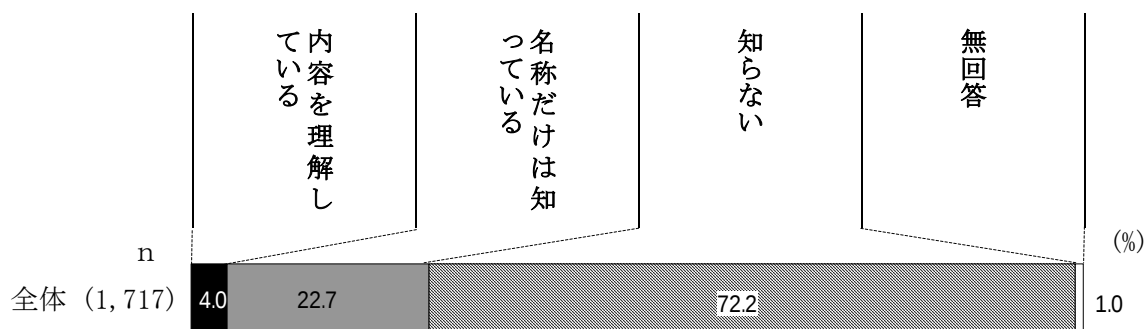
(1) 防犯対策

3-1 「生活の安全・安心に関する条例」の認知状況

「内容を理解」は少数にとどまるものの、《知っている》は2割台半ばを超える

問3 あなたは、「生活の安全・安心に関する条例」を知っていますか。(○は1つだけ)

<図表3-1>防犯対策

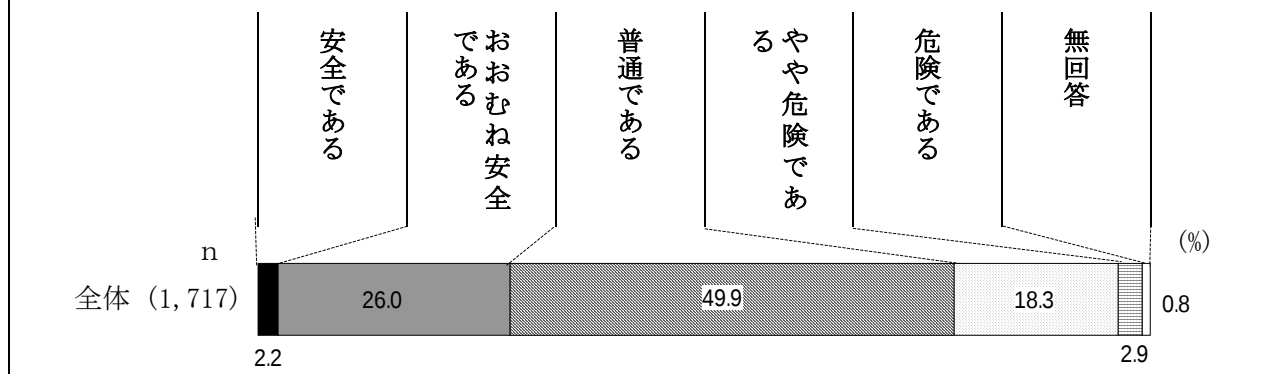


「生活の安全・安心に関する条例」の認知状況としては、「内容を理解している」(4.0%)は少数にとどまるものの、「名称だけは知っている」(22.7%)は2割強で、これらを合算すると、《知っている》(26.7%)は2割台半ばを超えている。一方、「知らない」(72.2%)は7割強となっている。(図表3-1)

《安全である》は約3割。一方、《危険である》は2割

問4 あなたの日常生活における生活環境は安全だと思いますか。(○は1つだけ)

<図表3-2>日常生活における生活環境の安全度



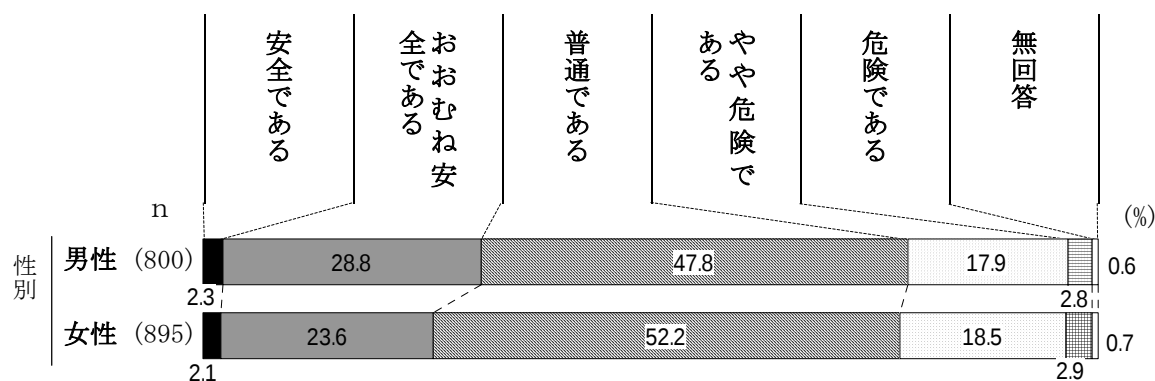
日常生活における生活環境の安全度では、「安全である」(2.2%)は少数にとどまるものの、「おおむね安全である」(26.0%)を合算すると、《安全である》(28.2%)が約3割である。最も高い「普通である」(49.9%)はほぼ半数となっている。一方、「やや危険である」(18.3%)と「危険である」(2.9%)を合算した、《危険である》(21.2%)は2割となる。(図表3-2)

【性別】

性別で最も差が目立つのは、「おおむね安全である」で、男性の方が女性よりも5ポイント高くなっている。

一方、「普通である」は女性の方が男性よりも4ポイント高くなっている。(図表3-3)

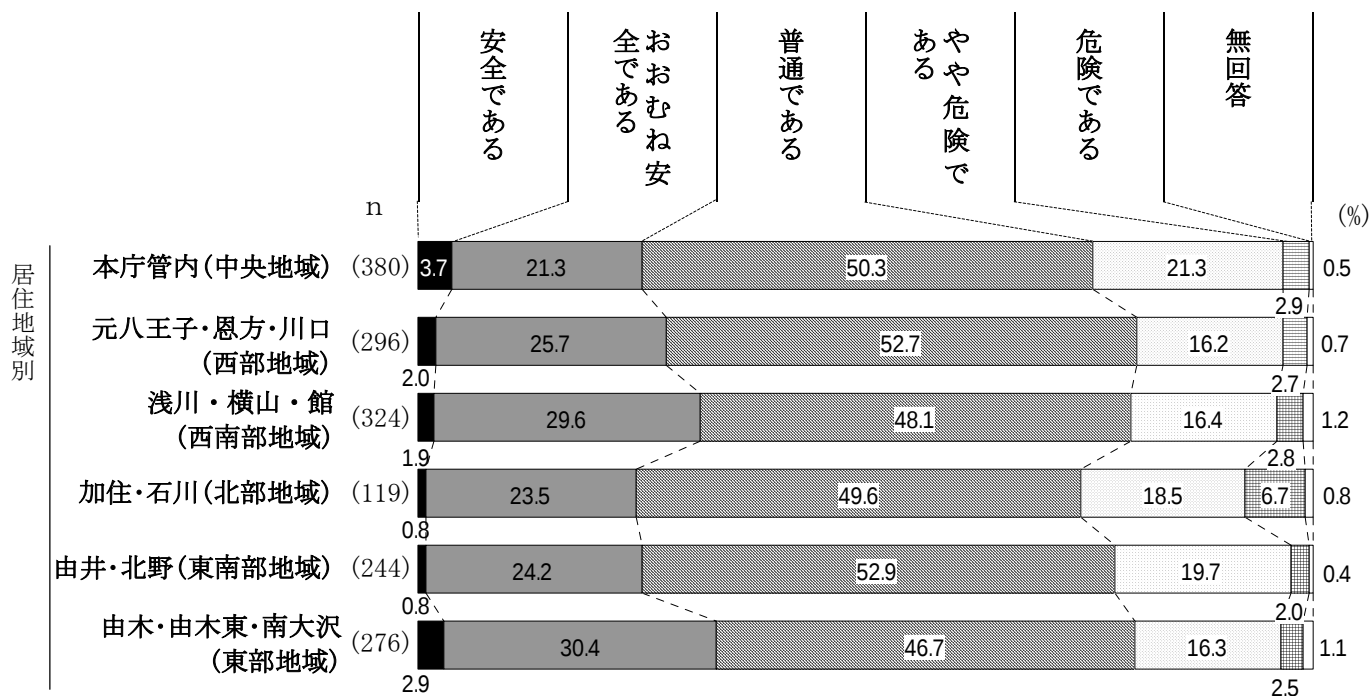
<図表3-3>性別



【居住地域別】

《安全である》は由木・由木東・南大沢（東部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）が3割を超え比較的高くなっている。逆に、《危険である》は、加住・石川（北部地域）が4人に1人で最も高く、本庁管内（中央地域）と由井・北野（東南部地域）が2割を超え続く。（図表3－4）

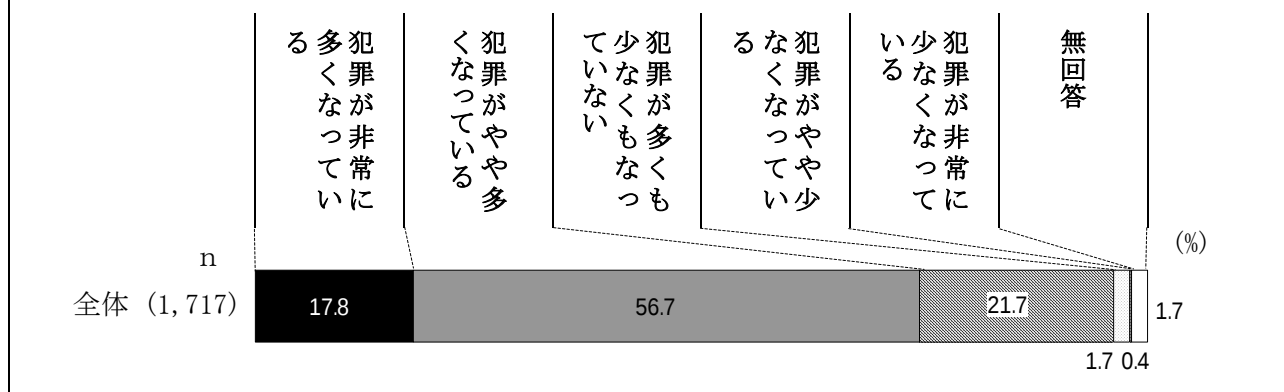
＜図表3－4＞居住地域別



犯罪が《多くなっている》が4人に3人

問5 あなたは、現在の八王子市の治安状況について、どのように思いますか。(○は1つだけ)

＜図表3-5＞現在の八王子市の治安状況

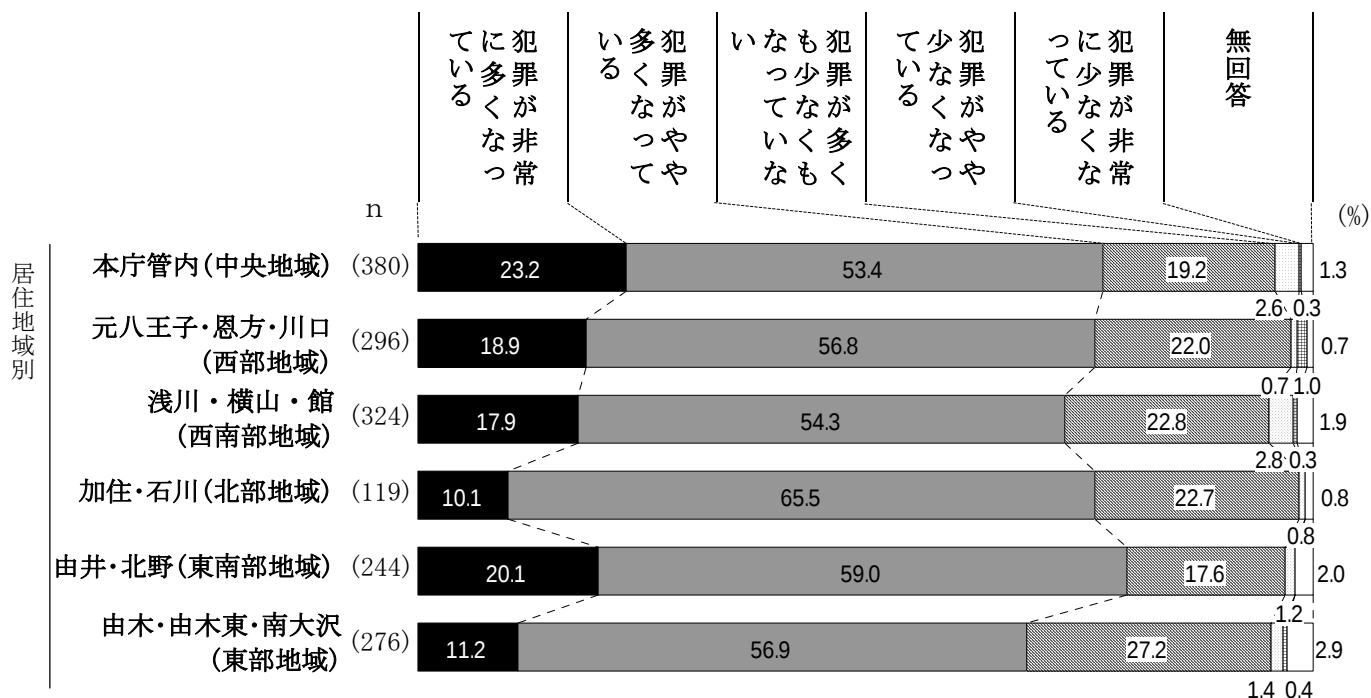


現在の八王子市の治安状況では、「犯罪が非常に多くなっている」(17.8%)が約2割で、最も高いのは「犯罪がやや多くなっている」(56.7%)で過半数である。これら両者を合算すると、《多くなっている》(74.5%)は4人に3人に近い。「犯罪が多くも少なくもなっていない」(21.7%)は2割強で、「犯罪がやや少なくなっている」(1.7%)と「犯罪が非常に少なくなっている」(0.4%)を合算した、《少なくなっている》(2.1%)は少数にとどまる。(図表3-5)

【居住地域別】

「犯罪が非常に多くなっている」は本庁管内(中央地域)と由井・北野(東南部地域)が2割台前半で比較的高くなっている。《多くなっている》としてみると、由井・北野(東南部地域)は8割弱で最も高くなる。(図表3-6)

＜図表3-6＞居住地域別

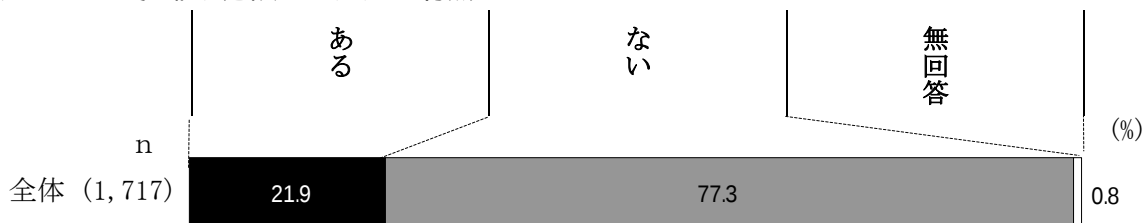


3-4 犯罪や危険との遭遇の有無

「ある」が2割強

問6 あなた自身犯罪に遭ったり、または危険を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

<図表3-7> 犯罪や危険との遭遇の有無

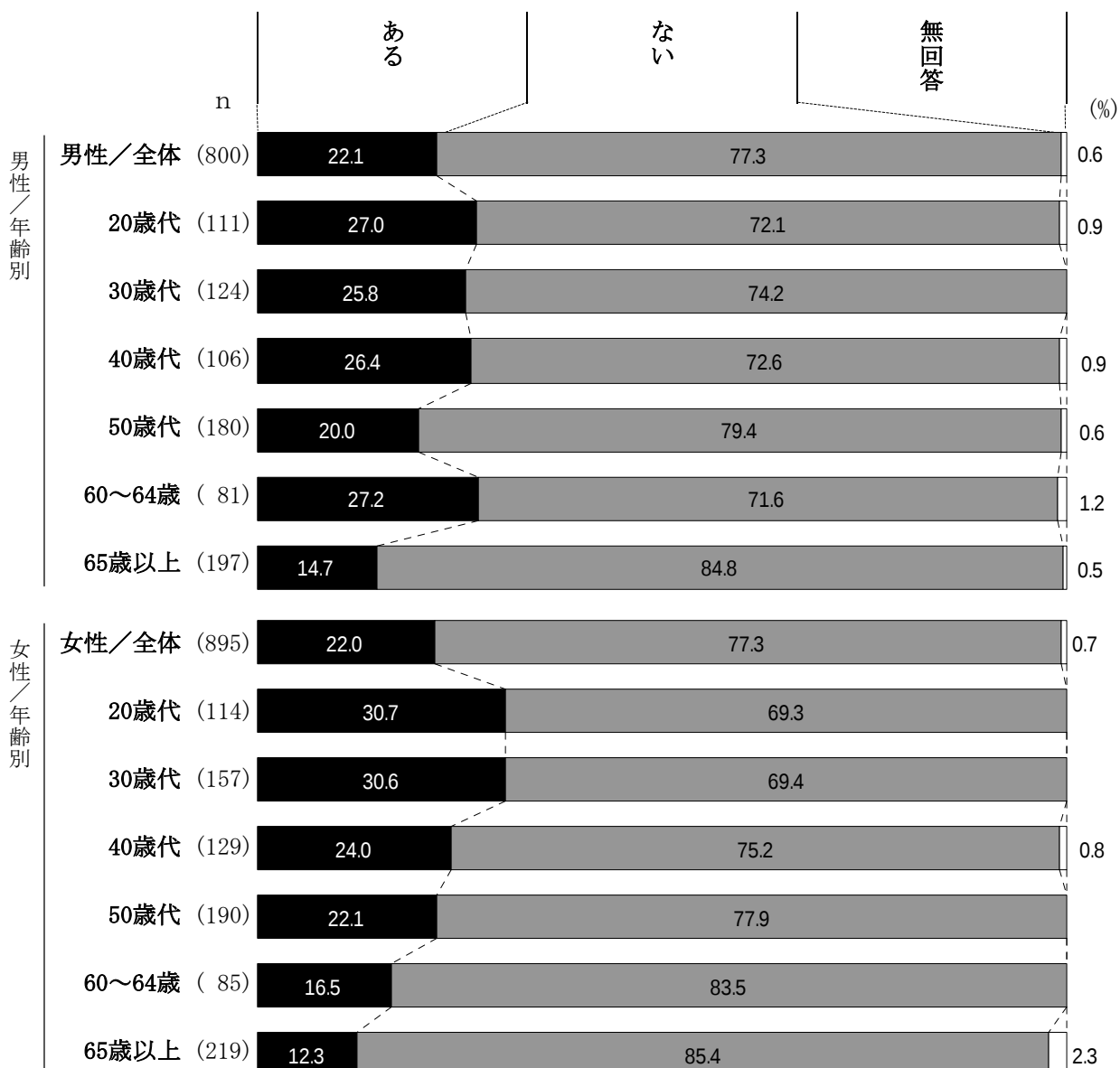


犯罪や危険との遭遇が「ある」(21.9%)は2割強、逆に、「ない」(77.3%)は約8割となっている。(図表3-7)

【性/年齢別】

「ある」が女性の20～30歳代で3割を超え、高くなっていることが分かる。(図表3-8)

<図表3-8> 性/年齢別

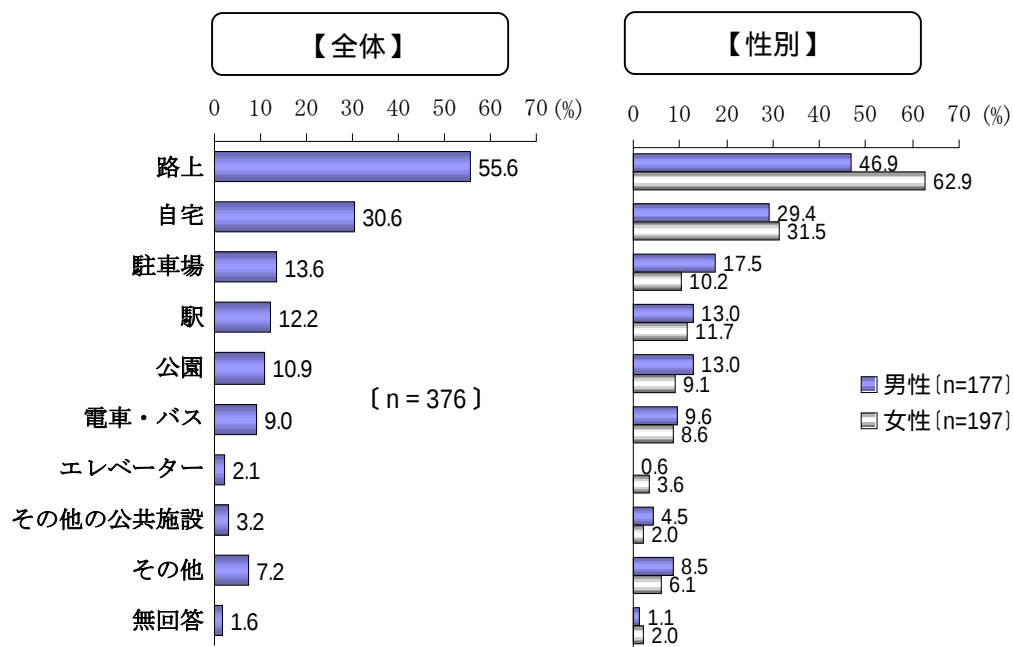


「路上」が過半数で突出

(問6で、「1 ある」とお答えの方に)

問6-1 その場所はどこですか。(〇はいくつでも)

<図表3-9> 犯罪や危険に遭遇した場所 (複数回答)



犯罪や危険に遭遇した場所では、「路上」(55.6%)が最も高く過半数で、次いで、「自宅」(30.6%)が3割強となっている。このほか、「駐車場」(13.6%)と「駅」(12.2%)、「公園」(10.9%)の3項目が1割を超えている。

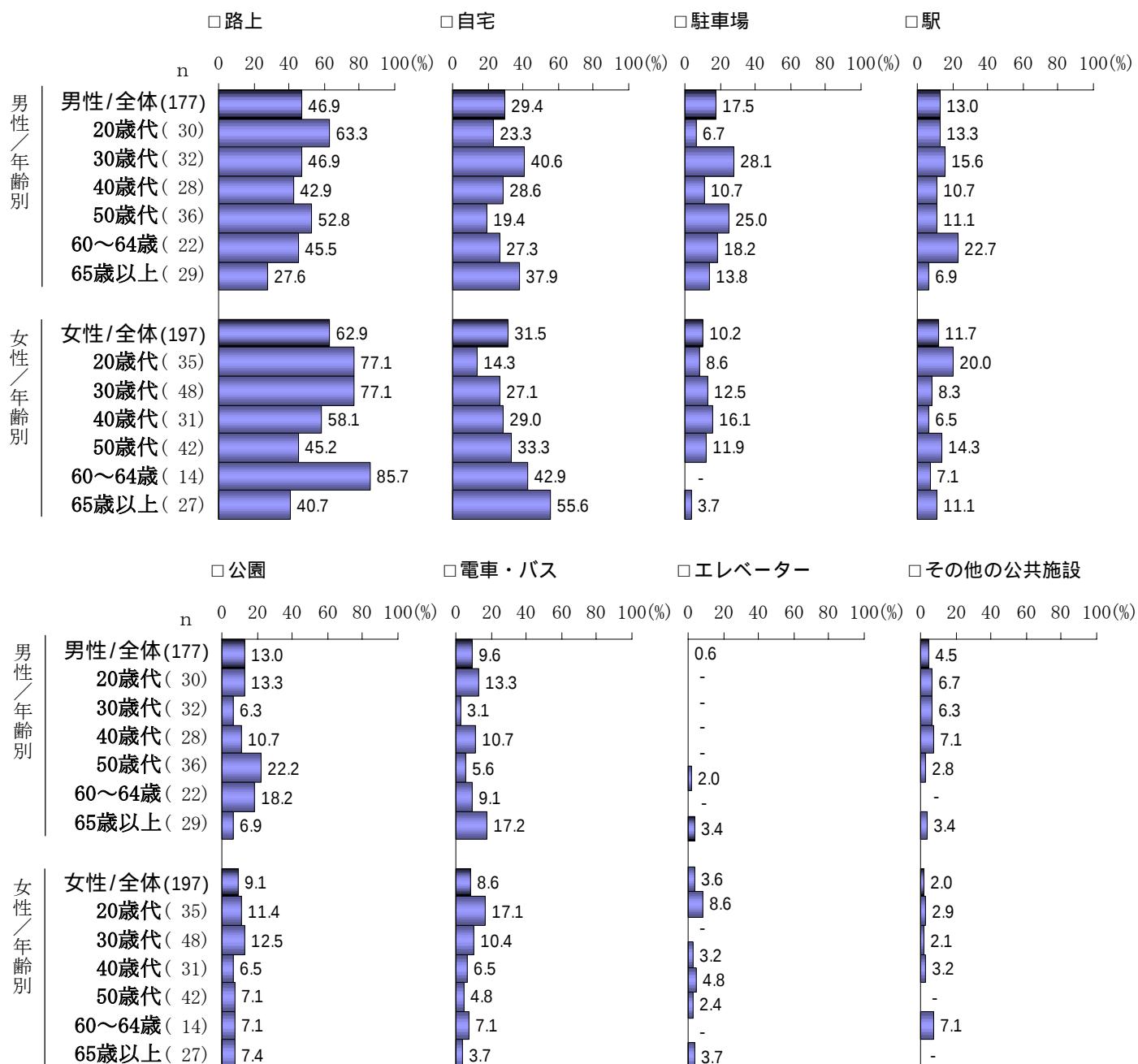
【性別】

「路上」は女性の方が男性よりも16ポイントと大きく差がみられる。逆に、「駐車場」は男性が7ポイント上回る。(図表3-9)

【性／年齢別】

「路上」は、男性では20歳代が6割台半ばに近く最も高く、50歳代が半数を超え続く。女性では、20～30歳代が7割台半ばを超え高率である。「自宅」は、女性で年齢が上がるほど漸増しており、65歳以上で半数を超え、「駐車場」は男性の30歳代が約3割で比較的高い。また、「駅」で、男性の60～64歳と女性の20歳代が2割台となっている。(図表3-10)

＜図表3-10＞性／年齢別（上位8項目）

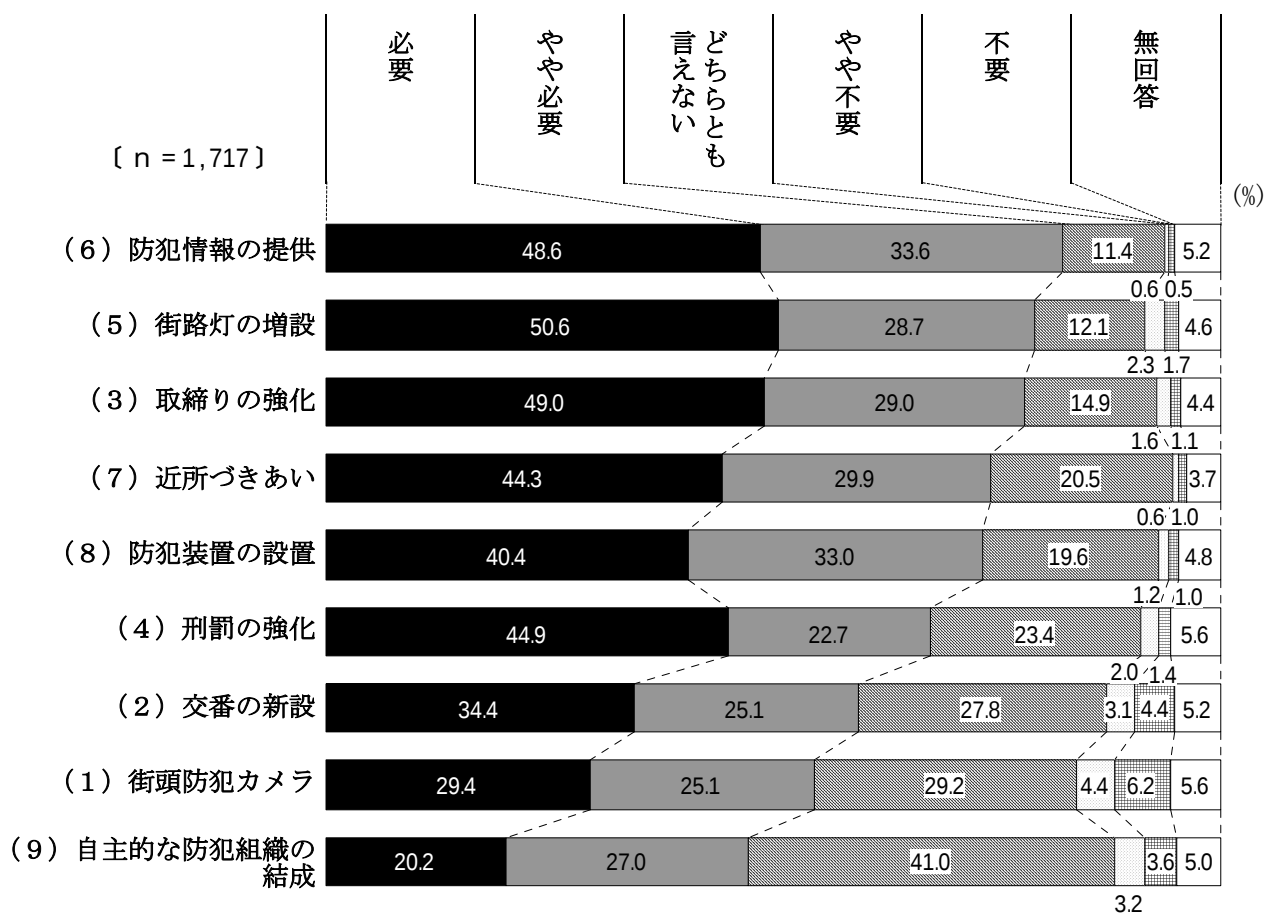


女性の60～64歳はnが少ないため参考までに掲載することとし、文中では触れていない。

必要性が強いのは、“防犯情報の提供”と“街路灯の増設”、“取締まりの強化”など

問7 あなたは、防犯対策として、何が必要だと思いますか。(1)～(9)の項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

<図表3-11>防犯対策の必要性



この図表は、《必要》(「必要」+「やや必要」)の比率が高い順に並べ替えている。

防犯対策を9つの項目に分け、それぞれの必要性を聞いた。

「必要」と「やや必要」を合算して《必要》、「やや不要」と「不要」を合算して《不要》と分類し、それぞれの上位5項目を列挙すると次のようになる。

◎ 《必要》

①防犯情報の提供	82.2%
②街路灯の増設	79.3
③取締りの強化	78.0
④近所づきあい	74.2
⑤防犯装置の設置	73.4

× 《不要》

①街頭防犯カメラ	10.6%
②交番の新設	7.5
③自主的な防犯組織の結成	6.8
④街路灯の増設	4.0
⑤刑罰の強化	3.4

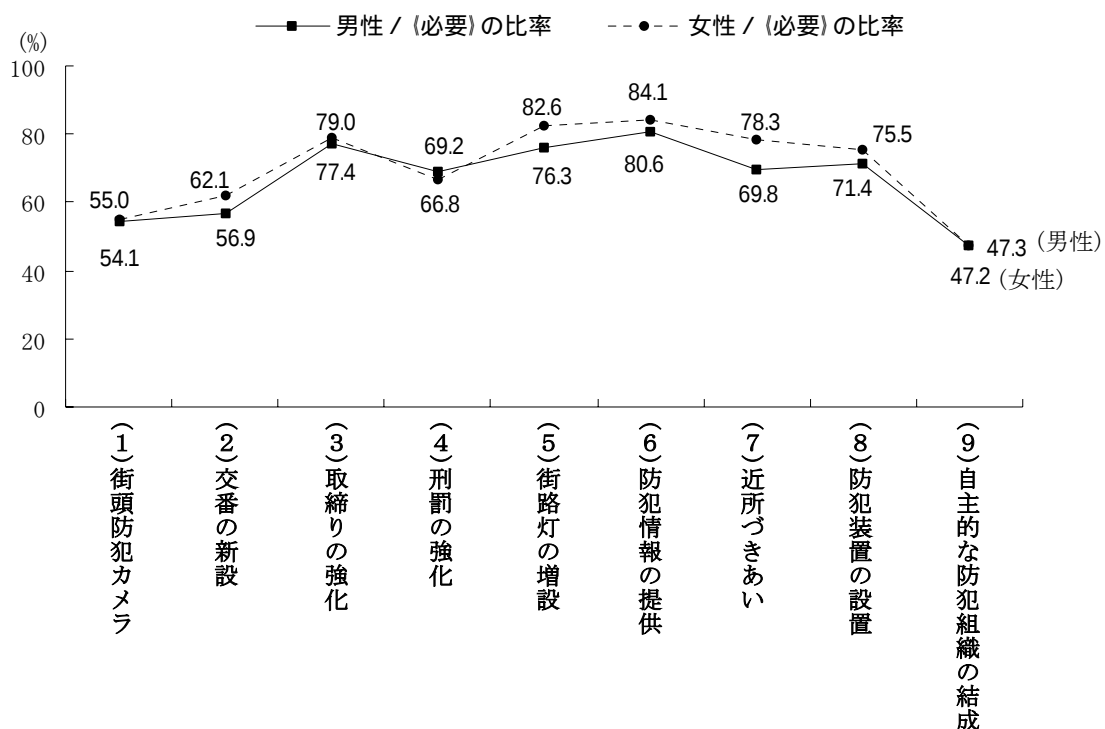
《必要》では、“防犯情報の提供”をはじめ、上位5項目が7割以上であり、また、《不要》では、“街頭防犯カメラ”を除いて、1割を切ることなど、対策への必要性が強く求められていることが分かる。(図表3-11)

【性別】

全体では、いずれの項目とも《必要》の比率が高く出ている。そこで、性別については、《必要》の比率だけを抽出し、図示することとした。

「刑罰の強化」を除いた全ての項目で、女性の方が男性よりも《必要》の比率が高くなっている。性別間の差が大きいものには、「近所づきあい」の9ポイント、「街路灯の増設」の6ポイント、「交番の新設」の5ポイント差などがある。(図表3-12)

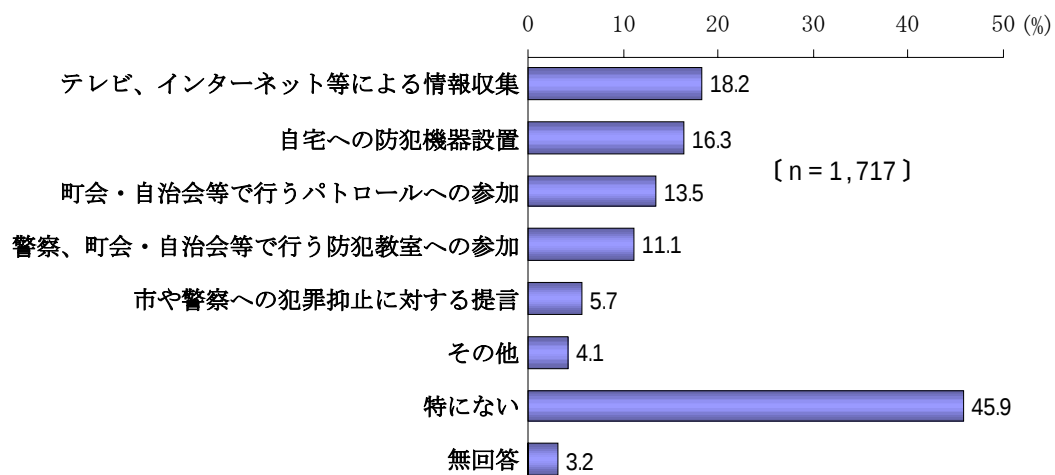
<図表3-12>性別



「テレビ、インターネット等による情報収集」が約2割あるが、現状では多くが「特にない」

問8 あなたが実行している、または実行したことのある防犯対策はどれですか。（○はいくつでも）

＜図表3-13＞実行している（していた）防犯対策（複数回答）

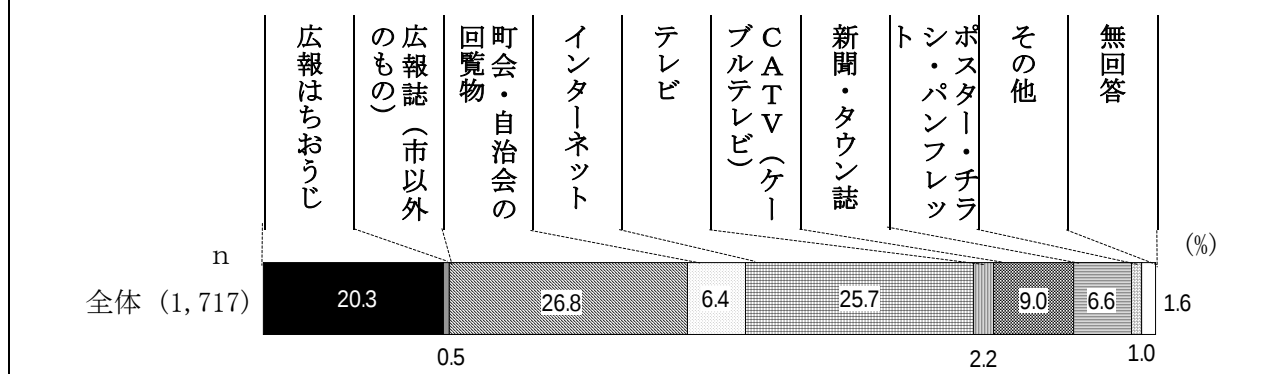


実行している（していた）防犯対策としては、「テレビ、インターネット等による情報収集」（18.2%）が約2割で、「自宅への防犯機器設置」（16.3%）が僅差で続くが、「特にない」（45.9%）が4割台半ばを超え高率である。（図表3-13）

「町会・自治会の回覧物」と「テレビ」が2割台半ばを超えて比較的高い

問9 防犯に関する情報を得たいとき、一番有効だと思う情報媒体はどれですか。(○は1つだけ)

＜図表3-14＞防犯情報入手の際、一番有効と思う情報媒体

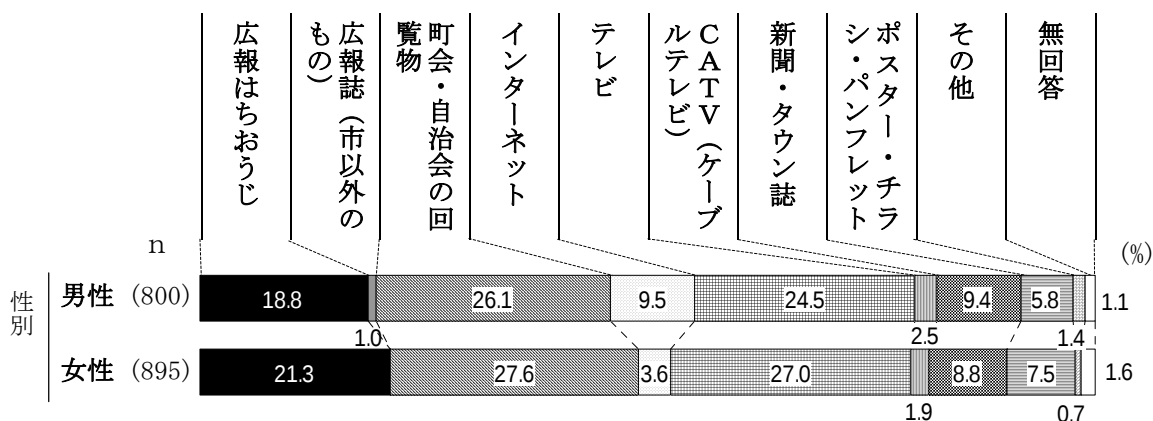


防犯情報入手の際、一番有効と思う情報媒体としては、「町会・自治会の回覧物」(26.8%)と「テレビ」(25.7%)が2割台半ばを超えて比較的高く、これに「広報はちおうじ」(20.3%)が2割を超え続ける。(図表3-14)

【性別】

性別で大きな差があるのは「インターネット」で、男性の方が女性よりも6ポイント高くなっている。(図表3-15)

＜図表3-15＞性別

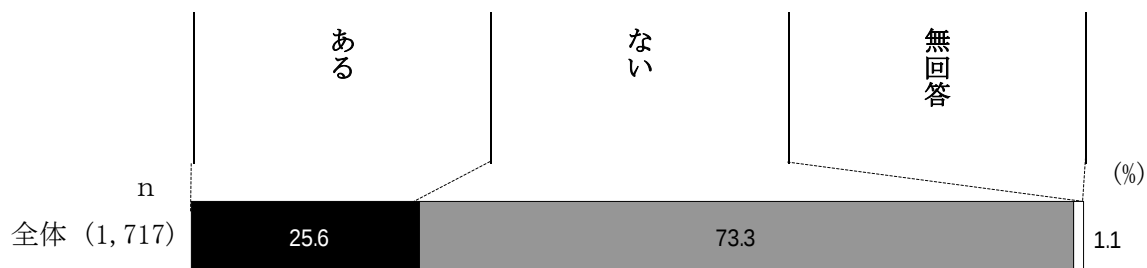


3-9 勧誘行為による迷惑経験の有無

「ある」が4人に1人

問10 J R八王子駅北口周辺におけるつきまとい勧誘行為についておたずねします。
あなたは、つきまとわれて迷惑したことがありますか。(○は1つだけ)

<図表3-16> 勧誘行為による迷惑経験の有無

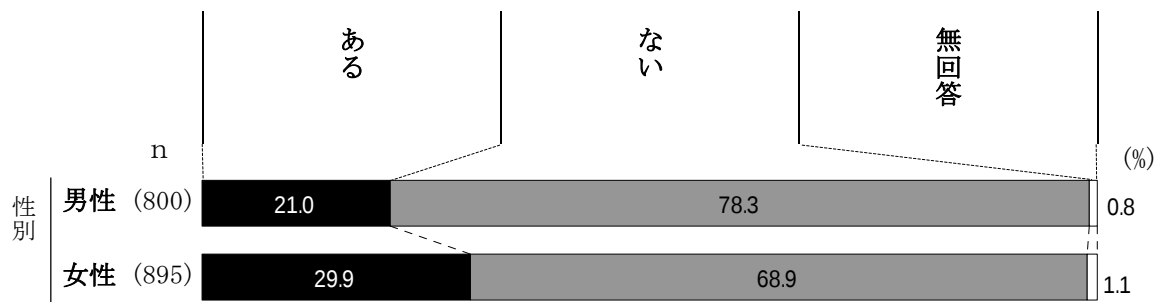


勧誘行為による迷惑経験が「ある」(25.6%)は4人に1人であるのに対して、「ない」(73.3%)がほぼ4人に3人である。(図表3-16)

【性別】

「ある」は女性の方が男性よりも9ポイント、逆に、「ない」は男性の方が9ポイント高率である。(図表3-17)

<図表3-17> 性別

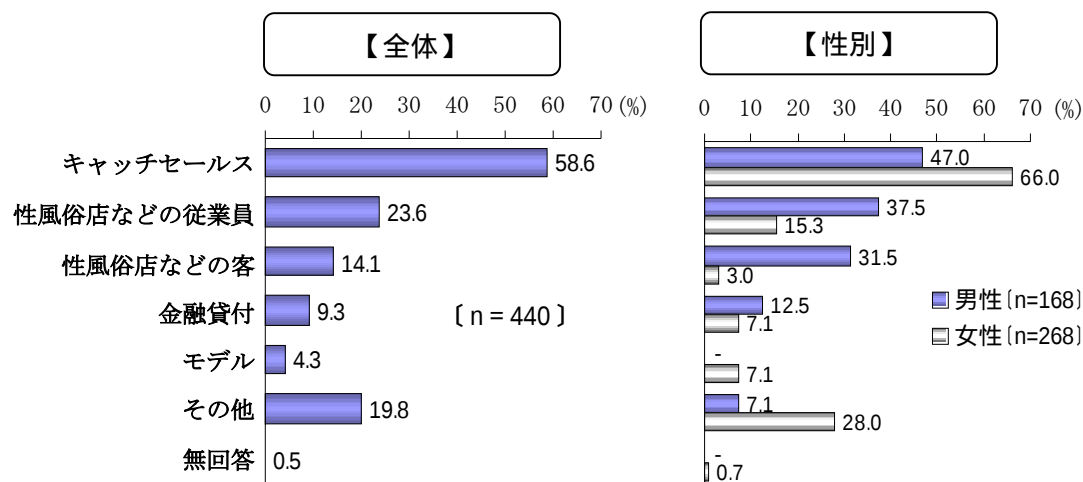


「キャッチセールス」が約6割で突出

(問10で、「1 ある」とお答えの方に)

問10-1 そのときの勧誘の内容は、どのようなものでしたか。(〇はいくつでも)

<図表3-18> 勧誘内容 (複数回答)



問10で、「ある」と回答した人に、その勧誘内容を聞いた。その結果、「キャッチセールス」(58.6%)が突出して約6割となっている。続く、「性風俗店などの従業員」(23.6%)はほぼ4人に1人である。

【性別】

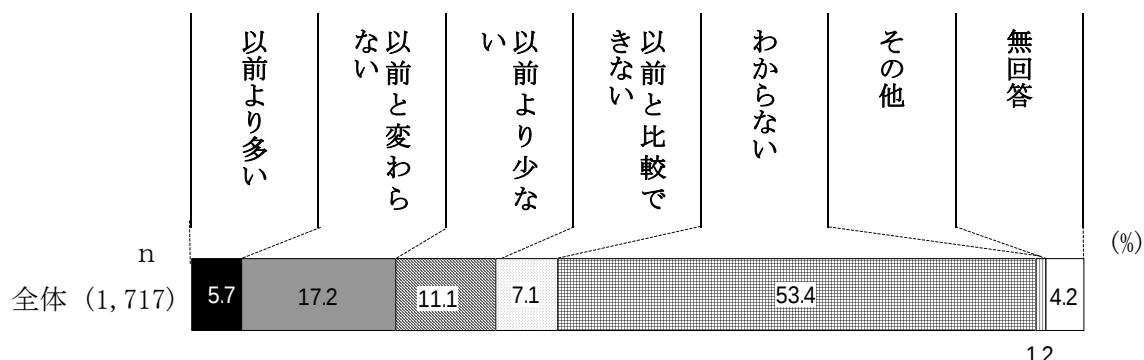
男性の方が女性よりも高いものには、「性風俗店などの客」の29ポイント、「性風俗店などの従業員」の22ポイント、「金融貸付」の5ポイント差などがある。逆に、女性が上回るのは、「キャッチセールス」の19ポイント、「モデル」の7ポイント差などである。(図表3-18)

3-11 現在の勧誘行為についての印象

「以前より多い」が少数ながら存在する。ただし、多くは「わからない」と回答

問11 市では、執ようなつきまとい勧誘行為を排除するために、5月からJR八王子駅北口周辺地域のパトロールを実施しています。現在のつきまとい勧誘行為の印象についてお答えください。
(○は1つだけ)

<図表3-19>現在の勧誘行為についての印象

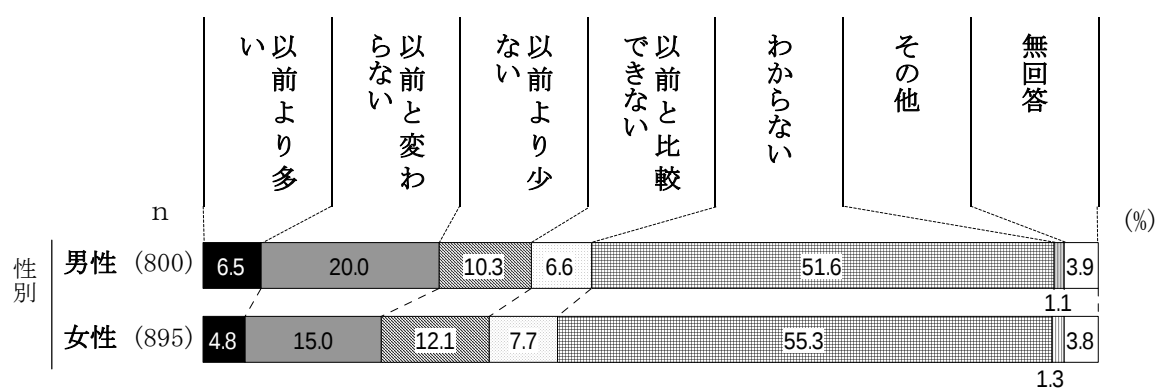


現在の勧誘行為についての印象としては、「以前より多い」(5.7%)が少数おり、「以前と変わらない」(17.2%)が約2割となっている。また、「以前より少ない」(11.1%)が1割強で、多くは「わからない」(53.4%)としている。(図表3-19)

【性別】

「以前と変わらない」で男性の方が女性よりも5ポイント高く、他の項目に比べ違いがみられる。(図表3-20)

<図表3-20>性別



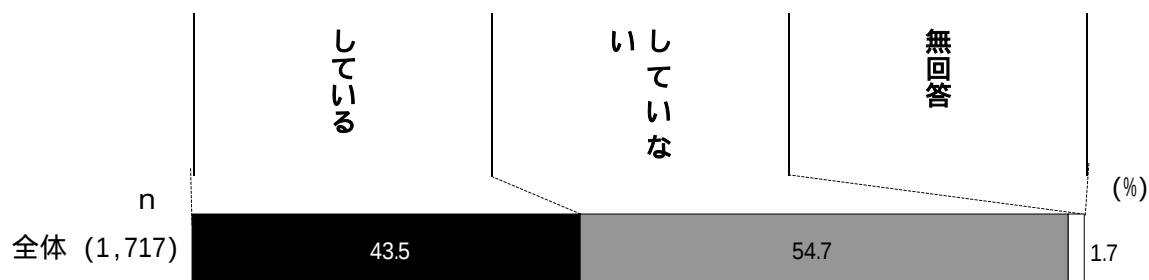
(2) 防災対策

3 - 12 災害に備えた準備の有無

「している」よりも「していない」が半数を超え多い

問12 あなたの家庭では、震災をはじめ、火災や台風などの災害に備え、何か準備をしていますか。
(○ は 1 つだけ)

< 図表 3 - 21 > 災害に備えた準備の有無



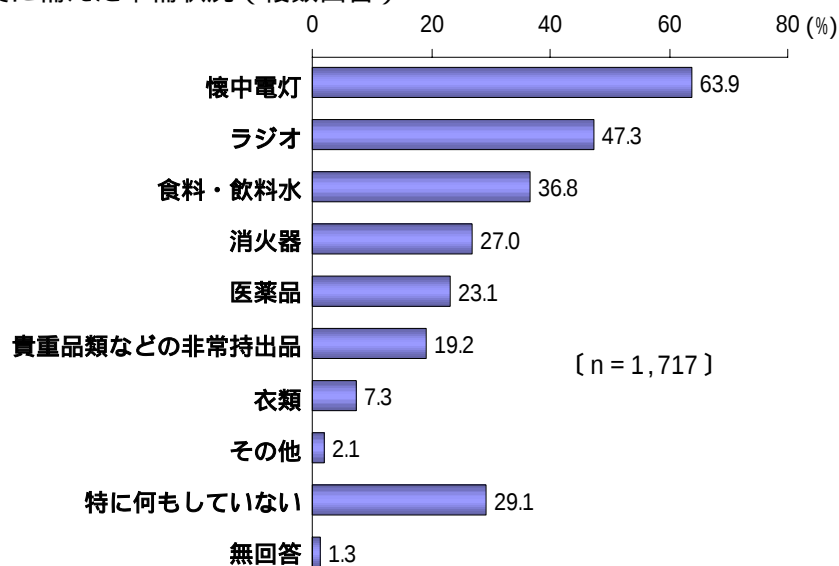
災害に備えた準備を「している」(43.5%)は4割台半ばに近いが、「していない」(54.7%)の方が半数を超え多くなっている。(図表3-21)

3 - 13 大地震に備えた準備状況

「懐中電灯」が6割台半ばに近くトップ。続く、「ラジオ」は半数に近い

問13 あなたの家庭では、大地震に備え何か準備をしていますか。(○ はいくつでも)

< 図表 3 - 22 > 大地震に備えた準備状況 (複数回答)



大地震に備えた準備状況としては、「懐中電灯」(63.9%)が6割台半ばに近く最も高い。以下、「ラジオ」(47.3%)「食料・飲料水」(36.8%)「消火器」(27.0%)などが続く。しかしながら、その一方で「特に何もしていない」(29.1%)との回答も3割弱と比較的高い。(図表3-22)

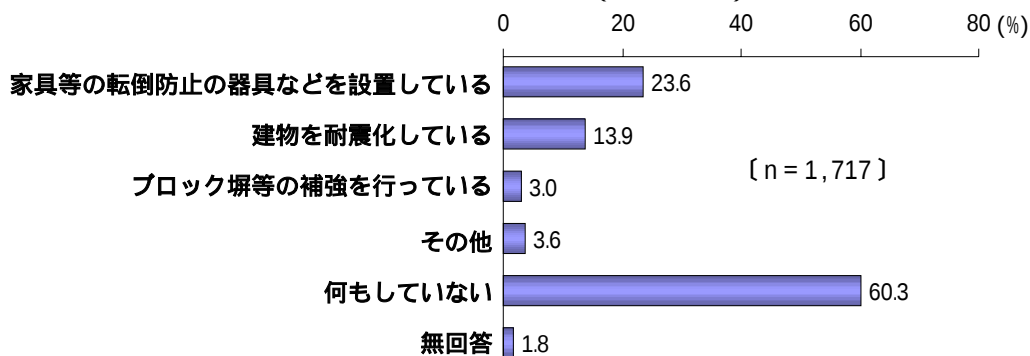
3 - 14 建物倒壊防止や家具の転倒防止策の有無

「家具等の転倒防止の器具などを設置」がほぼ4人に1人いるが、多くは「何もしていない」

問14 阪神・淡路大震災では、死亡被災者の約9割が建物倒壊や家具等の転倒による圧死が原因でした。

あなたの家庭では、建物倒壊防止や家具の転倒防止策を行っていますか。(○はいくつでも)

<図表3 - 23> 建物倒壊防止や家具の転倒防止策の有無(複数回答)

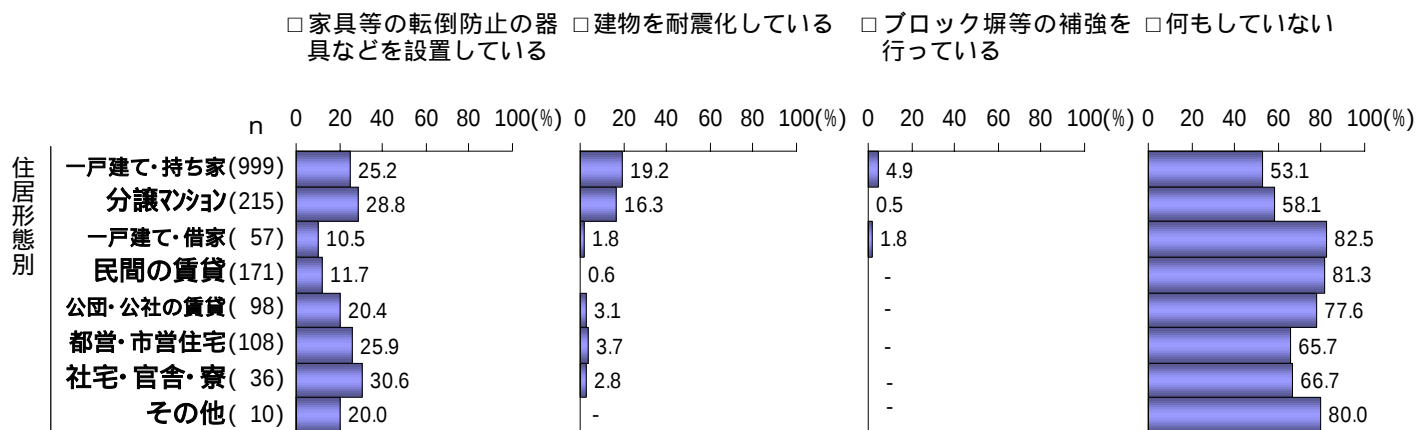


建物倒壊防止や家具の転倒防止策の有無では、「家具等の転倒防止の器具などを設置している」(23.6%)がほぼ4人に1人いるものの、「何もしていない」(60.3%)が6割を超え高くなっている。(図表3 - 23)

【住居形態別】

「家具等の転倒防止の器具などを設置している」は社宅・官舎・寮に住んでいる世帯が3割を超え、次いで、分譲マンションが約3割となっている。「建物を耐震化している」は、一戸建て・持ち家と分譲マンションのような自己所有している世帯で1割台後半である。また、「何もしていない」は一戸建て・借家と民間の賃貸が8割を超え高くなっている。(図表3 - 24)

<図表3 - 24> 住居形態別(上位3項目+「何もしていない」)

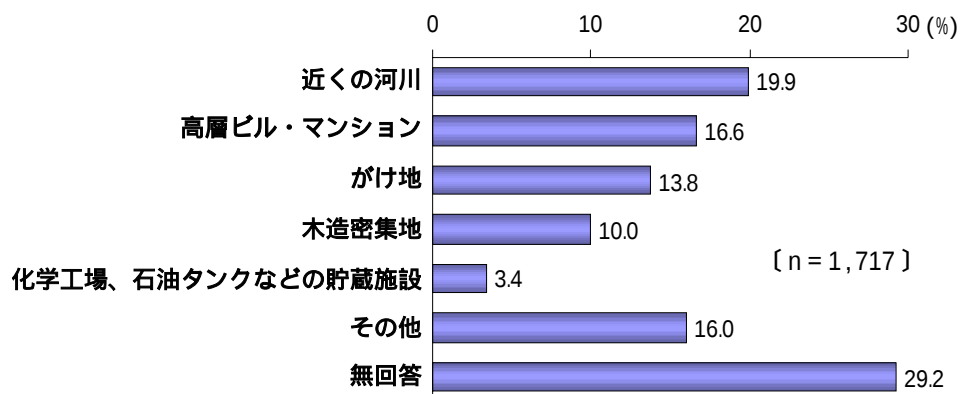


3 - 15 自宅周辺の危険な場所の有無

「近くの河川」が2割弱でトップ

問15 あなたの家庭周辺には、危険だと思う場所がありますか。(○はいくつでも)

<図表3 - 25> 自宅周辺の危険な場所の有無(複数回答)



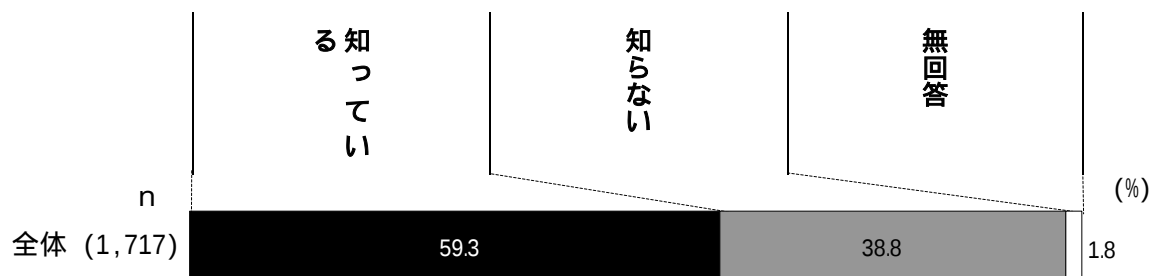
自宅周辺の危険な場所としては、「近くの河川」(19.9%)が2割弱で最も高く、僅差で「高層ビル・マンション」(16.6%)が続く。(図表3 - 25)

3 - 16 居住地域の避難場所の認知度

「知っている」は6割弱

問16 市では、平成9年度に全市の避難場所を掲載した防災マップを各戸に配布しました。あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか。(○は1つだけ)

<図表3 - 26> 居住地域の避難場所の認知度

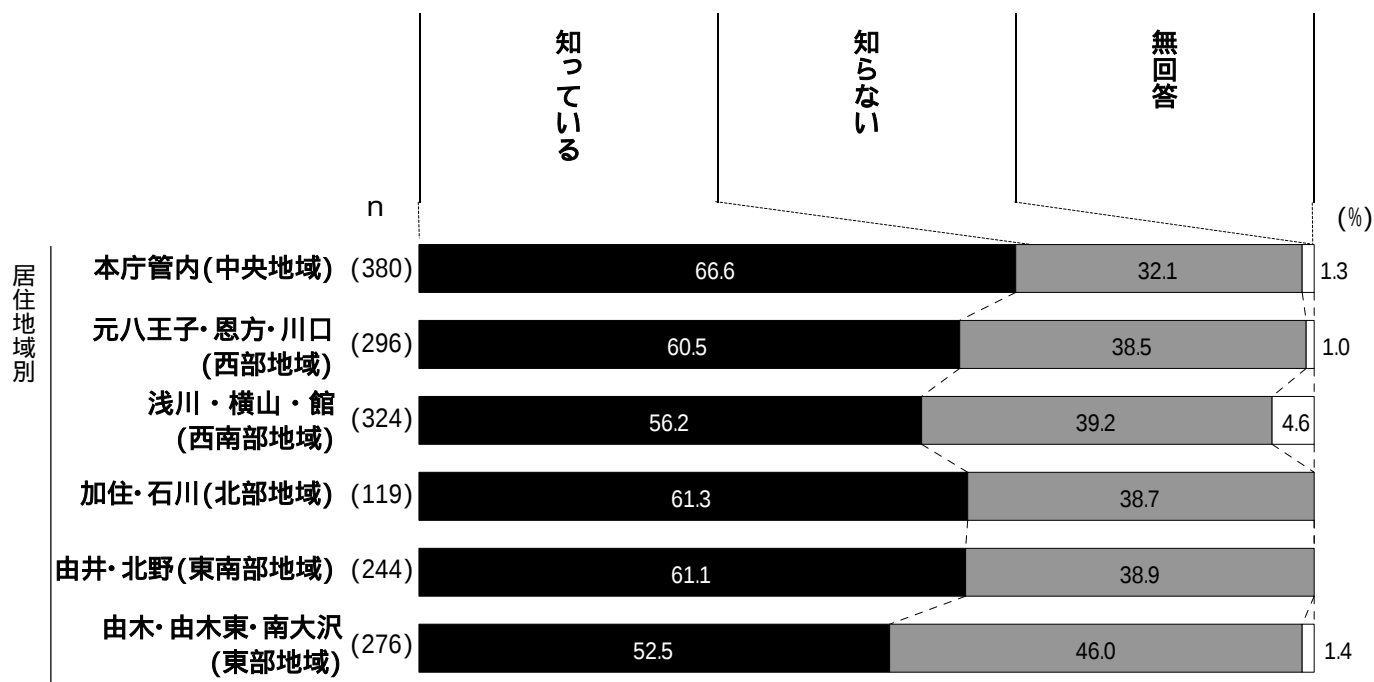


居住地域の避難場所を「知っている」(59.3%)は6割弱と多いが、「知らない」(38.8%)が約4割いる。(図表3 - 26)

【居住地域別】

「知っている」は本庁管内(中央地域)が最も高く3人に2人で、浅川・横山・館(西南部地域)と由木・由木東・南大沢(東部地域)は5割台に留まる。逆に、「知らない」は由木・由木東・南大沢(東部地域)が4割台半ばを超え高い。(図表3 - 27)

<図表3 - 27> 居住地域別



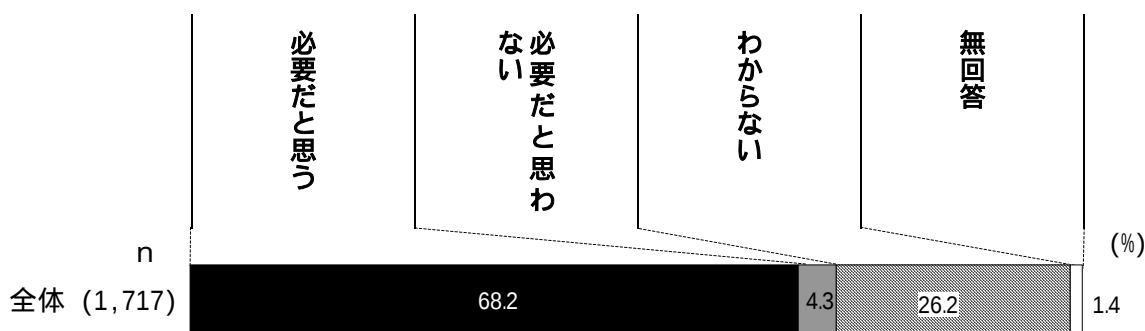
(3) 自主防災組織

3 - 17 自主防災組織の必要性

「必要だと思う」が約 7 割

問17 あなたは、自主防災組織は必要だと思いますか。(○ は 1 つだけ)

< 図表 3 - 28 > 自主防災組織の必要性



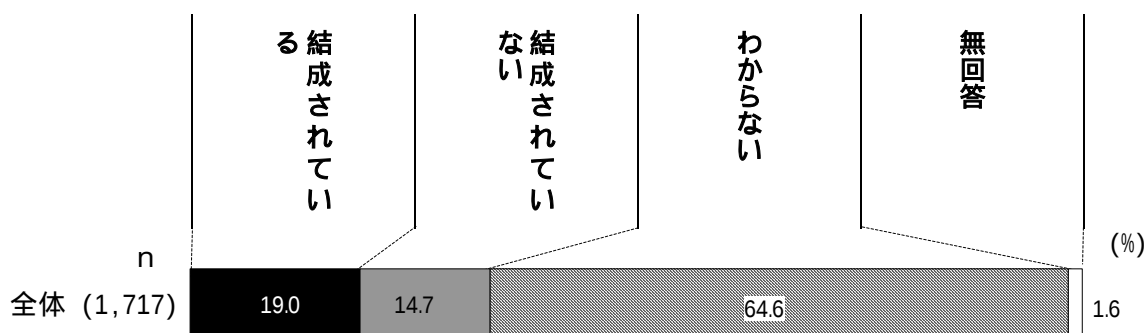
自主防災組織の必要性としては、「必要だと思う」(68.2%) が約 7 割で最も高く、「必要だと思わない」(4.3%) を大きく上回る。ただ、「わからない」(26.2%) との回答が、2 割台半ばを超える。(図表 3 - 28)

3 - 18 自主防災組織の結成状況

「結成されている」が 2 割弱いるも、多くは「わからない」と回答

問18 市では、自主防災組織づくりをすすめています。あなたのお住まいの地域の町会・自治会では、自主防災組織は組織されていますか。(○ は 1 つだけ)

< 図表 3 - 29 > 自主防災組織の結成状況



自主防災組織の結成状況では、「結成されている」(19.0%) が 2 割弱で、「結成されていない」(14.7%) は 1 割台半ばに近い。多くは、「わからない」(64.6%) としている。(図表 3 - 29)

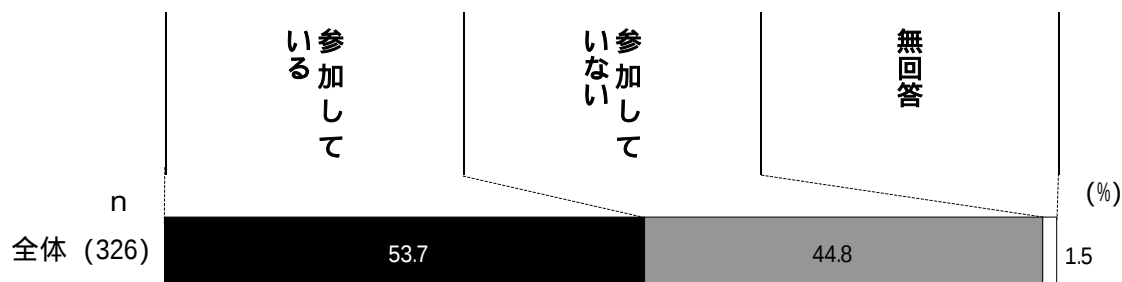
3 - 19 自主防災組織への参加の有無

「参加している」が半数を超える

（問18で、「1 結成されている」とお答えの方に）

問18 - 1 あなたは、お住まいの町会・自治会の自主防災組織に参加していますか。（○は1つだけ）

<図表 3 - 30> 自主防災組織への参加の有無

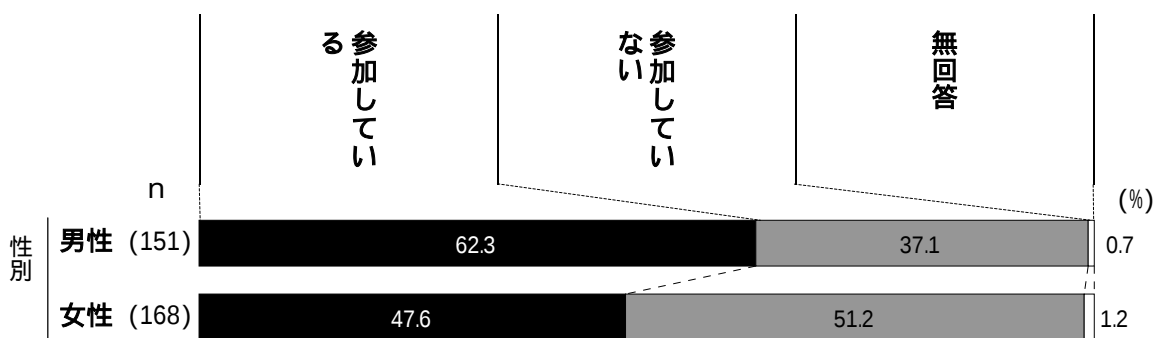


問18で、「結成されている」と答えた人の中で、自主防災組織へ「参加している」(53.7%)は半数を超え、「参加していない」(44.8%)を上回っている。(図表 3 - 30)

【性別】

「参加している」は男性の方が女性よりも15ポイント高くなっている。逆に、「参加していない」は女性の方が14ポイント高率である。(図表 3 - 31)

<図表 3 - 31> 性別



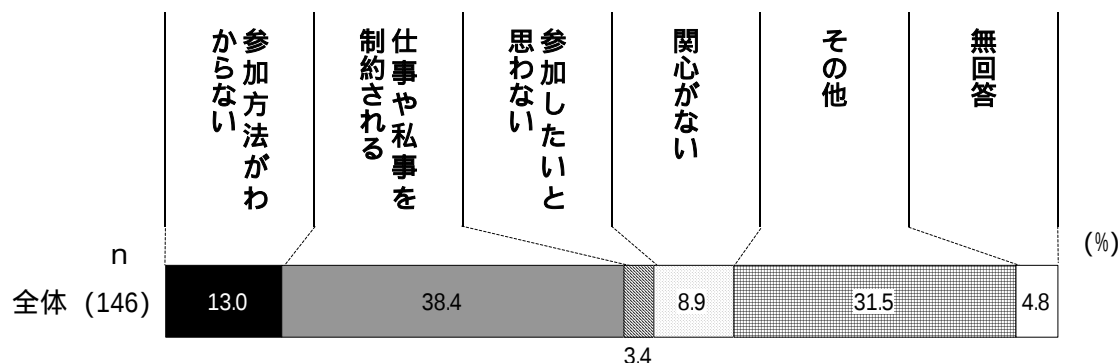
3 - 20 自主防災組織に参加していない理由

「仕事や私事を制約される」が最も高く約 4 割

(問18 - 1 で、「2 参加していない」とお答えの方に)

問18 - 1 - 1 自主防災組織に参加しない主な理由は次のどれですか。(○は1つだけ)

< 図表 3 - 32 > 自主防災組織に参加していない理由

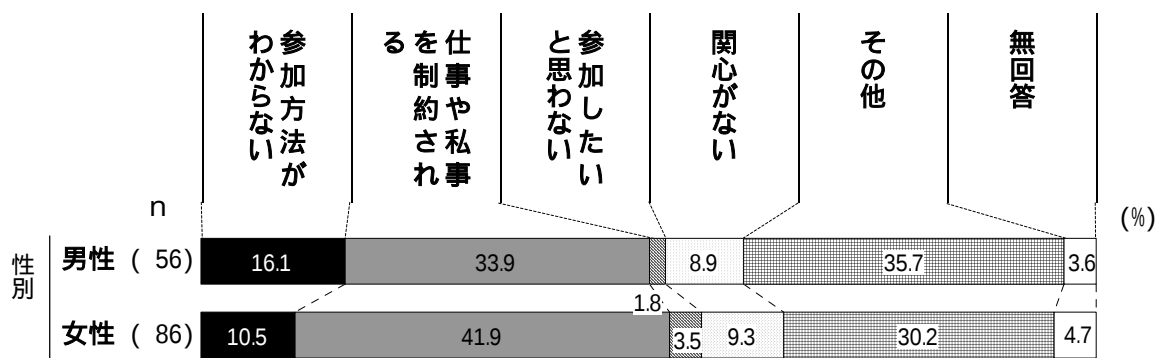


問18 - 1 で、自主防災組織に参加していない理由としては、「仕事や私事を制約される」(38.4%) が約 4 割で最も高くなっている。続く、「参加方法がわからない」(13.0%) は 1 割を超える。(図表 3 - 32)

【性別】

性別で差が目立つのは、「参加方法がわからない」は男性の方が女性よりも 6 ポイント高く、「仕事や私事を制約される」は女性が 8 ポイント上回る。(図表 3 - 33)

< 図表 3 - 33 > 性別

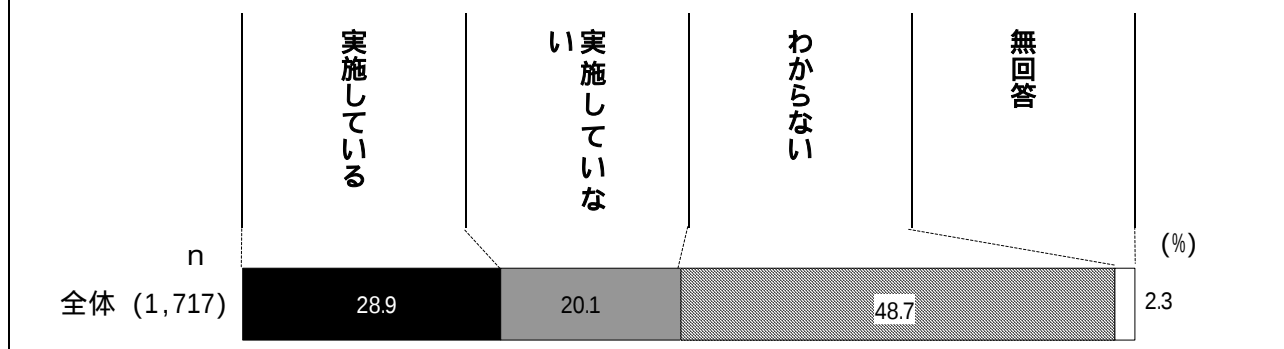


3 - 21 自主防災組織や町会・自治会での防災訓練の実施状況

「実施している」は約3割。ただし、「わからない」がほぼ半数いる

問19 あなたのお住まいの地域の自主防災組織や町会・自治会では防災訓練を実施していますか。
(○は1つだけ)

<図表3 - 34> 自主防災組織や町会・自治会での防災訓練の実施状況

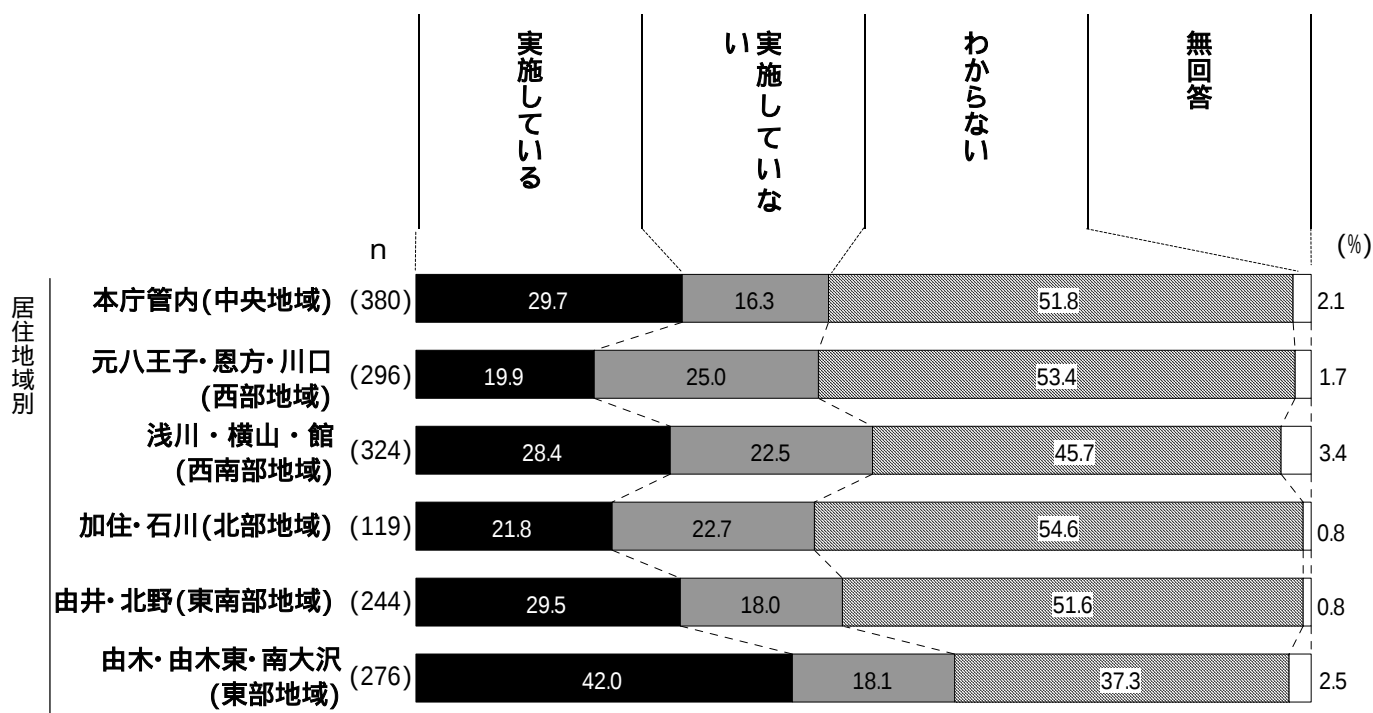


自主防災組織や町会・自治会での防災訓練を「実施している」(28.9%)が約3割で、「実施していない」(20.1%)を上回るが、「わからない」(48.7%)がほぼ半数と多い。(図表3 - 34)

【居住地域別】

「実施している」は、由木・由木東・南大沢(東部地域)が4割を超え、他の居住地域に比べて突出して高くなっている。逆に、「実施していない」は、元八王子・恩方・川口(西部地域) 浅川・横山・館(西南部地域) 加住・石川(北部地域)の3地域で2割台となっている。(図表3 - 35)

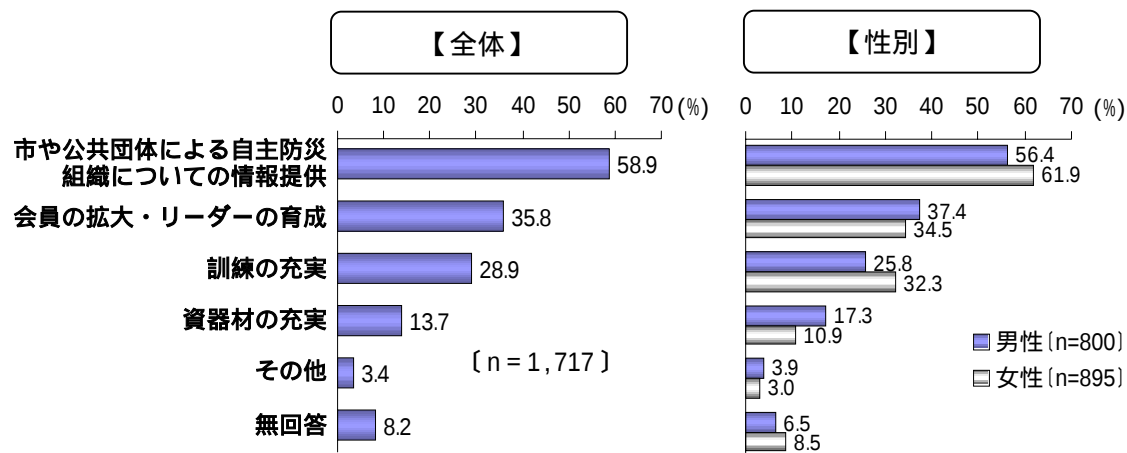
<図表3 - 35> 居住地域別



「市や公共団体による自主防災組織についての情報提供」が6割弱で突出

問20 自主防災組織が活発な活動を行うには何が必要と思いますか。(○は2つまで)

<図表3 - 36> 自主防災組織の活動に必要なこと(複数回答)



自主防災組織の活動に必要なこととしては、「市や公共団体による自主防災組織についての情報提供」(58.9%)が6割弱で突出する。以下、「会員の拡大・リーダーの育成」(35.8%)、「訓練の充実」(28.9%)と続く。

【性別】

「訓練の充実」は女性の方が男性よりも7ポイント高く、「市や公共団体による自主防災組織についての情報提供」でも6ポイント上回る。逆に、男性は「資器材の充実」で女性よりも6ポイント高くなっている。(図表3 - 36)

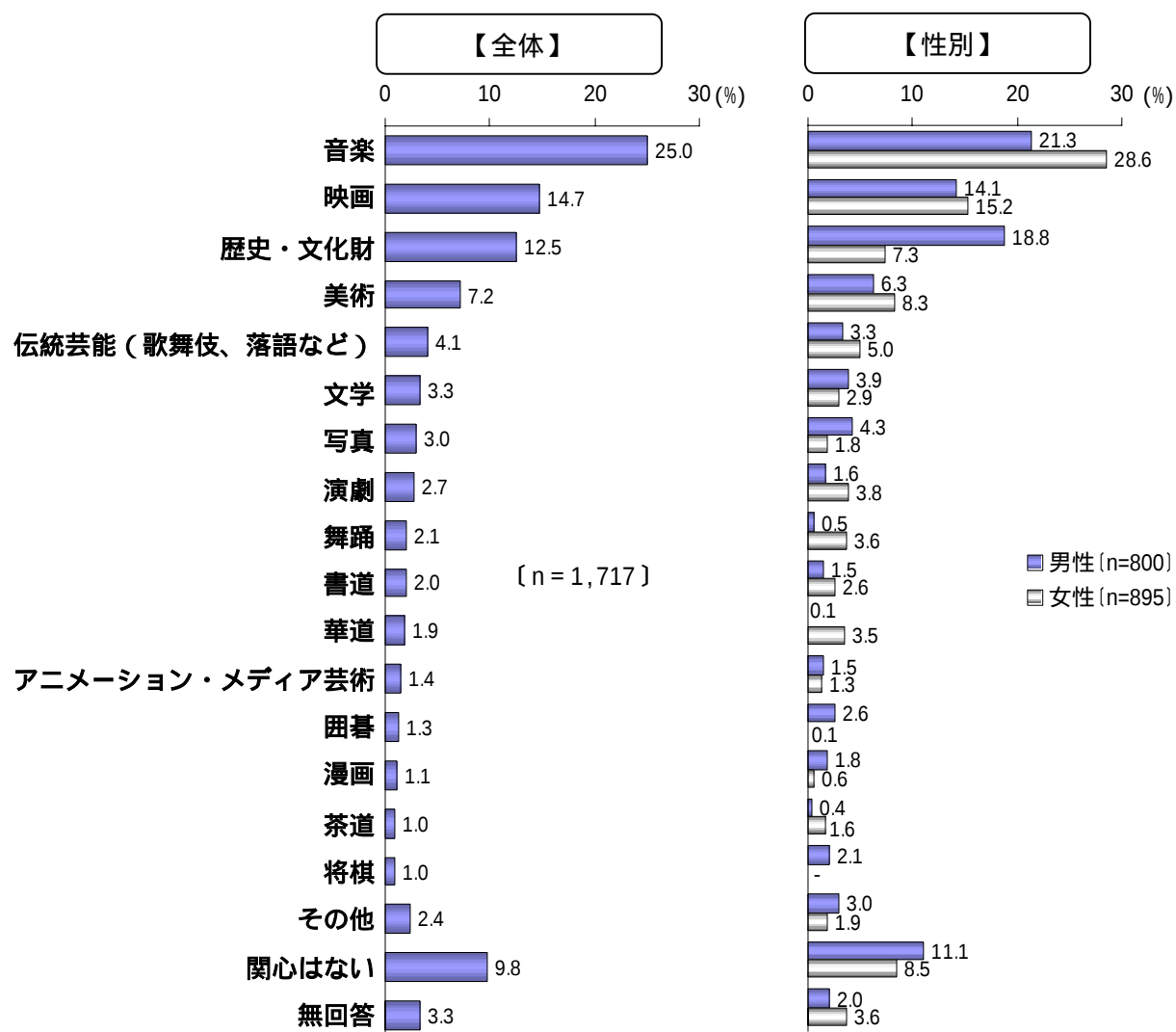
4 文化振興の推進

4 - 1 最も関心のある芸術・文化

「音楽」が4人に1人でトップ。続く「映画」と「歴史・文化財」は1割台

問21 あなたは、芸術・文化のどのような分野に最も関心がありますか。(○は1つだけ)

<図表4 - 1> 最も関心のある芸術・文化(複数回答)



最も関心のある芸術・文化では、「音楽」(25.0%)が最も高く4人に1人で、続いて、「映画」(14.7%)と「歴史・文化財」(12.5%)が1割を超える。一方、「関心はない」(9.8%)が1割弱いる。

【性別】

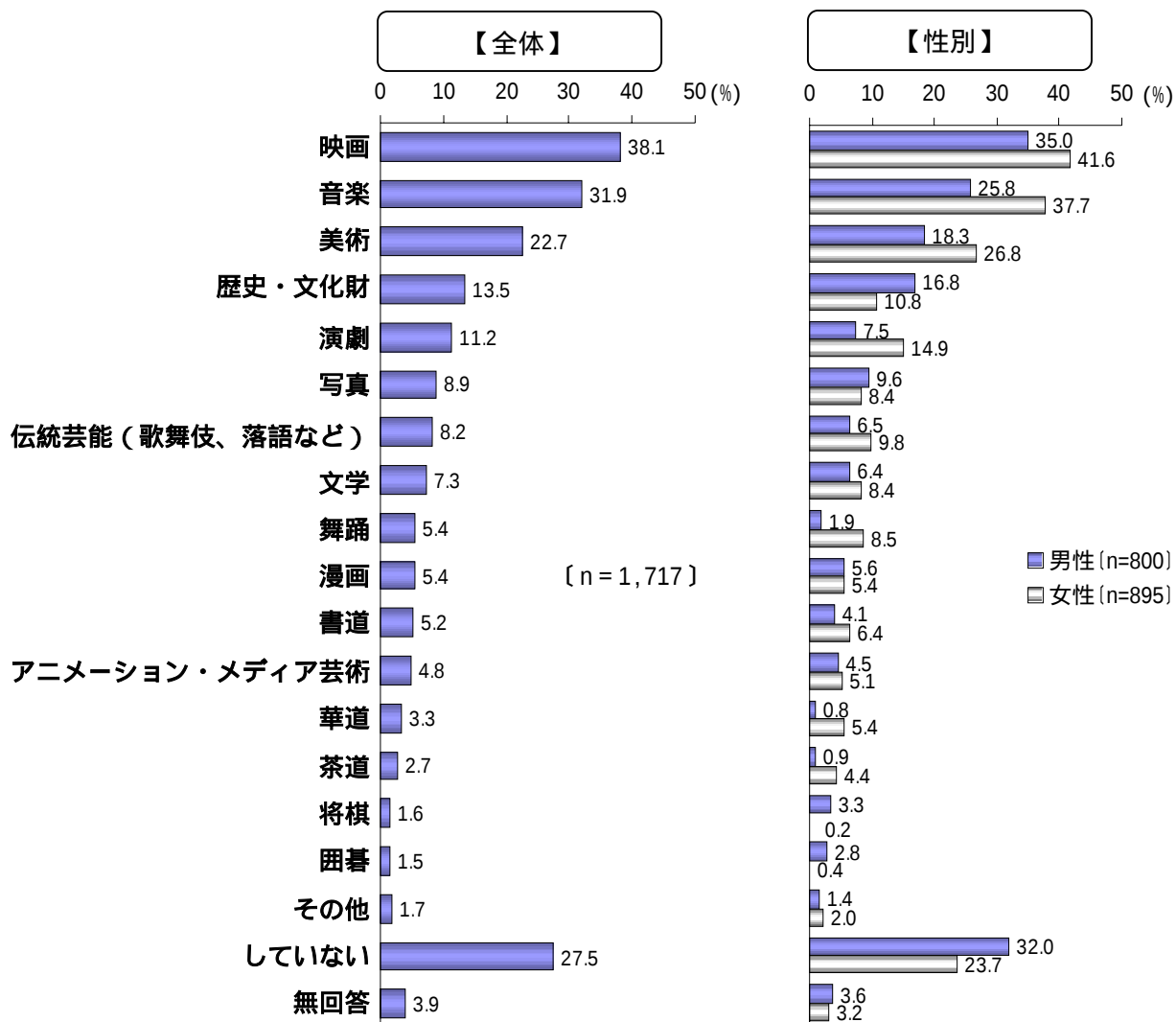
「音楽」は女性の方が男性よりも7ポイント高く、逆に、男性は「歴史・文化財」で12ポイント上回る。(図表4 - 1)

4 - 2 1年間に鑑（観）賞または参加した芸術・文化活動

「映画」が約4割でトップ。続く、「音楽」は3割強

問22 あなたがこの1年間に鑑（観）賞または参加した芸術・文化活動は、どのようなものですか。
（○はいくつでも）

<図表4 - 2> 1年間に鑑（観）賞または参加した芸術・文化活動（複数回答）



1年間に鑑（観）賞または参加した芸術・文化活動としては、「映画」（38.1%）が約4割で最も高く、「音楽」（31.9%）が3割を超え続く。このほか、「美術」（22.7%）が2割を超え、「歴史・文化財」（13.5%）と「演劇」（11.2%）が1割を超える。一方、「していない」（27.5%）が約3割と比較的高くなっている。

【性別】

多くの項目で女性の方が男性よりも高く、違いが目立つものをあげると、「音楽」の12ポイント、「美術」の9ポイント、「映画」と「演劇」、「舞踊」の7ポイント差などがある。逆に、男性は「歴史・文化財」で6ポイント上回っている。

また、「していない」は男性の方が女性よりも8ポイント高い。（図表4 - 2）

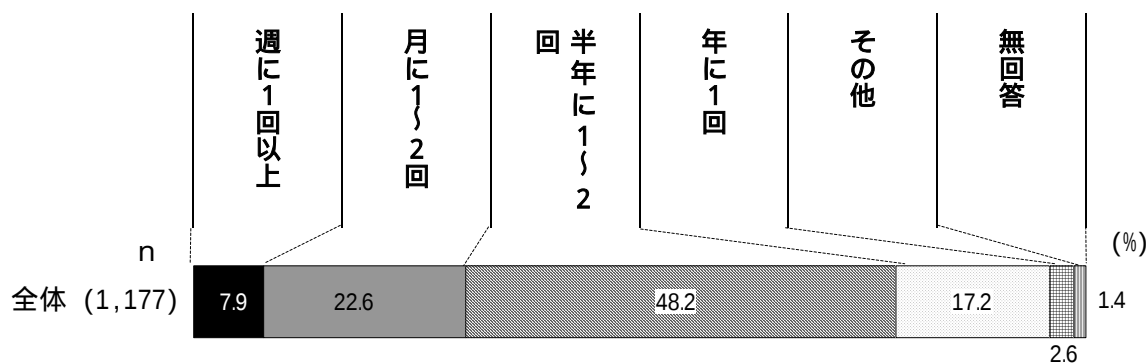
4 - 3 1年間の芸術・文化活動への参加頻度

「半年に1～2回」がほぼ半数

(問22で、「1」から「17」とお答えの方に)

問22 - 1 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

<図表4 - 3> 1年間の芸術・文化活動への参加頻度



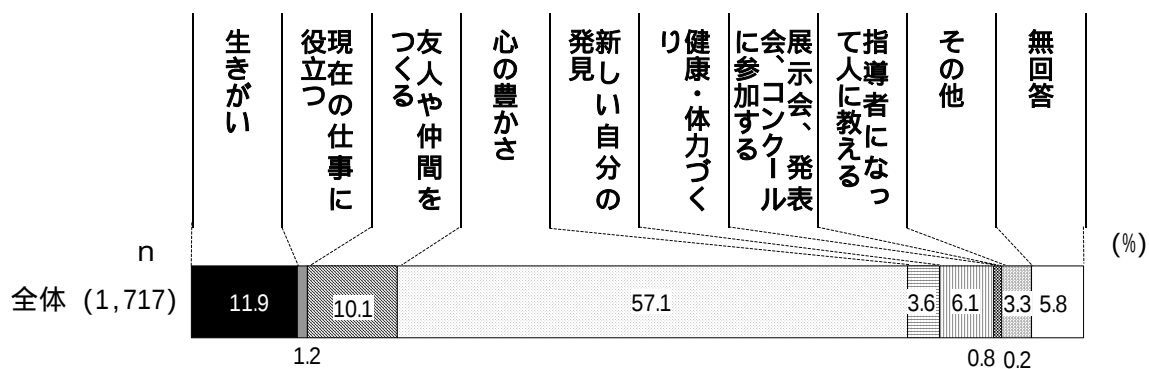
1年間の芸術・文化活動への参加頻度を聞いたところ、「週に1回以上」(7.9%)は少数にとどまり、「月に1～2回」(22.6%)「半年に1～2回」(48.2%)と期間の単位が長くなるにつれ、比率も高くなる。(図表4 - 3)

4 - 4 芸術・文化活動から最も得られるもの

「心の豊かさ」が約6割で多数を占める

問23 あなたが芸術・文化活動から最も得られると思うものは、どのようなものですか。(○は1つだけ)

<図表4 - 4> 芸術・文化活動から最も得られるもの



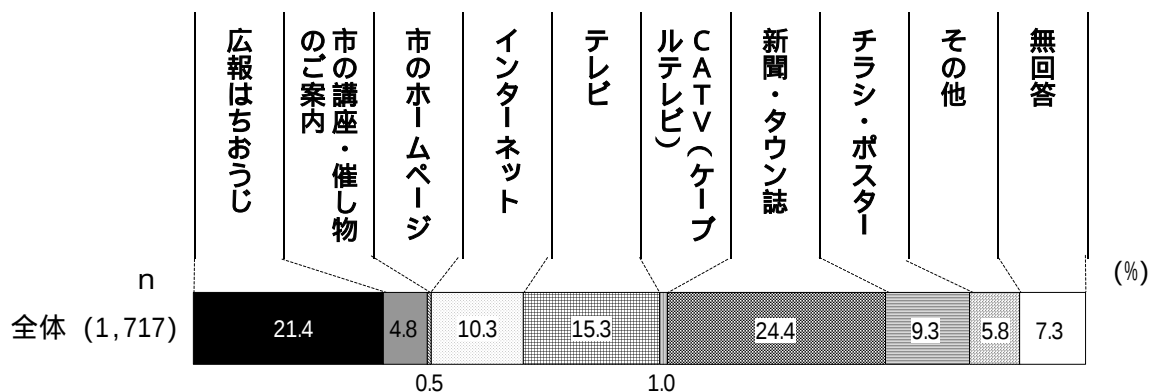
芸術・文化活動から最も得られるものを聞いたところ、「心の豊かさ」(57.1%)が約6割で多数を占め、「生きがい」(11.9%)と「友人や仲間をつくる」(10.1%)が1割を超える。(図表4 - 4)

4 - 5 芸術・文化活動を行う際の情報媒体

「新聞・タウン誌」と「広報はちおうじ」が2割台前半で比較的多い

問24 あなたが芸術・文化活動を行うときに、主に情報を得ているものはどれですか。(○は1つだけ)

<図表4 - 5> 芸術・文化活動を行う際の情報媒体

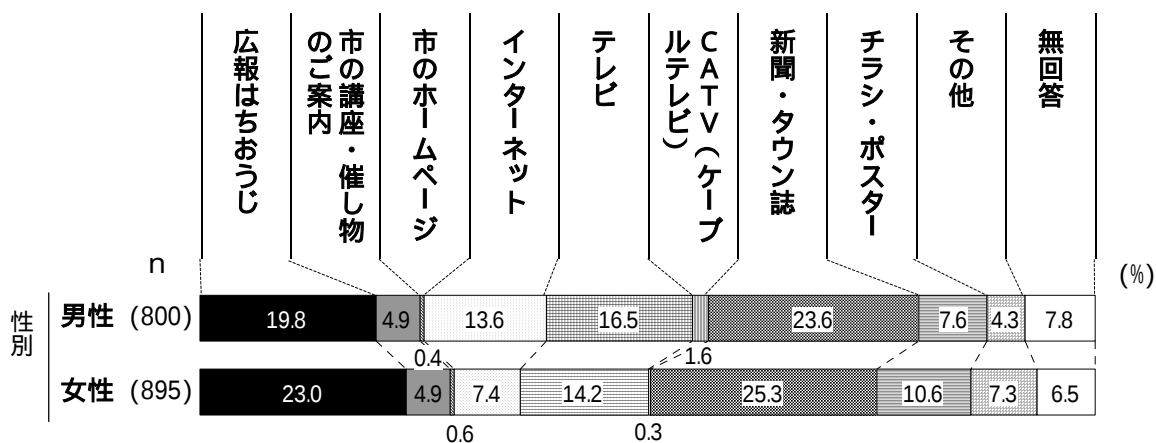


芸術・文化活動を行う際の情報媒体としては、「新聞・タウン誌」(24.4%)が最も多くほぼ4人に1人で、「広報はちおうじ」(21.4%)が僅差で続く。このほか、「テレビ」(15.3%)が1割台半ばを超え、「インターネット」(10.3%)と「チラシ・ポスター」(9.3%)が1割前後である。(図表4 - 5)

【性別】

最も差が目立つのは「インターネット」で、男性の方が女性よりも6ポイント高率である。(図表4 - 6)

<図表4 - 6> 性別

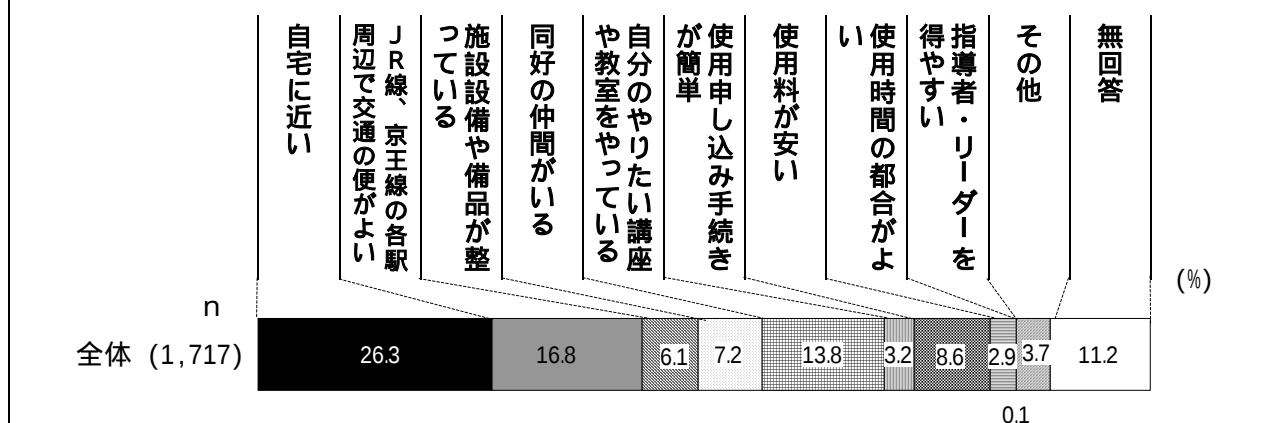


4 - 6 文化施設使用時の選択理由や基準

「自宅に近い」が最も高く 2 割台半ばを超える

問26 あなたが文化施設を使用するとき、主にどのような理由や基準で選びますか。(○は1つだけ)

<図表 4 - 7> 文化施設使用時の選択理由や基準

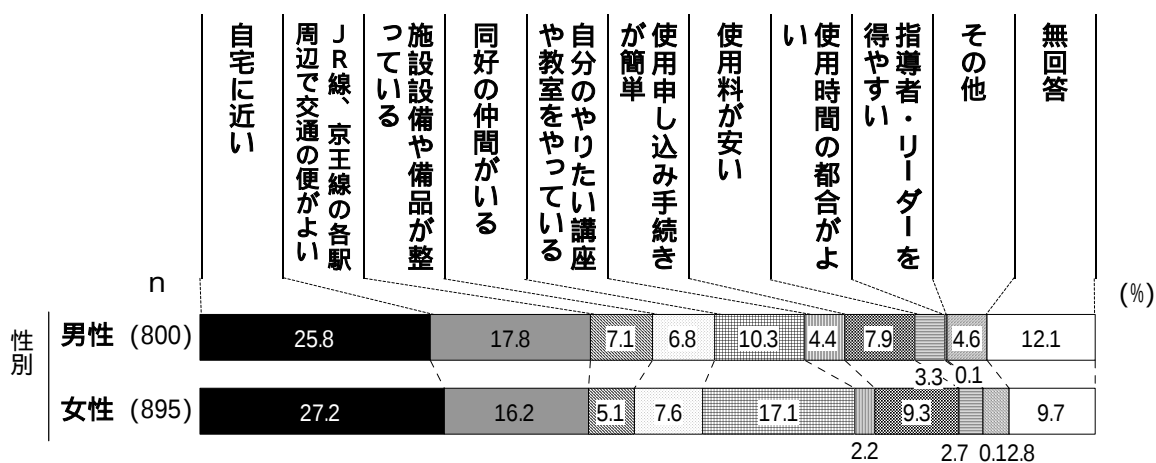


文化施設使用時の選択理由や基準としては、「自宅に近い」(26.3%)が2割台半ばを超え最も高く、「JR線、京王線の各駅周辺で交通の便がよい」(16.8%)と「自分のやりたい講座や教室をやっている」(13.8%)が1割台半ば前後で続く。(図表4-7)

【性別】

大きく違いが目立つのは、「自分のやりたい講座や教室をやっている」で、女性の方が男性よりも7ポイント高くなっている。(図表4-8)

<図表 4 - 8> 性別



5 地域福祉

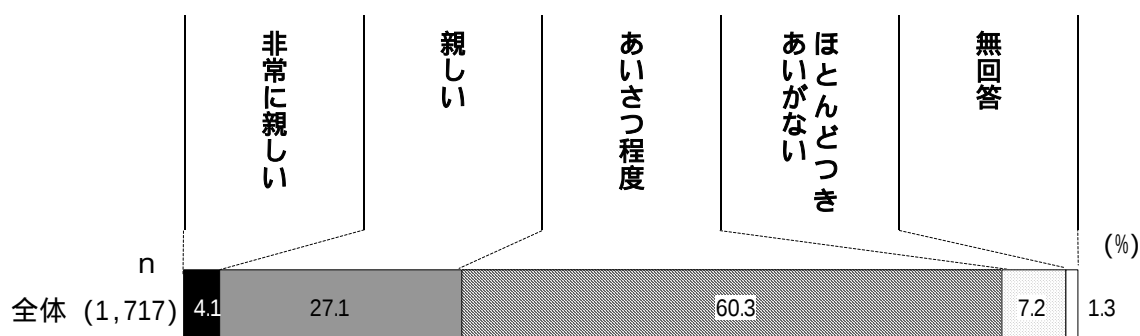
(1) 地域での支え合い

5 - 1 近所の人との付き合いの程度

《親しい》は3割強。一方、「あいさつ程度」が6割を超え多数

問29 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つだけ)

<図表5 - 1> 近所の人との付き合いの程度

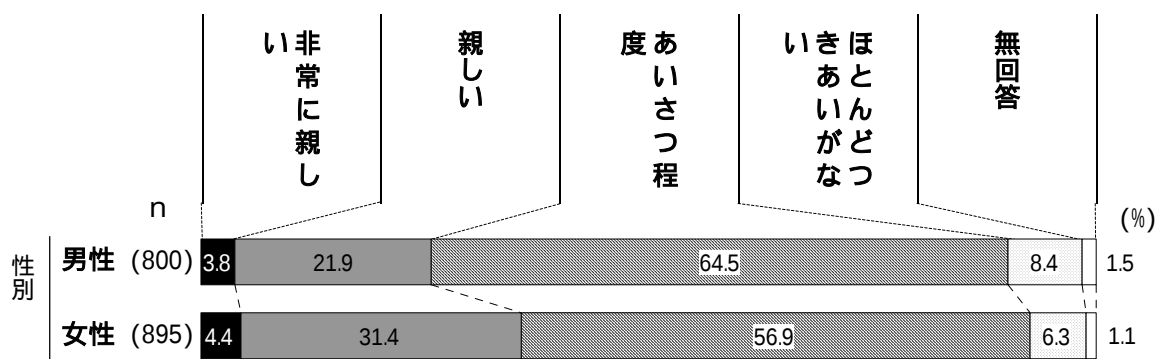


近所の人との付き合いの程度は、「非常に親しい」(4.1%)が少数にとどまるものの、「親しい」(27.1%)が約3割で、これらを合算すると《親しい》(31.2%)は3割強となる。しかしながら、「あいさつ程度」(60.3%)が6割を超え多数を占める。また、「ほとんどつきあいがない」(7.2%)との回答も少数ながらある。(図表5 - 1)

【性別】

《親しい》は女性の方が男性よりも10ポイント高くなっている。逆に、「あいさつ程度」は男性の方が8ポイント高率である。(図表5 - 2)

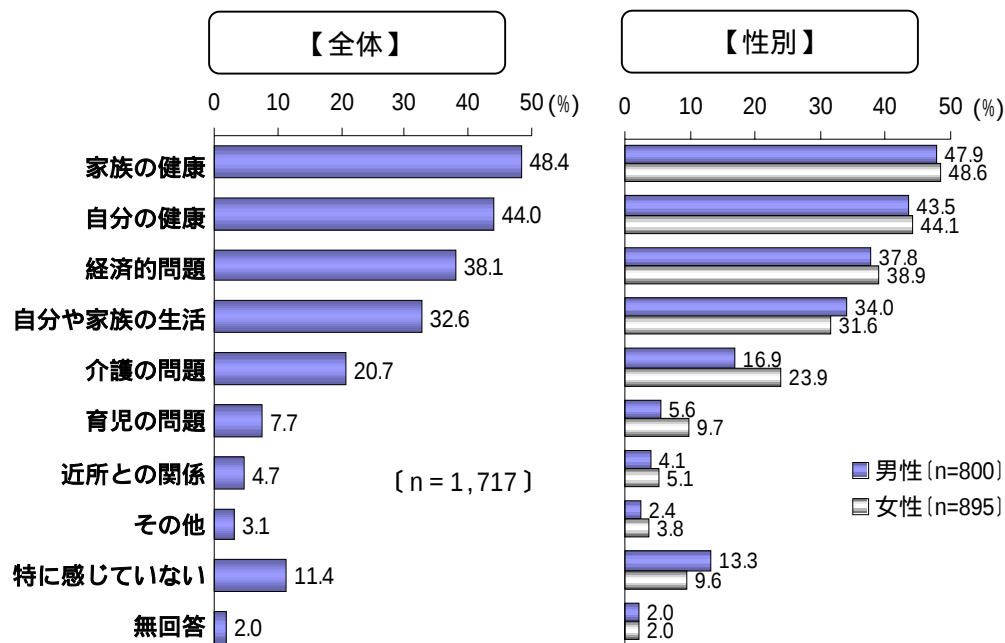
<図表5 - 2> 性別



「家族の健康」が最も多くほぼ半数。続く「自分の健康」も4割台

問30 あなたは、ふだんどのような悩みや不安を感じていますか。(○は3つまで)

<図表5 - 3> 悩みや不安の有無(複数回答)



悩みや不安を聞いたところ、「家族の健康」(48.4%)が半数に近く最も高くなっており、次いで、「自分の健康」(44.0%)も4割台で続く。このほか、「経済的問題」(38.1%)が約4割、「自分や家族の生活」(32.6%)がほぼ3人に1人、「介護の問題」(20.7%)が2割を超える。なお、「特に感じていない」(11.4%)が1割強いる。

【性別】

大きな差がみられるのは、「介護の問題」で女性の方が男性よりも7ポイント高くなっている。(図表5 - 3)

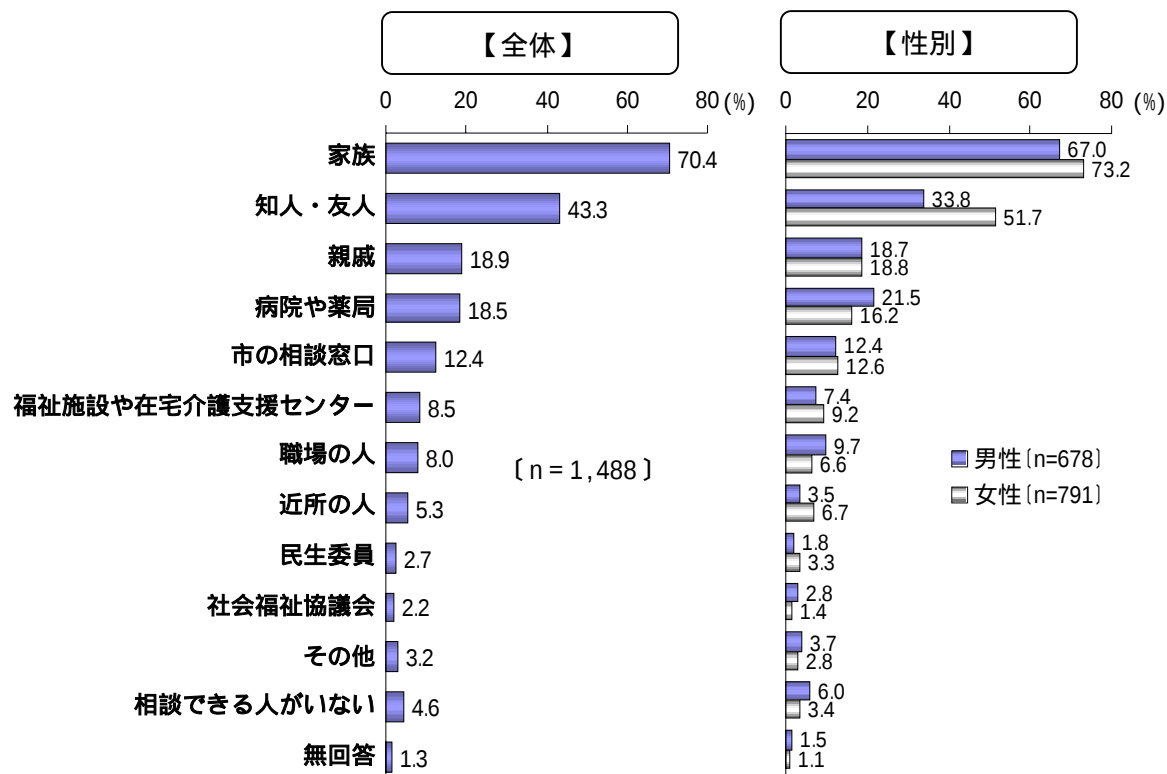
5 - 3 悩みや不安について相談したい相手

「家族」が7割を超え突出

(問30で、「1」から「8」とお答えの方に)

問30 - 1 あなたは、悩みや不安について誰に相談したいと思いますか。(○は3つまで)

<図表5 - 4> 悩みや不安について相談したい相手(複数回答)



問30で、何らかの悩みや不安があると回答した人に、その相談したい相手を聞いた。その結果、「家族」(70.4%)が7割を超え突出している。続く、「知人・友人」(43.3%)は4割台半ばに近い。このほか、「親戚」(18.9%)と「病院や薬局」(18.5%)が約2割、「市の相談窓口」(12.4%)と「福祉施設や在宅介護支援センター」(8.5%)、「職場の人」(8.0%)が1割前後である。なお、「相談できる人がいない」(4.6%)との回答も少数ながらある。

【性別】

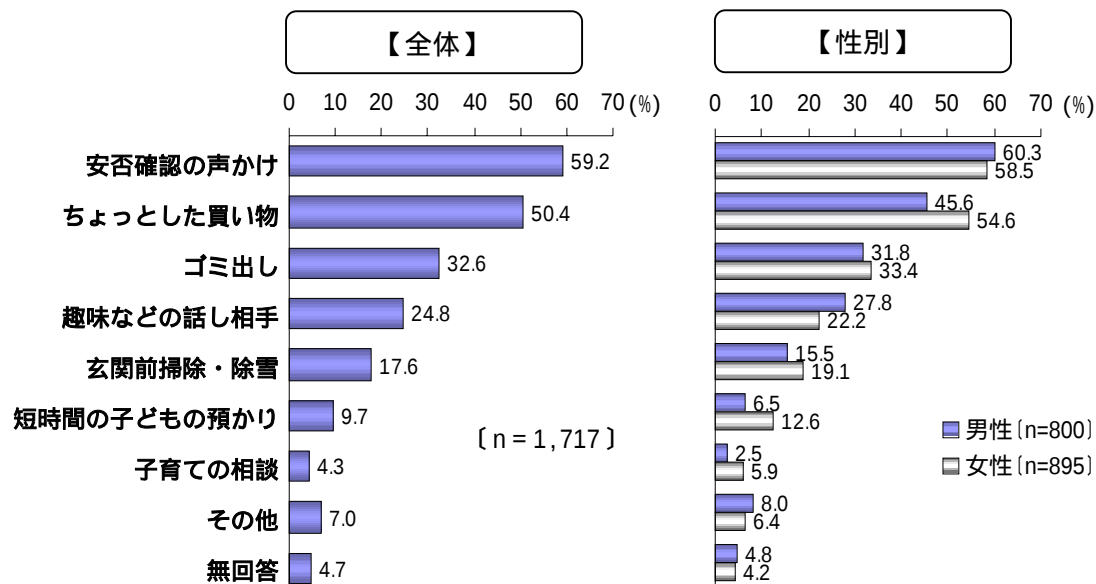
最も差が大きいのは、「知人・友人」で女性の方が男性よりも18ポイント高く、「家族」でも女性は6ポイント上回る。逆に、男性の方が高くなっているのは、「病院や薬局」で5ポイント差がある。(図表5 - 4)

5 - 4 日常生活が不自由になった際に地域に望むこと

「安否確認の声かけ」が6割弱で最も高く、「ちょっとした買い物」も半数を超える

問31 あなたが、高齢や病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域で何をしてほしいですか。(○は3つまで)

<図表5 - 5> 日常生活が不自由になった際に地域に望むこと(複数回答)



日常生活が不自由になった際に地域に望むこととしては、「安否確認の声かけ」(59.2%)が6割弱で最も高く、「ちょっとした買い物」(50.4%)も半数を超える。このほか、「ゴミ出し」(32.6%)がほぼ3人に1人、「趣味などの話し相手」(24.8%)がほぼ4人に1人となっている。

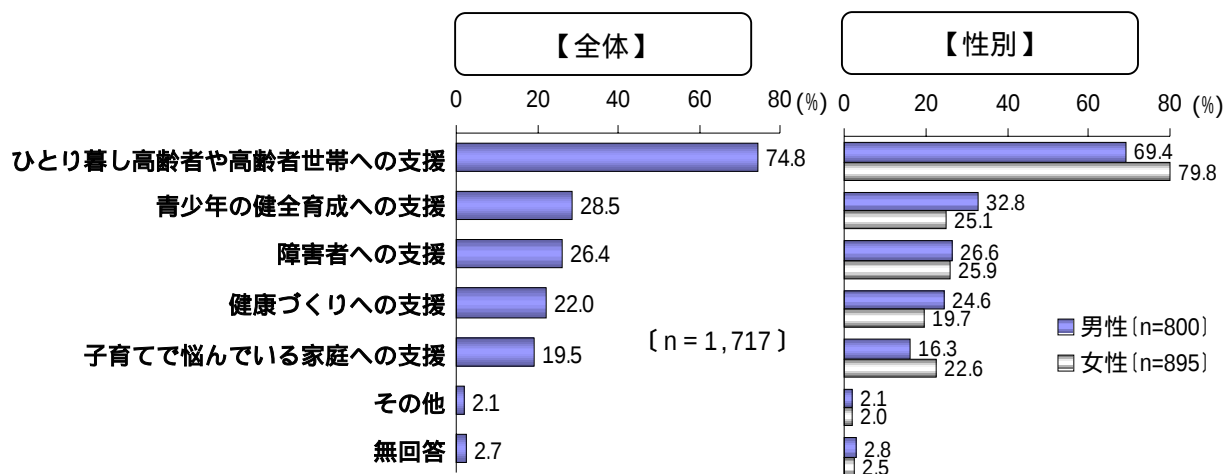
【性別】

「ちょっとした買い物」は女性の方が男性よりも9ポイント高く、「短時間の子どもの預かり」でも女性は6ポイント高い。逆に、「趣味などの話し相手」は男性の方が6ポイント高率である。(図表5 - 5)

「ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への支援」がほぼ4人に3人で突出

問32 あなたは、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題はどれだと思いますか。
(○は2つまで)

<図表5 - 6> 地域で協力して取り組む必要がある問題(複数回答)



地域で協力して取り組む必要がある問題としては、「ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への支援」(74.8%)がほぼ4人に3人で突出している。これに続く、「青少年の健全育成への支援」(28.5%)と「障害者への支援」(26.4%)は2割台後半である。

【性別】

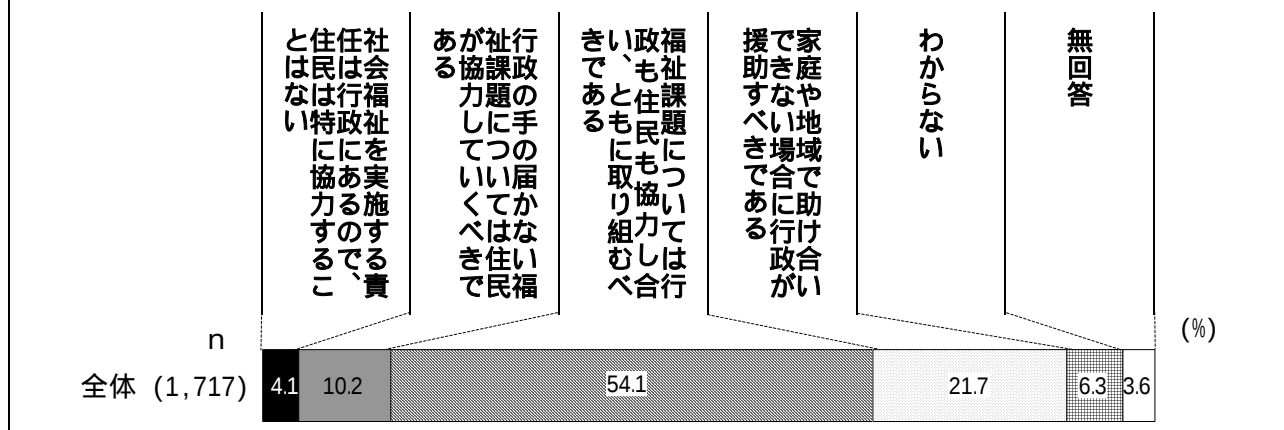
「ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への支援」は女性の方が男性よりも10ポイント高くなっている。また、女性は「子育てで悩んでいる家庭への支援」でも6ポイント高率である。逆に、男性が上回るものには、「青少年の健全育成への支援」の8ポイント、「健康づくりへの支援」の5ポイント差などがある。(図表5 - 6)

5 - 6 社会福祉サービス充実のための行政との関係

「福祉課題については行政も住民も協力し合いとにも取り組むべき」が半数を超える

問33 社会福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてのあなたの考えに最も近いのはどれですか。(○は1つだけ)

<図表5 - 7> 社会福祉サービス充実のための行政との関係



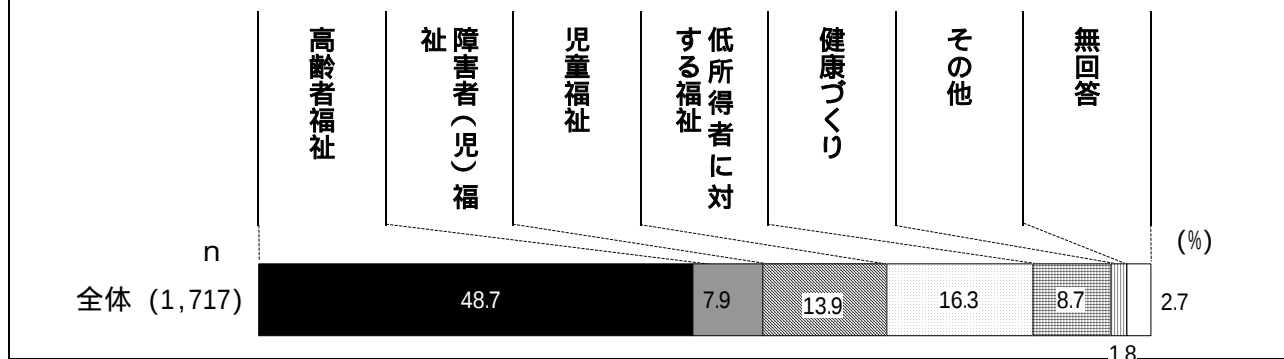
社会福祉サービス充実のための行政との関係を聞いたところ、「福祉課題については行政も住民も協力し合い、とにも取り組むべきである」(54.1%)が過半数を占め最も高くなっている。これに続くのは、「家庭や地域で助け合えない場合に行政が援助すべきである」(21.7%)で2割強である。また、「行政の手の届かない福祉課題については住民が協力していくべきである」(10.2%)が1割強となっている。(図表5 - 7)

5 - 7 今後最も重視していくことが望ましい福祉分野

「高齢者福祉」がほぼ半数で最も高い

問34 限られた財源のなかで今後、最も重視していくことが望ましいと思う福祉分野はどれですか。(○は1つだけ)

<図表5 - 8> 今後最も重視していくことが望ましい福祉分野

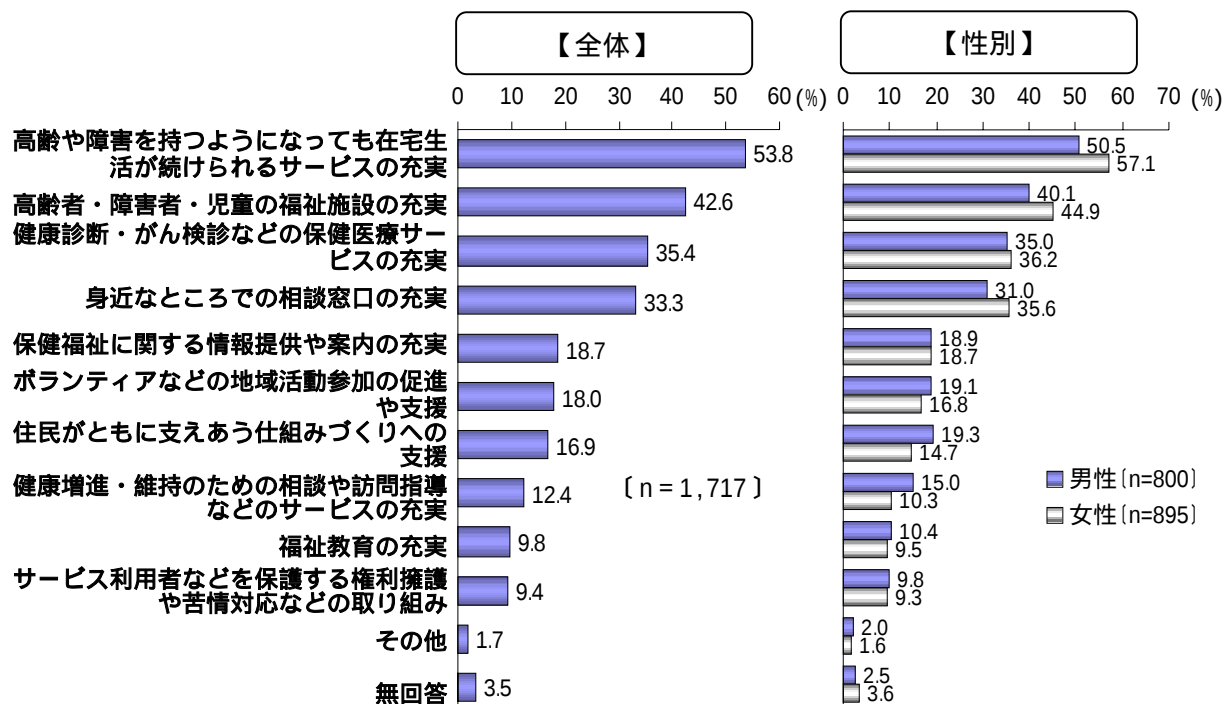


今後最も重視していくことが望ましい福祉分野としては、「高齢者福祉」(48.7%)がほぼ半数で最も高く、続く「低所得者に対する福祉」(16.3%)と「児童福祉」(13.9%)が1割台半ば前後となっている。(図表5 - 8)

「高齢や障害を持つようになって在宅生活が続けられるサービスの充実」が半数を超えトップ

問35 市が取り組むべき具体的な保健・福祉施策として、どれを優先して充実すべきだと思いますか。
(○は3つまで)

<図表5 - 9> 市が優先して取り組むべき保健・福祉施策（複数回答）



市が優先して取り組むべき保健・福祉施策としては、「高齢や障害を持つようになって在宅生活が続けられるサービスの充実」(53.8%)が半数を超え最も高く、「高齢者・障害者・児童の福祉施設の充実」(42.6%)が4割を超え続く。以下、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」(35.4%)、「身近なところでの相談窓口の充実」(33.3%)などが続き、上位4項目が目立つ。

【性別】

男性の方が女性よりも高いものには、「住民がともに支えあう仕組みづくりへの支援」と「健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実」の5ポイント差などがある。逆に、女性が上回るのは、「高齢や障害を持つようになって在宅生活が続けられるサービスの充実」の7ポイント、「高齢者・障害者・児童の福祉施設の充実」と「身近なところでの相談窓口の充実」の5ポイントなどである。(図表5 - 9)

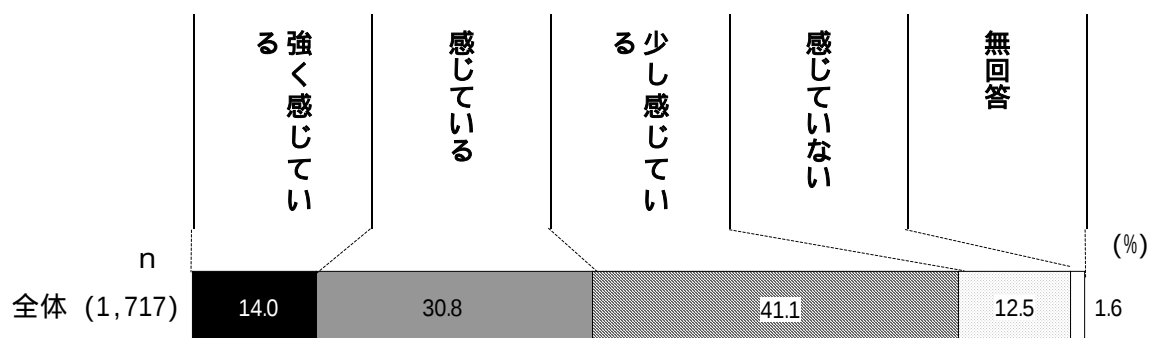
(2) 健康づくり

5 - 9 日頃のストレスの有無

《感じている》が8割台半ばを超える

問36 あなたは、日頃ストレスを感じていますか。(○ は1つだけ)

<図表 5 - 10> 日頃のストレスの有無

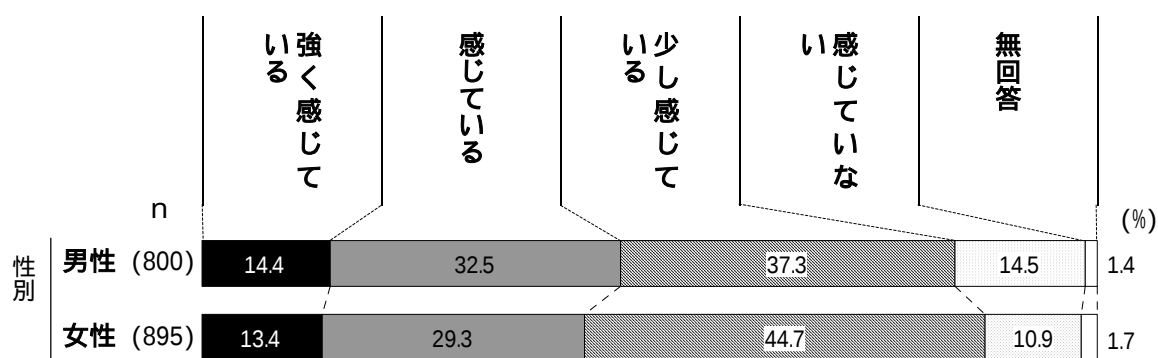


日頃のストレスについては、「強く感じている」(14.0%)、「感じている」(30.8%)、「少し感じている」(41.1%)とストレスの程度が低くなるほど比率が高くなっている。これら3項目を合算すると、《感じている》(85.9%)は8割台半ばを超える。程度の差こそあれ、多数の人が何らかのストレスを感じていることが分かる。逆に、「感じていない」(12.5%)は1割強である。(図表 5 - 10)

【性別】

「強く感じている」と「感じている」は男性の方が女性よりも若干高いが、「少し感じている」は女性の方が7ポイント高くなっている。(図表 5 - 11)

<図表 5 - 11> 性別

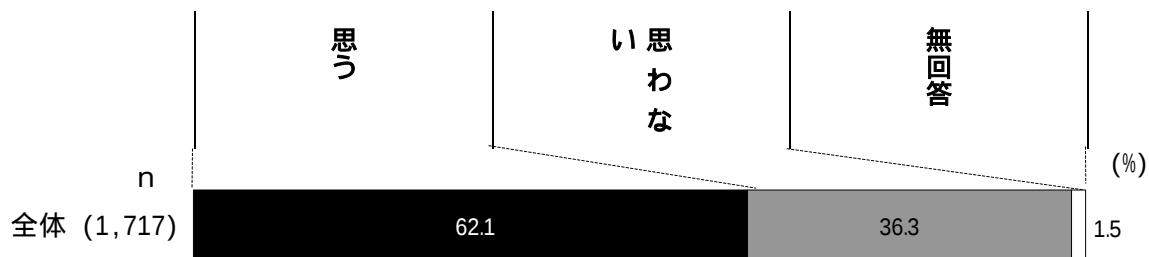


5 - 10 自分の健康状態

健康であると「思う」が6割強で、「思わない」を上回る

問37 あなたは、自分が健康であると思いますか。(○は1つだけ)

<図表5 - 12> 自分の健康状態



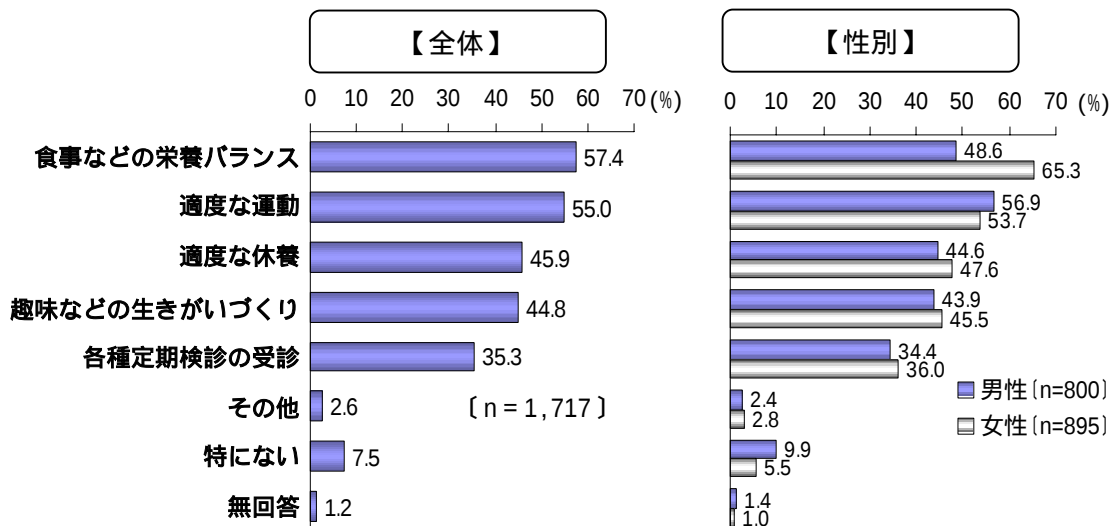
自分が健康であると「思う」(62.1%)は6割を超え、「思わない」(36.3%)を上回っている。(図表5 - 12)

5 - 11 健康維持・増進のために自ら心がけていること

「食事などの栄養バランス」と「適度な運動」が半数を超え上位2項目

問38 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけていることはどれですか。(○はいくつでも)

<図表5 - 13> 健康維持・増進のために自ら心がけていること(複数回答)



健康維持・増進のために自ら心がけていることとしては、「食事などの栄養バランス」(57.4%)と「適度な運動」(55.0%)の上位2項目が半数を超え高くなっている。次いで、「適度な休養」(45.9%)と「趣味などの生きがいづくり」(44.8%)が4割台半ば前後である。なお、「特になし」(7.5%)との回答が、少数ながらある。

【性別】

最も差が目立つのは、「食事などの栄養バランス」で女性の方が男性よりも17ポイント上回っている。(図表5 - 13)

6 都市交通

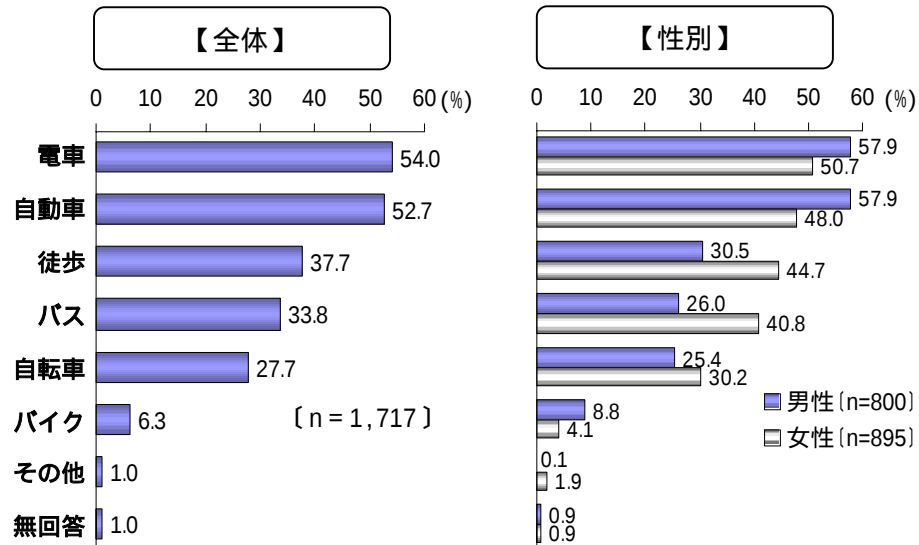
6 - 1 外出の際に利用する交通手段

「電車」と「自動車」が半数を超え上位2項目

問39 あなたは通勤・通学・買い物など外出の際に、主にどのような交通手段を利用していますか。
(○はいくつでも)

この設問で「1 電車」と「2 自動車」の両方をお答えの方は、問39-1と問39-2の両方をお答えください。

<図表6 - 1> 外出の際に利用する交通手段(複数回答)



外出の際に利用する交通手段としては、「電車」(54.0%)と「自動車」(52.7%)が半数を超え高くなっている。「徒歩」(37.7%)は約4割、「バス」(33.8%)は3人に1人である。

【性別】

男性が女性を上回るものには、「自動車」の10ポイント、「電車」の7ポイント、「バイク」の5ポイント差などがある。逆に、女性の方が高いものには、「バス」の15ポイント、「徒歩」の14ポイント、「自転車」の5ポイント差がある。(図表6 - 1)

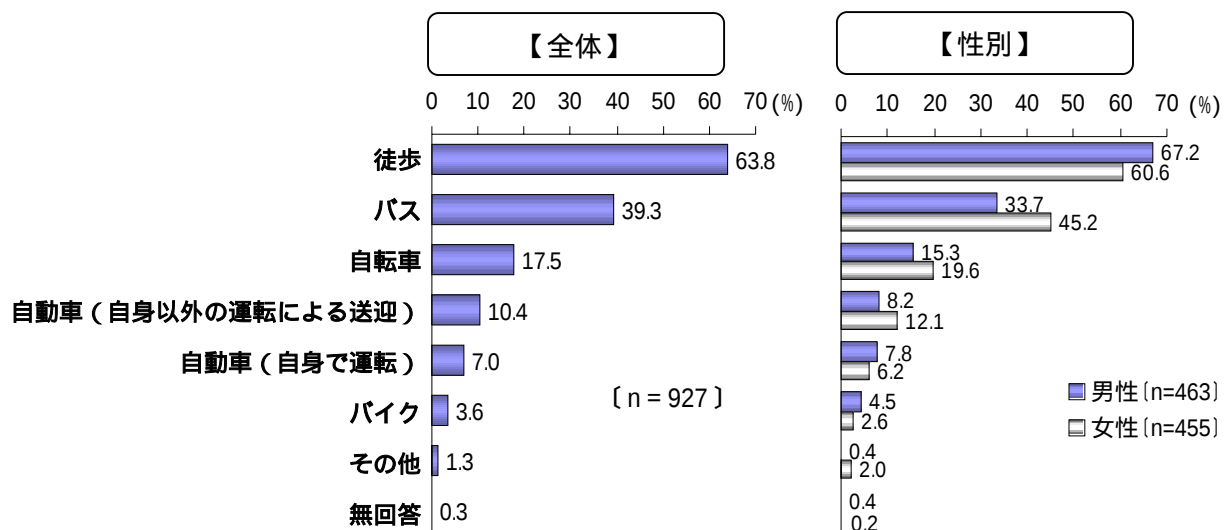
6 - 2 駅までの交通手段

「徒歩」が6割台半ばに近く突出

(問39で、「1 電車」とお答えの方に)

問39 - 1 駅まではどのような交通手段を利用していますか。(○はいくつでも)

<図表6 - 2> 駅までの交通手段(複数回答)



問39で、「電車」と回答した人に、駅までの交通手段を聞いた。その結果、「徒歩」(63.8%)が6割台半ばに近く突出している。続く、「バス」(39.3%)は4割弱である。

【性別】

「バス」は女性の方が男性よりも12ポイント高く、逆に、「徒歩」は男性が7ポイント上回る。(図表6 - 2)

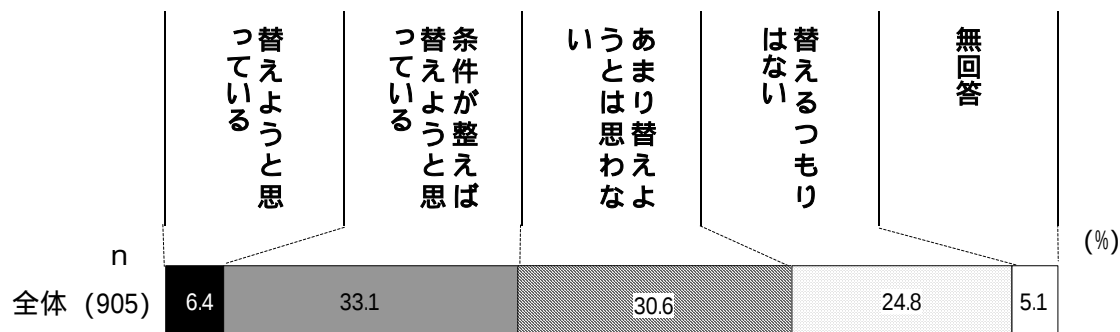
6 - 3 交通手段の転換意向

《替えようと思っている》は4割弱。一方の《替えるつもりはない》は過半数

(問39で、「2 自動車」とお答えの方に)

問39 - 2 自動車から電車・バスや自転車などへ、交通手段の転換を進める動きが見られますが、あなたは自動車からこれらの交通手段へ替えていく考えはありますか。(○は1つだけ)

<図表 6 - 3> 交通手段の転換意向

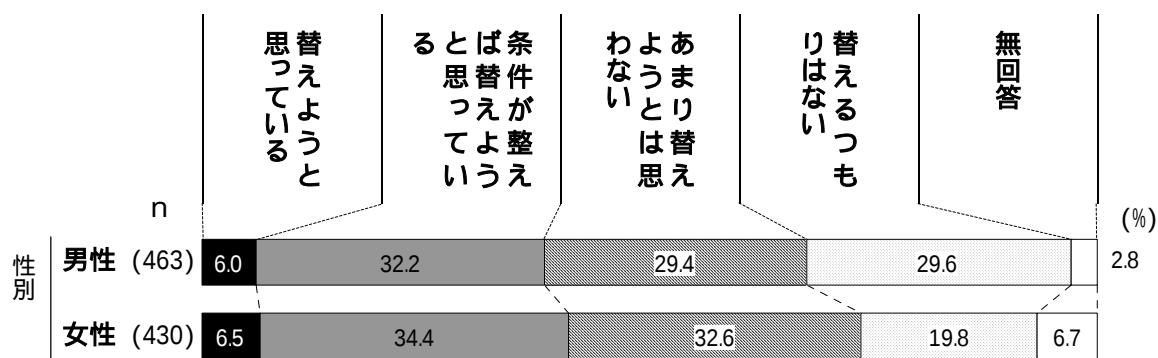


問39で、「自動車」と回答した人に、交通手段の転換意向を聞いたところ、「替えようと思っている」(6.4%)は少数にとどまり、「条件が整えば替えようと思っている」(33.1%)が3人に1人となっている。これらを合算すると、《替えようと思っている》(39.5%)が4割弱となる。逆に、「あまり替えようとは思わない」(30.6%)と「替えるつもりはない」(24.8%)を合算すると、《替えるつもりはない》(55.4%)が過半数を占め多くなっている。(図表 6 - 3)

【性別】

「替えるつもりはない」で、男性は女性よりも10ポイント高くなっている。(図表 6 - 4)

<図表 6 - 4> 性別

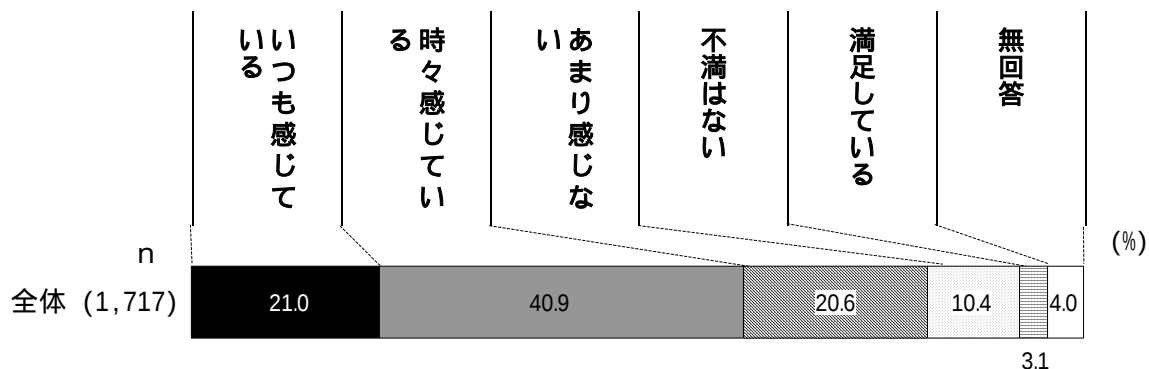


6 - 4 交通手段利用時の不満度

《感じている》が8割を超え多数を占める

問40 あなたは、交通手段を利用する場合不満を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

<図表6 - 5> 交通手段利用時の不満度



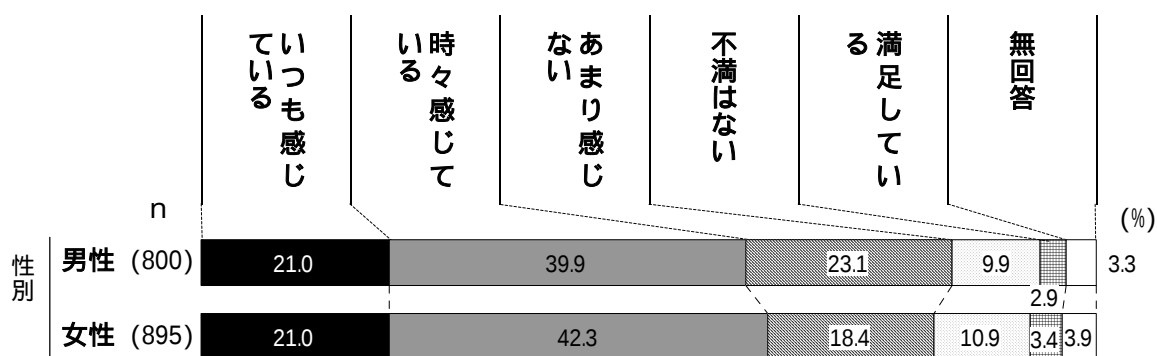
交通手段利用時の不満を「いつも感じている」(21.0%)は、2割を超え、「時々感じている」(40.9%)は4割を超える。これに「あまり感じない」(20.6%)も程度の差はあるが、不満を感じていると考え合算すると、《感じている》(82.5%)は8割を超え、多くの人が何らかの不満を感じていることが分かる。

逆に、「不満はない」(10.4%)は1割台強で、「満足している」(3.1%)との回答も多少ながらある。(図表6 - 5)

【性別】

最も違いが大きいのは、「あまり感じない」で男性の方が女性よりも5ポイント高くなっている。(図表6 - 6)

<図表6 - 6> 性別



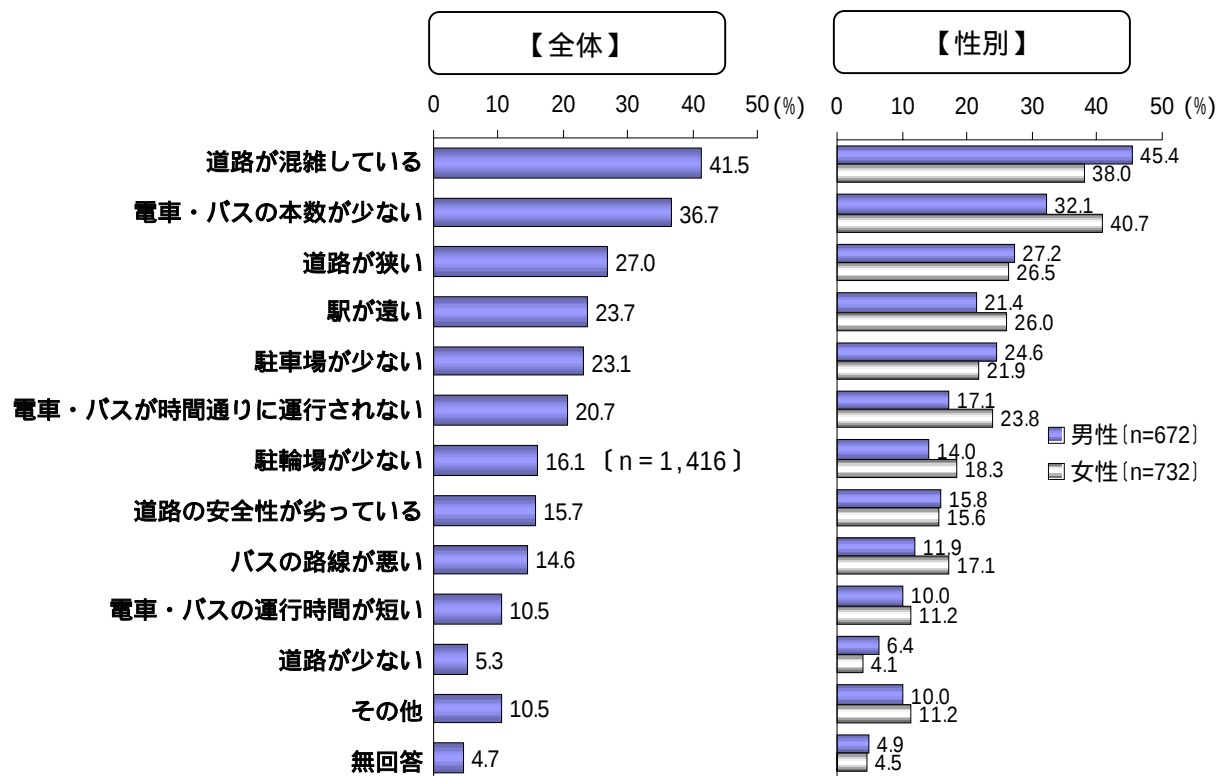
6 - 5 不満を感じる理由

「道路が混雑」が4割強でトップ。続く「電車・バスの本数が少ない」は3割台半ばを超える

(問40で、「1」から「3」のいずれかをお答えの方に)

問40 - 1 不満を感じる内容は何ですか。(○はいくつでも)

<図表6 - 7> 不満を感じる理由(複数回答)



問40で、不満を《感じている》と回答した人に、その理由を聞いた。その結果、「道路が混雑している」(41.5%)が4割を超え最も高く、「電車・バスの本数が少ない」(36.7%)が3割台半ばを超え続く。

このほか、「道路が狭い」(27.0%)、「駅が遠い」(23.7%)、「駐車場が少ない」(23.1%)、「電車・バスが時間通りに運行されない」(20.7%)の4項目が2割台である。

【性別】

「道路が混雑している」は男性の方が女性よりも7ポイント高くなっている。逆に、女性は「電車・バスの本数が少ない」で9ポイント、「電車・バスが時間通りに運行されない」で7ポイント、「駅が遠い」と「バスの路線が悪い」で5ポイント高くなっている。(図表6 - 7)

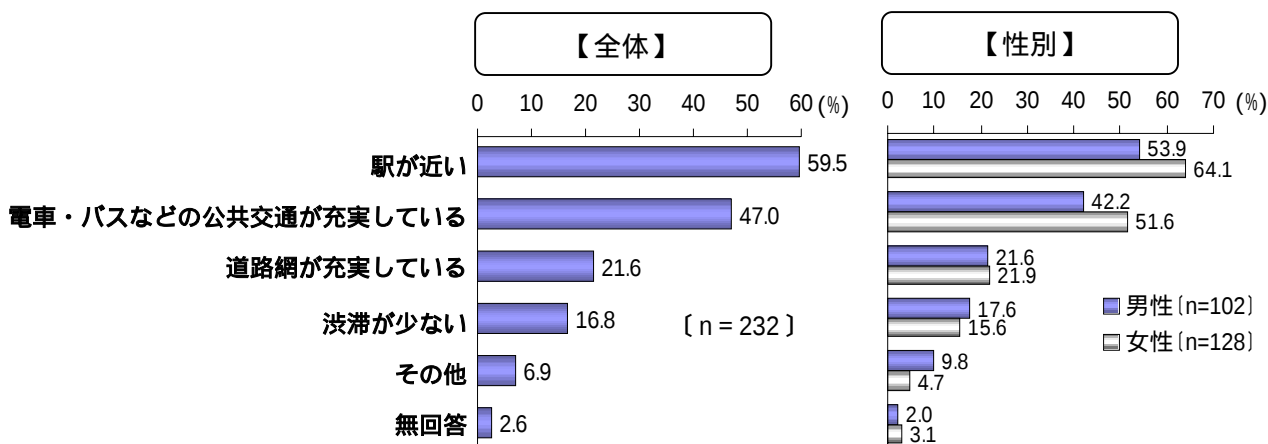
6 - 6 不満を感じない理由

「駅が近い」が6割弱でトップ。続く「公共交通が充実している」が半数に近い

(問40で、「4 不満はない」か「5 満足している」とお答えの方に)

問40 - 3 不満を感じないのはなぜですか。(○はいくつでも)

<図表 6 - 8> 不満を感じない理由(複数回答)



問40で、「不満はない」か「満足している」と回答した人に、その理由を聞いた。その結果、「駅が近い」(59.5%)は6割弱で最も高く、「電車・バスなどの公共交通が充実している」(47.0%)が半数に近く、上位2項目が突出している。以下、「道路網が充実している」(21.6%)、「渋滞が少ない」(16.8%)と続く。

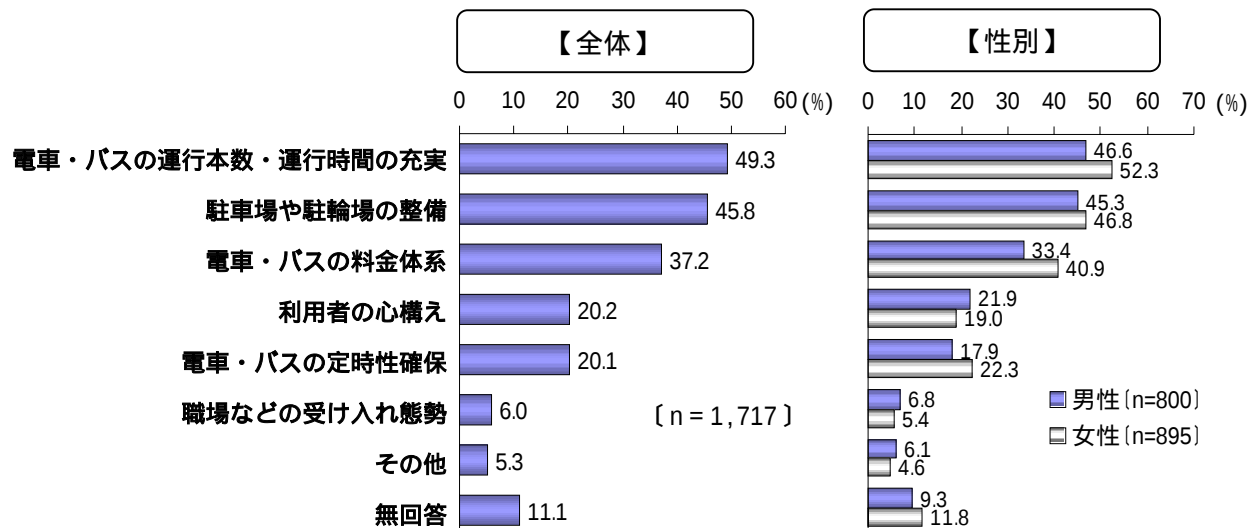
【性別】

「駅が近い」は女性の方が男性よりも10ポイント高く、「電車・バスなどの公共交通が充実している」でも女性は9ポイント上回る。(図表 6 - 8)

「電車・バスの運行本数・運行時間の充実」と「駐車場や駐輪場の整備」が上位2項目

問41 自動車から電車・バスや自転車などへ、交通手段の転換を進める際に、あなたはどのような課題があると思いますか。(○はいくつでも)

< 図表 6 - 9 > 交通手段の転換を進める際の課題(複数回答)



交通手段の転換を進める際の課題としては、「電車・バスの運行本数・運行時間の充実」(49.3%)がほぼ半数で最も高く、「駐車場や駐輪場の整備」(45.8%)が続く。このほか、「電車・バスの料金体系」(37.2%)は約4割で、「利用者の心構え」(20.2%)と「電車・バスの定時性確保」(20.1%)がほぼ同率で2割台である。

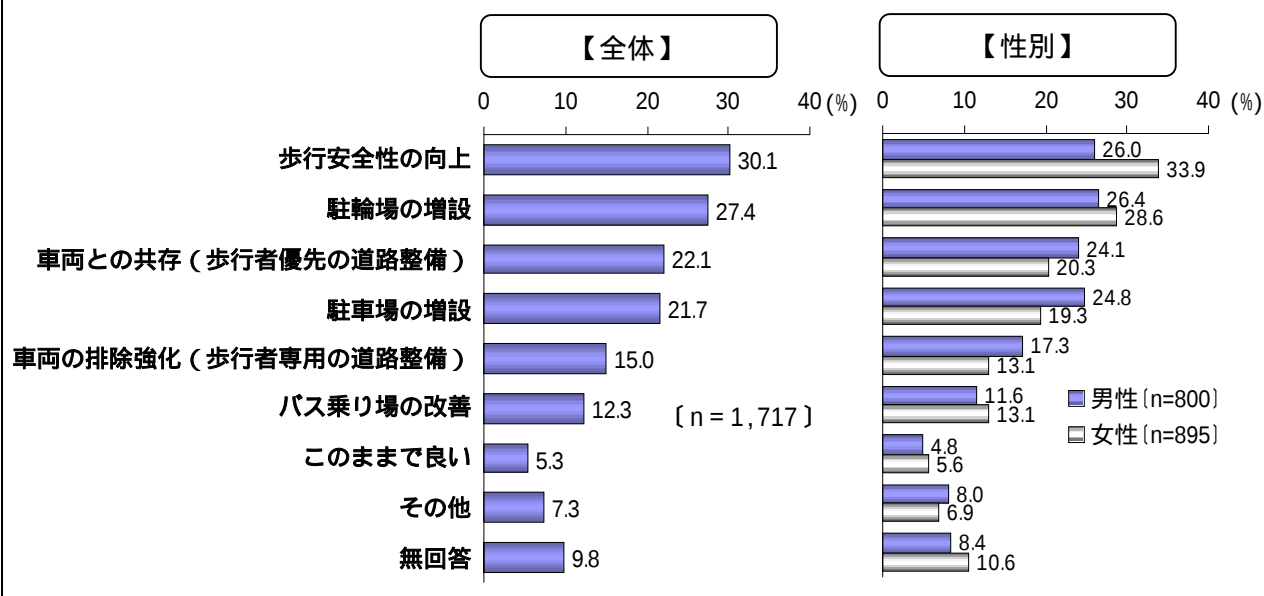
【性別】

女性の方が男性よりも高いものに、「電車・バスの料金体系」の8ポイント、「電車・バスの運行本数・運行時間の充実」の6ポイント差などがある。(図表6-9)

「歩行安全性の向上」が3割を超えトップ。続く「駐輪場の増設」は2割台半ばを超える

問42 J R 八王子駅、西八王子駅、高尾駅、京王八王子駅等の駅周辺の交通環境について、あなたはどのような課題があると思いますか。(○は2つまで)

<図表6 - 10> J R 八王子駅等の駅周辺の交通環境の課題(複数回答)



市内にある駅周辺の交通環境の課題としては、「歩行安全性の向上」(30.1%)が3割を超え最も高く、これに僅差で「駐輪場の増設」(27.4%)が続く。このほか、「車両との共存(歩行者優先の道路整備)」(22.1%)と「駐車場の増設」(21.7%)が2割を超える。

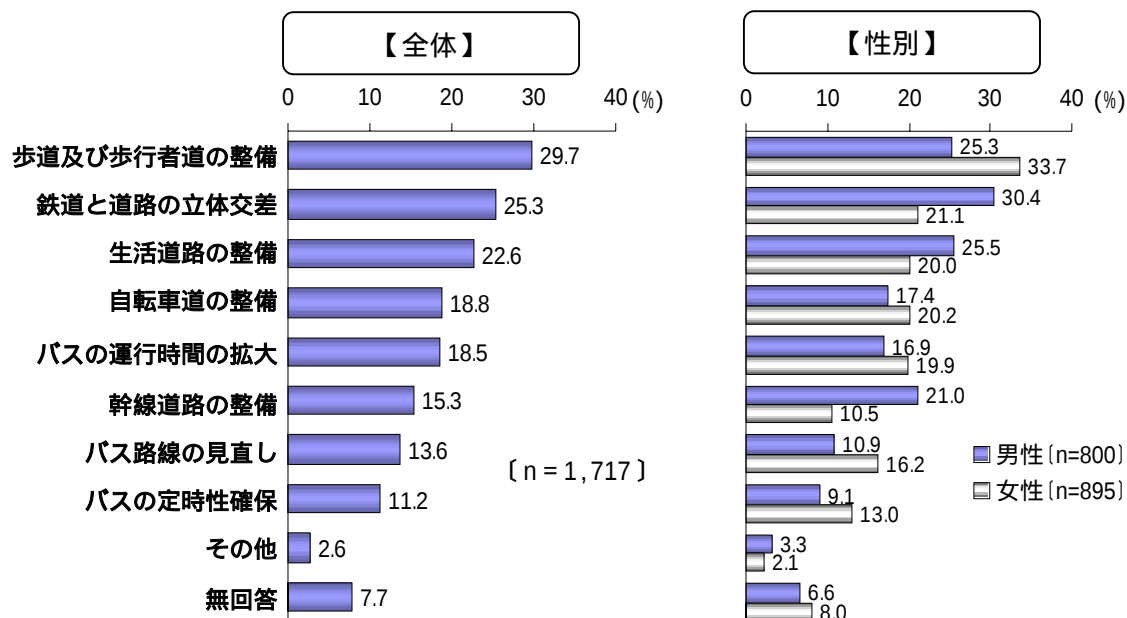
【性別】

「歩行安全性の向上」は女性の方が8ポイント高く、逆に、「駐車場の増設」は男性の方が6ポイント高率である。(図表6 - 10)

「歩道及び歩行者道の整備」が3割弱でトップ

問43 あなたが、今後の交通環境の整備に期待することは何ですか。(○は2つまで)

<図表6 - 11> 今後の交通環境の整備に期待すること(複数回答)



今後の交通環境の整備に期待することとしては、「歩道及び歩行者道の整備」(29.7%)が最も高く3割弱である。次いで、「鉄道と道路の立体交差」(25.3%)が4人に1人、「生活道路の整備」(22.6%)「自転車道の整備」(18.8%)「バスの運行時間の拡大」(18.5%)の3項目が2割前後である。

【性別】

男性の方が女性よりも高いものには、「幹線道路の整備」の11ポイント、「鉄道と道路の立体交差」の9ポイント、「生活道路の整備」の6ポイント差などがある。逆に、女性は「歩道及び歩行者道の整備」と「バス路線の見直し」で高く、前者で8ポイント、後者で5ポイントの差がある。(図表6 - 11)

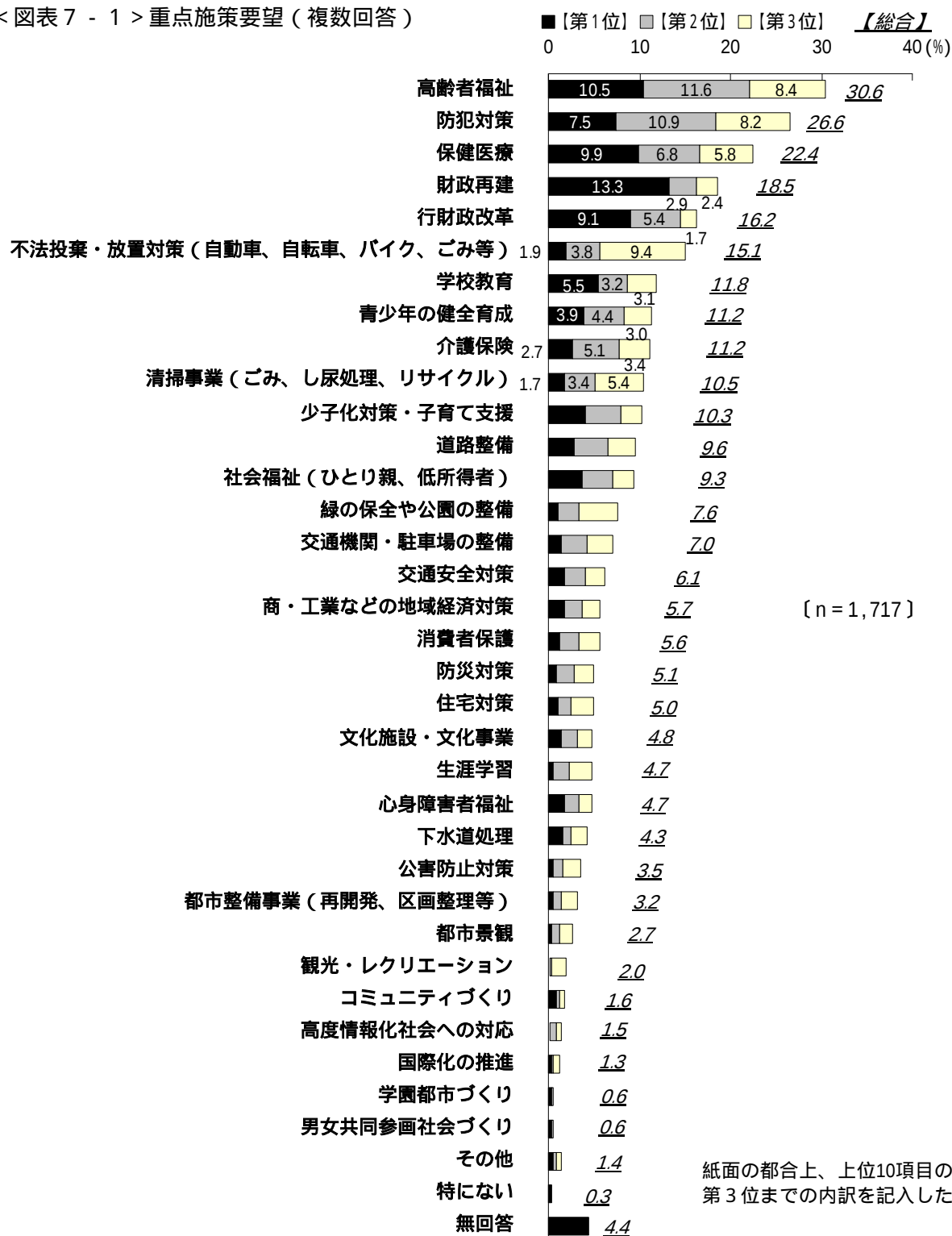
7 市政への要望

7 - 1 重点施策要望

「高齢者福祉」と「防犯対策」、「保健医療」が上位3施策

問45 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～34の中から第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。（それぞれ1つずつ）

<図表7 - 1> 重点施策要望（複数回答）



【第1位】が最も高いのは、「財政再建」(13.3%)で、続く「高齢者福祉」(10.5%)とともに上位2項目が1割を超えている。

【第1位】から【第3位】までを合算して、【総合】とすると、「高齢者福祉」(30.6%)が最も高く3割を超える。次いで、「防犯対策」(26.6%)と「保健医療」(22.4%)の2項目が2割台で、「財政再建」(18.5%)「行財政改革」(16.2%)「不法投棄・放置対策(自動車、自転車、バイク、ごみ等)」(15.1%)の3項目が1割台後半となっている。(図表7-1)

【経年変化】

経年での変化をみると、今回は前回から引き続き「高齢者福祉」が第1位であるが、第2位に新規項目である「防犯対策」が入った。そのため、前回第2位だった「保健医療」、第3位だった「財政再建」などが、それぞれ順位を1つ下げている。(図表7-2)

<図表7-2>重点施策要望の経年変化

(%)

年 順位	平成13年	平成14年	平成15年
第1位	保健医療 32.0	高齢者福祉 34.7	高齢者福祉 30.6
第2位	高齢者福祉 30.1	保健医療 33.7	防犯対策 26.6
第3位	清掃事業 18.4	財政再建 20.2	保健医療 22.4
第4位	不法投棄・放置対策 17.7	介護保険 14.6	財政再建 18.5
第5位	学校教育 16.9	学校教育 14.4	行財政改革 16.2
第6位	青少年の健全育成 16.6	行財政改革 13.4	不法投棄・放置対策 15.1
第7位	防災対策 13.2	社会福祉 12.9	学校教育 11.8
第8位	介護保険 13.1	不法投棄・放置対策 12.8	青少年の健全育成 / 介護保険 11.2
第9位	緑の保全や公園の整備 12.8	青少年の健全育成 11.7	
第10位	道路整備 12.5	道路整備 11.5	清掃事業 10.5

「防犯対策」は平成15年の新規項目。

【性別】

男女ともに第1位は「高齢者福祉」、第2位は「防犯対策」で変わらない。しかしながら、第3位と第4位は、性別によって「財政再建」と「保健医療」の順序が入れ替わっている。なお、比率でみると、「財政再建」は男性の方が女性よりも7ポイント高くなっている。(図表7-3)

<図表7-3> 性別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男 性	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.1	財政再建 22.5	保健医療 20.6	行財政改革 19.1
女 性	高齢者福祉 32.0	防犯対策 26.0	保健医療 24.1	財政再建 15.1	介護保険 14.5

【性／年齢別】

男性では、40歳代まで「防犯対策」が第1位で、50歳以上は「高齢者福祉」が第1位となっている。なお、「防犯対策」は60～64歳代で、「高齢者福祉」は20～30歳代で上位5位以内には入っておらず、年齢層による差異がみられる。一方、女性では、30歳代まで「防犯対策」が第1位で、40歳以上は「高齢者福祉」が第1位である。このほか目立つこととしては、20歳代は第2位、30歳代では第3位に「少子化対策・子育て支援」が入り、全体で第10位以内でない項目があることにより、年齢層の特徴がみられる。(図表7-4)

<図表7-4> 性／年齢別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性20歳代	防犯対策 27.0	財政再建 20.7	保健医療 19.8	交通機関・駐車場の整備 18.9	不法投棄・放置対策 16.2
30歳代	防犯対策 29.0	財政再建 22.6	保健医療 19.4	学校教育／不法投棄・放置対策 18.5	
40歳代	防犯対策 34.0	高齢者福祉 23.6	財政再建 19.8	行財政改革／学校教育 18.9	
50歳代	高齢者福祉 26.7	防犯対策 25.6	財政再建 24.4	行財政改革 23.3	保健医療／道路整備 17.2
60～64歳	高齢者福祉 42.0	財政再建／行財政改革 27.2		不法投棄・放置対策 23.5	保健医療 22.2
65歳以上	高齢者福祉 44.2	保健医療／防犯対策 27.9		行財政改革 21.8	財政再建 20.8
女性20歳代	防犯対策 30.7	少子化対策・子育て支援 23.7	保健医療 21.9	社会福祉 15.8	財政再建／高齢者福祉 14.9
30歳代	防犯対策 41.4	学校教育 30.6	少子化対策・子育て支援 29.3	保健医療 25.5	財政再建 17.2
40歳代	高齢者福祉 31.8	保健医療 25.6	学校教育 22.5	防犯対策 21.7	財政再建 19.4
50歳代	高齢者福祉 37.9	防犯対策 25.3	保健医療 23.2	行財政改革 20.5	不法投棄・放置対策 17.4
60～64歳	高齢者福祉 43.5	防犯対策 21.2	保健医療 20.0	介護保険 18.8	不法投棄・放置対策 14.1
65歳以上	高齢者福祉 43.8	保健医療／介護保険 25.6		防犯対策 17.4	行財政改革 16.9

【居住地域別】

加住・石川（北部地域）を除いて「高齢者福祉」が第１位である。第２位は、「防犯対策」か「保健医療」で、他の地域で第１位である「高齢者福祉」が、加住・石川（北部地域）では第３位となっている。このほか、「不法投棄・放置対策」が本庁管内（中央地域）で第５位に入り、「道路整備」が元八王子・恩方・川口（西部地域）で第５位に入るなど、地域による特徴がみられる。（図表７－５）

< 図表 7 - 5 > 居住地域別

（％）

	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
本庁管内 （中央地域）	高齢者福祉 33.2	防犯対策 28.4	保健医療 18.9	財政再建／不法投棄・放置対策 17.1	
元八王子・恩方・川口 （西部地域）	高齢者福祉 31.8	保健医療 25.7	財政再建／防犯対策 20.3		道路整備 19.6
浅川・横山・館 （西南部地域）	高齢者福祉 29.0	防犯対策 27.2	保健医療 22.2	行財政改革 17.9	財政再建 17.6
加住・石川 （北部地域）	防犯対策 29.4	保健医療 25.2	高齢者福祉 21.0	行財政改革 20.2	財政再建 16.8
由井・北野 （東南部地域）	高齢者福祉 32.4	防犯対策 28.3	保健医療 22.1	財政再建 18.9	行財政改革 18.0
由木・由木東・南大沢 （東部地域）	高齢者福祉 30.8	防犯対策 28.3	保健医療 23.2	財政再建 21.4	行財政改革 16.3

第 2 章

8 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度

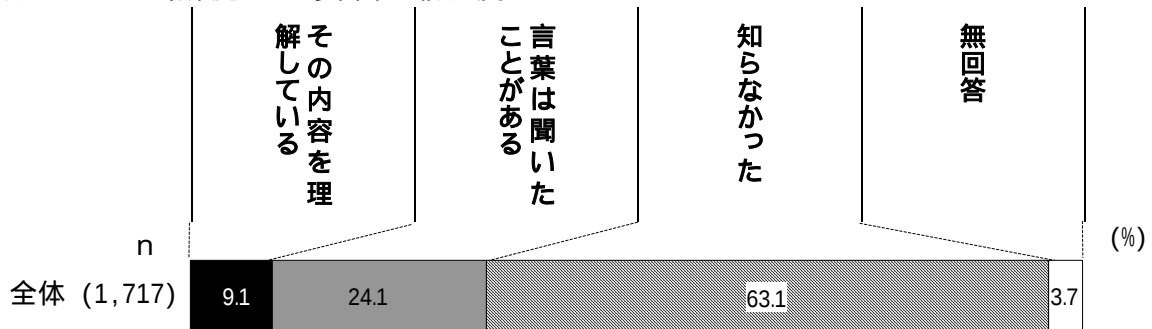
8 - 1 「協働」という言葉の認知度

施策No - 01 市民自治の推進：市民協働をすすめているまちであると感じる市民の割合

《認知度》は3人に1人。一方、「知らなかった」が6割台半ばに近く多数

問46 八王子ゆめおりプランは、市民と行政の協働が基盤となっています。あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

<図表 8 - 1> 「協働」という言葉の認知度

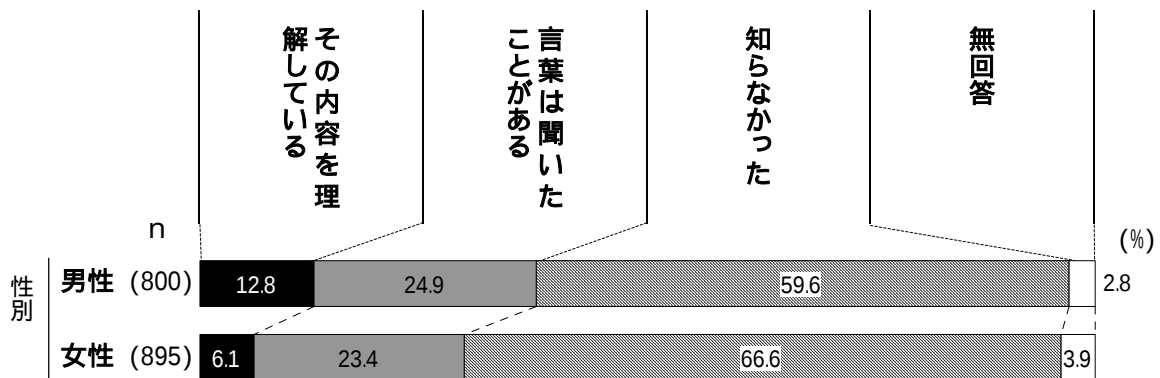


「協働」という言葉の認知度としては、「その内容を理解している」(9.1%)は1割を切り、「言葉は聞いたことがある」(24.1%)がほぼ4人に1人である。これらを合算すると、《認知度》(33.2%)は3人に1人となる。逆に、「知らなかった」(63.1%)は6割台半ばに近く多い。(図表 8 - 1)

【性別】

「その内容を理解している」は男性の方が女性よりも7ポイント高く、男性は「言葉は聞いたことがある」でもわずかに高いため、《認知度》は8ポイント男性が上回る。逆に、「知らなかった」は女性の方が7ポイント高率である。(図表 8 - 2)

<図表 8 - 2> 性別



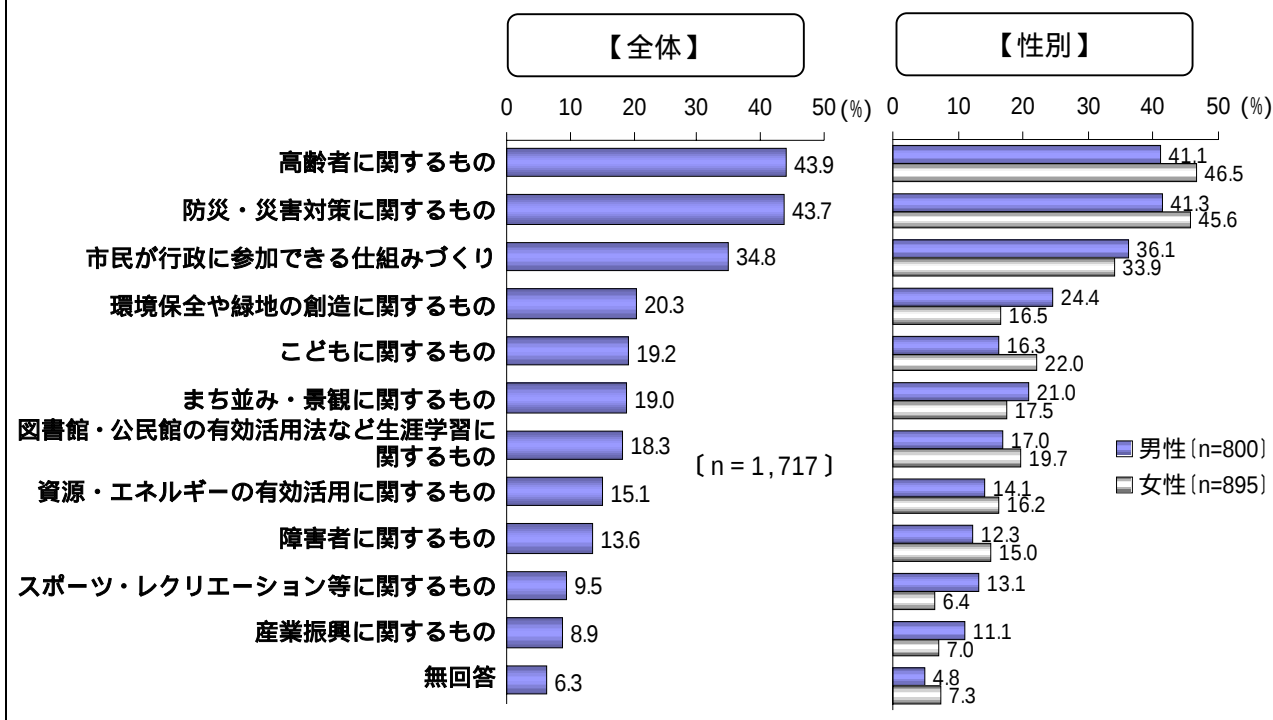
8 - 2 「協働」が必要だと感じる分野

「高齢者に関するもの」と「防災・災害対策に関するもの」が4割台半ばに近く上位2項目

問47 「協働」とは、「ともに手を携えてものごとをすすめていく」という意味で、「参加」にくらべて対等かつ主体性をもった語感で使われることが多い言葉です。

あなたが、今後、特に市が市民とともに協働していくことが必要だと感じる分野はどれですか。
(○は3つまで)

<図表8 - 3> 「協働」が必要だと感じる分野（複数回答）



「協働」が必要だと感じる分野としては、「高齢者に関するもの」(43.9%)と「防災・災害対策に関するもの」(43.7%)が4割台半ばに近くほぼ並ぶ。続く、「市民が行政に参加できる仕組みづくり」(34.8%)は3割台半ばで、「環境保全や緑地の創造に関するもの」(20.3%)と「こどもに関するもの」(19.2%)、「まち並み・景観に関するもの」(19.0%)、「図書館・公民館の有効活用法など生涯学習に関するもの」(18.3%)の4項目が2割前後である。

【性別】

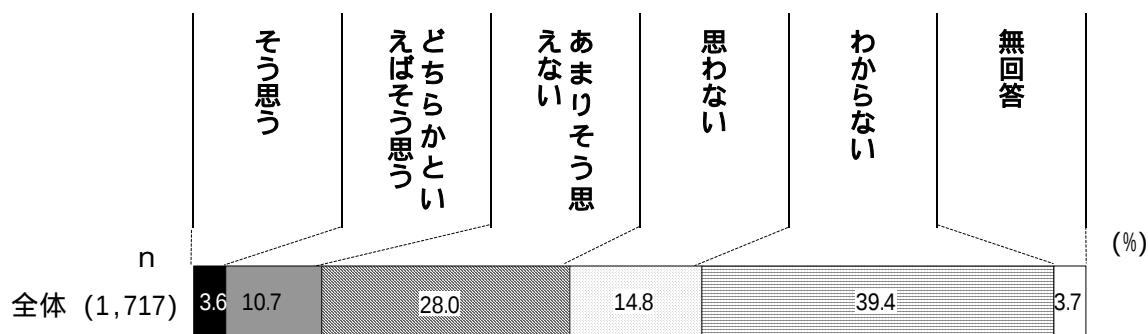
女性の方が男性よりも高い項目が多く、中でも、「こどもに関するもの」は6ポイント、「高齢者に関するもの」は5ポイントの差がみられる。逆に、男性が上回るのは、「環境保全や緑地の創造に関するもの」で8ポイント、「スポーツ・レクリエーション等に関するもの」で7ポイント差などとなっている。(図表8 - 3)

8 - 3 市の「協働」推進状況

《そう思う》は少数で、4割を超える《そう思わない》が上回る

問48 あなたは、八王子市が市民協働を進めているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 4> 市の「協働」推進状況



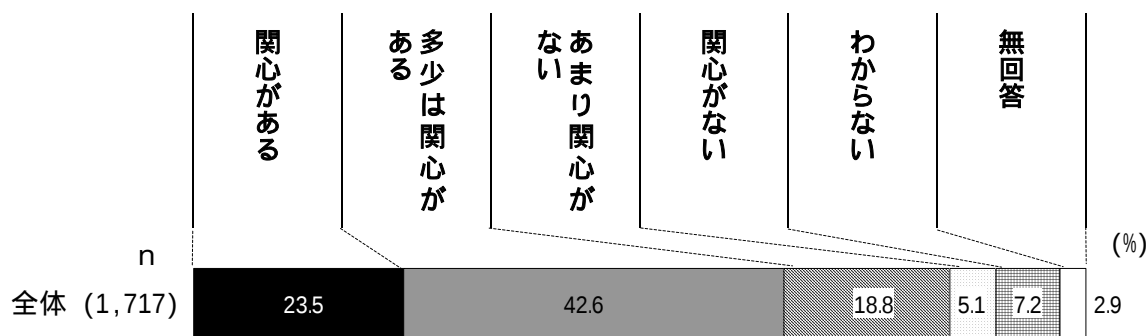
本市が市民協働を進めているまちであるかと聞いたところ、「そう思う」(3.6%)と「どちらかといえばそう思う」(10.7%)を合算した、《そう思う》(14.3%)は少数派である。逆に、「あまりそう思えない」(28.0%)と「思わない」(14.8%)を合算した、《そう思わない》(42.8%)は4割を超える。なお、「わからない」(39.4%)との回答が4割弱ある。(図表8 - 4)

施策No - 04 説明責任の着実な実行：市政情報が容易に入手できると感じる市民の割合

《関心がある》が3人に2人で、《関心がない》を上回る

問49 あなたは、市政情報に対して関心がありますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 5> 市政情報への関心度

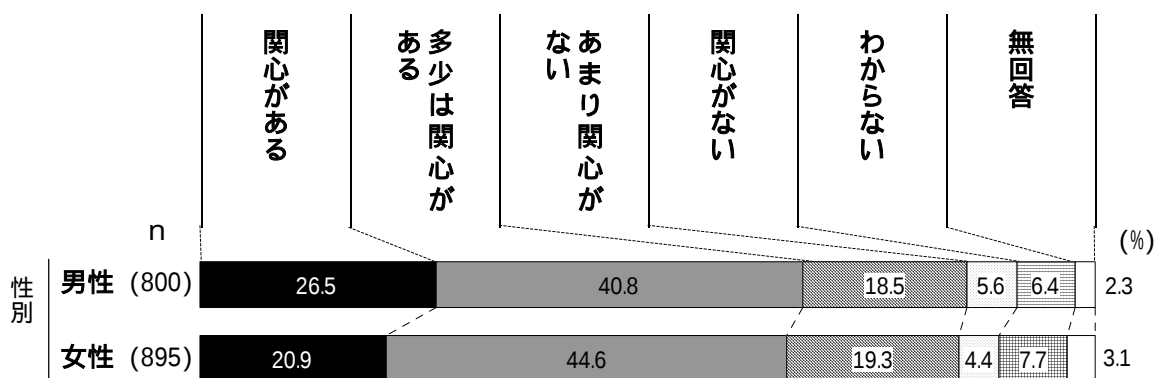


市政情報に「関心がある」(23.5%)はほぼ4人に1人で、「多少は関心がある」(42.6%)が4割を超え高くなっている。これらを合算すると、《関心がある》(66.1%)は3人に2人と多い。逆に、「あまり関心がない」(18.8%)と「関心がない」(5.1%)を合算した、《関心がない》(23.9%)はほぼ4人に1人である。(図表8 - 5)

【性別】

最も差が開いているのは、「関心がある」で男性の方が女性よりも6ポイント高くなっている。(図表8 - 6)

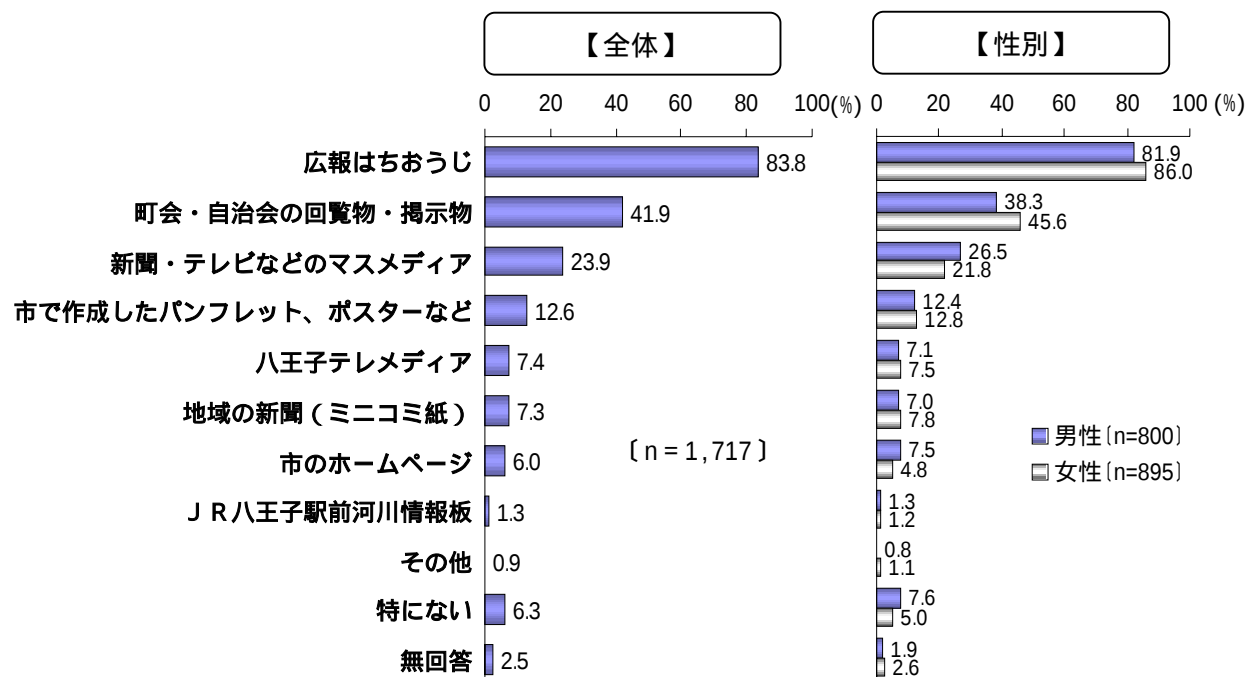
<図表8 - 6> 性別



「広報はちおうじ」が8割台半ばに近く突出

問50 あなたは、市政の情報を主にどこから得ていますか。(○は3つまで)

<図表8 - 7> 市政情報の入手媒体(複数回答)



市政情報の入手媒体としては、「広報はちおうじ」(83.8%)が8割台半ばに近く突出している。続く、「町会・自治会の回覧物・掲示物」(41.9%)は4割強、「新聞・テレビなどのマスメディア」(23.9%)はほぼ4人に1人である。

【性別】

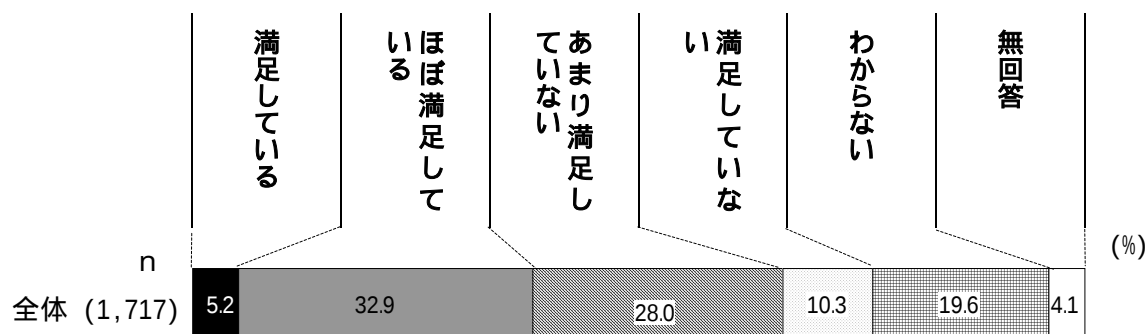
「町会・自治会の回覧物・掲示物」は女性の方が男性よりも7ポイント高い。逆に、男性は「新聞・テレビなどのマスメディア」で5ポイント高くなっている。(図表8 - 7)

8 - 6 現在の情報入手方法の満足度

《満足している》は約4割いるものの、《満足していない》もほぼ同率で並ぶ

問51 あなたは、現在の情報入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 8> 現在の情報入手方法の満足度

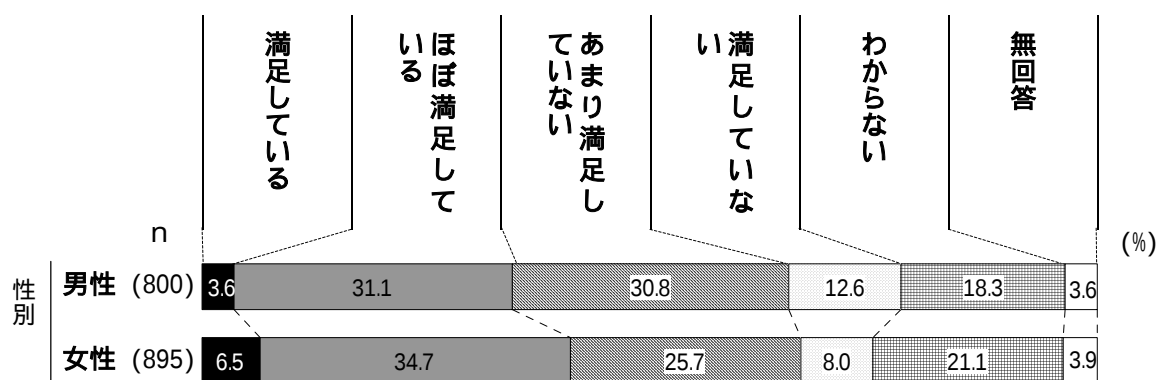


現在の情報入手方法に「満足している」(5.2%)は少数ながら、「ほぼ満足している」(32.9%)はほぼ3人に1人で、これらを合算した《満足している》(38.1%)は約4割である。逆に、「あまり満足していない」(28.0%)と「満足していない」(10.3%)を合算した、《満足していない》(38.3%)もほぼ同率で、満足層と不満層が拮抗している。また、「わからない」(19.6%)との回答が2割弱あり、比較的多い。(図表8 - 8)

【性別】

「満足している」と「ほぼ満足している」は女性の方が男性よりも若干高くなっている。一方、「あまり満足していない」と「満足していない」は、男性が5ポイント高く、そのため、《満足していない》では、10ポイントの差がついている。(図表8 - 9)

<図表8 - 9> 性別

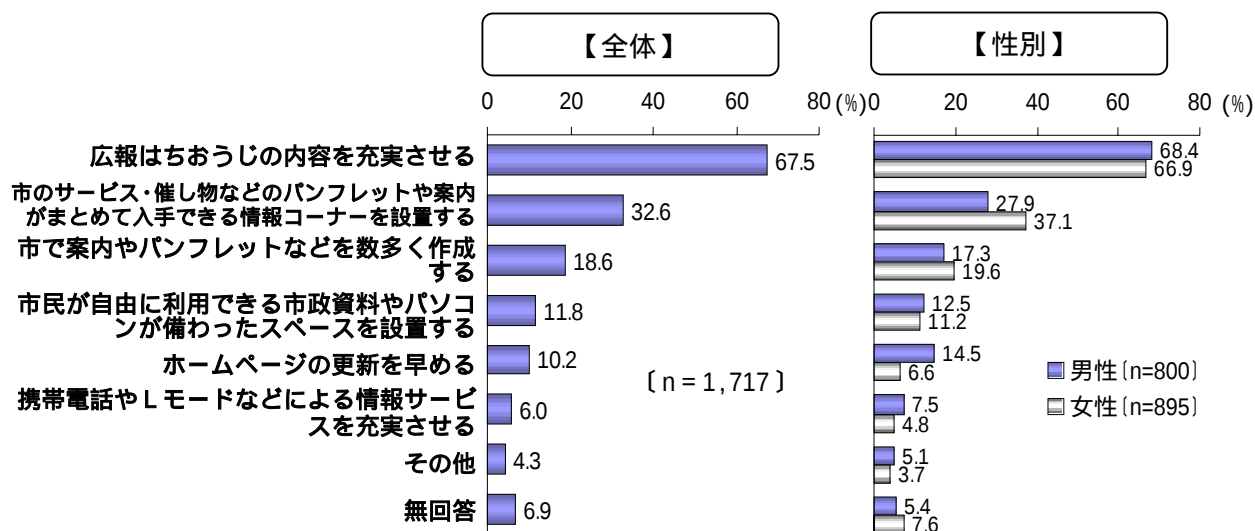


8 - 7 市政情報の入手にあたり効果的な改善点

「広報はちおうじの内容を充実させる」が6割台半ばを超え突出

問52 あなたは、市政の情報の入手にあたり、どのような点を改善するのが効果的だと思いますか。
(○は2つまで)

<図表8 - 10> 市政情報の入手にあたり効果的な改善点(複数回答)



市政情報の入手にあたり効果的な改善点としては、「広報はちおうじの内容を充実させる」(67.5%)が6割台半ばを超え突出する。続く、「市のサービス・催し物などのパンフレットや案内がまとめて入手できる情報コーナーを設置する」(32.6%)はほぼ3人に1人で、「市で案内やパンフレットなどを数多く作成する」(18.6%)が約2割となっている。

【性別】

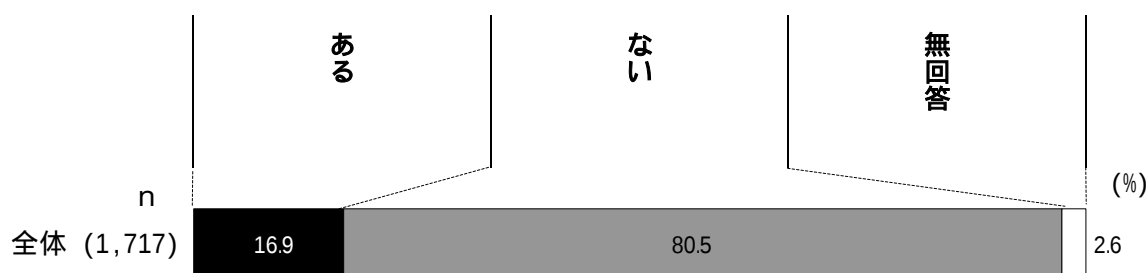
「市のサービス・催し物などのパンフレットや案内がまとめて入手できる情報コーナーを設置する」は女性の方が男性よりも9ポイント高く、逆に、「ホームページの更新を早める」は男性の方が8ポイント高い。(図表8 - 10)

施策No - 11 地域での支え合い:地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがある市民の割合

「ある」は1割台半ばを超えるにとどまり、「ない」が8割を超え多数

問53 あなたは、この1年間にボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 11> 1年間でのボランティア活動への参加の有無

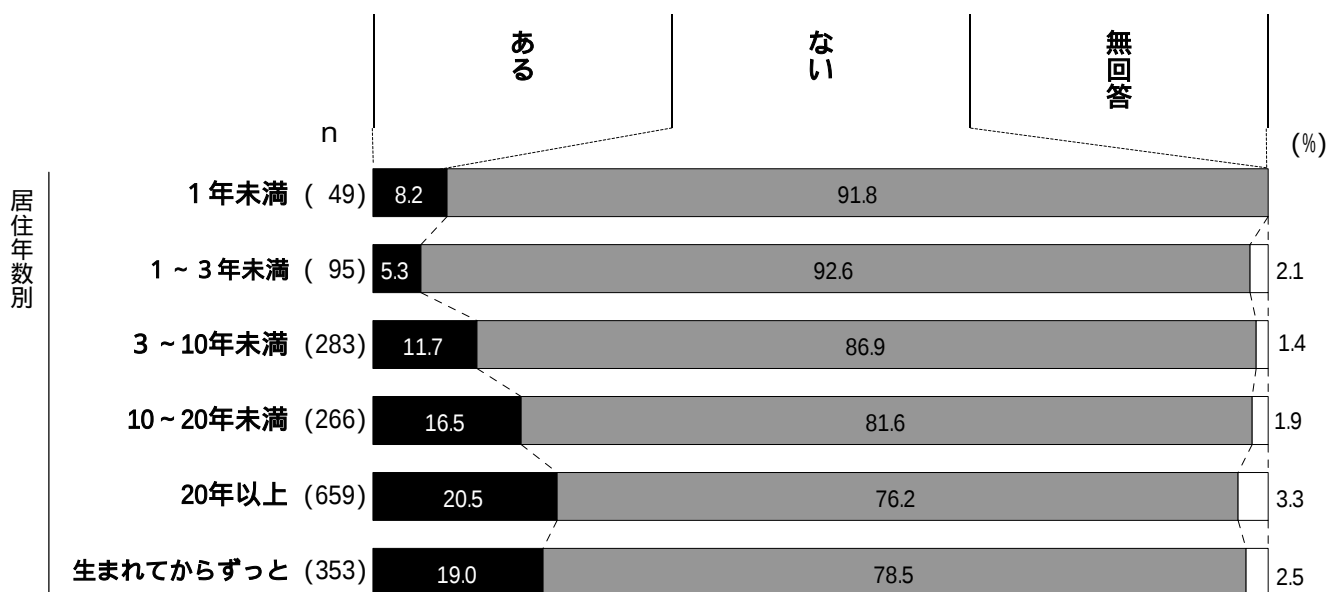


この1年間にボランティア活動に参加したことが「ある」(16.9%)は1割台半ばを超えるにとどまり、「ない」(80.5%)が8割を超え大きく上回る。(図表8 - 11)

【居住年数別】

「ある」は居住年数が長くなるほど漸増する傾向にあり、20年以上と生まれてからずっとで2割前後に達する。(図表8 - 12)

<図表8 - 12> 居住年数別

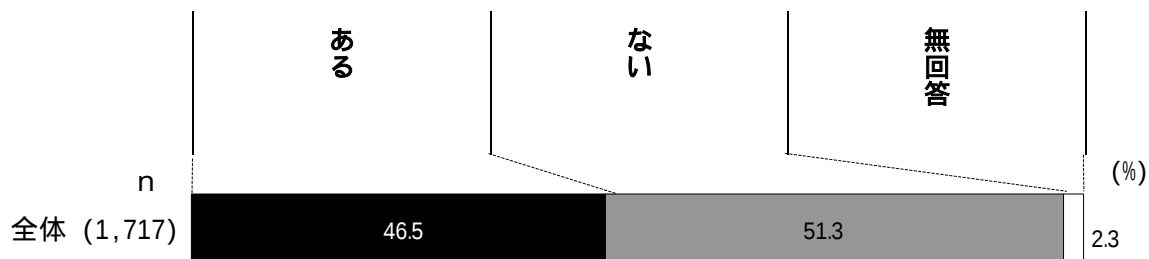


8 - 9 1年間での盆踊りや清掃等地域行事への参加の有無

「ある」は4割台半ばを超えるが、「ない」の方が多い

問54 あなたは、この1年間に盆踊りや清掃など地域の行事に参加したことがありますか。
(○は1つだけ)

<図表8 - 13> 1年間での盆踊りや清掃等地域行事への参加の有無

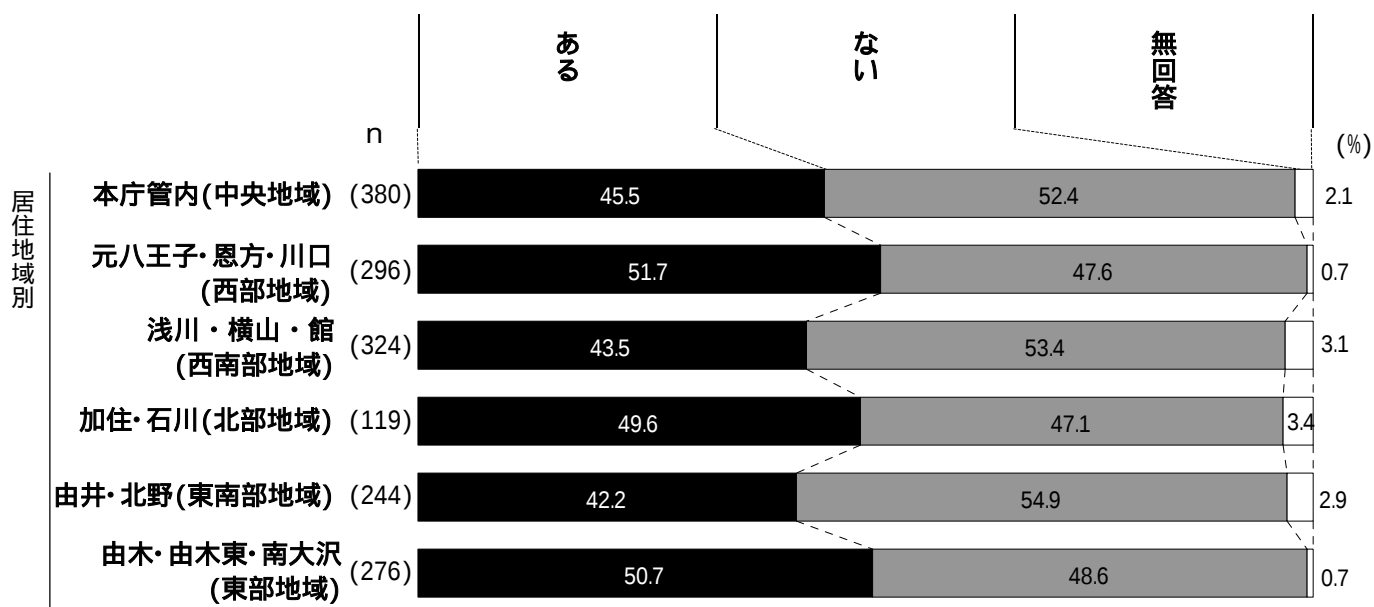


この1年間で盆踊りや清掃などの地域の行事に参加したことが「ある」(46.5%)は4割台半ばを超えるが、「ない」(51.3%)が半数を超えわずかに上回る。(図表8 - 13)

【居住地域別】

「ある」は、元八王子・恩方・川口(西部地域)と由木・由木東・南大沢(東部地域)が半数を超え高く、これに加住・石川(北部地域)が続く。これ以外の地域では、「ない」が半数を超えている。(図表8 - 14)

<図表8 - 14> 居住地域別

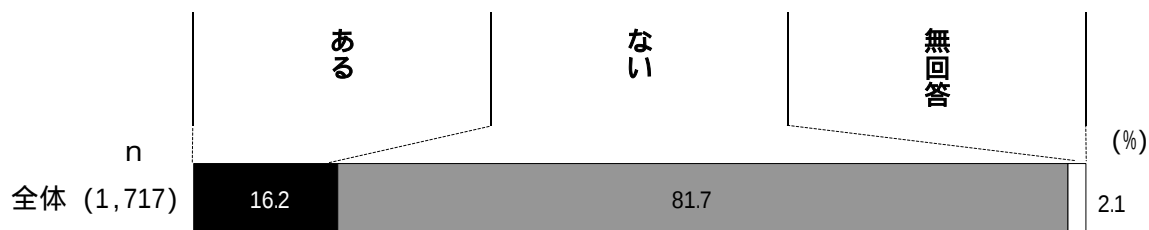


施策No - 12 暮らしの相談・支援：相談の機会が充実していると感じる市民の割合

「ある」は1割台半ばを超えるにとどまり、「ない」が8割を超え多数

問55 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 15> 市の相談窓口の利用の有無

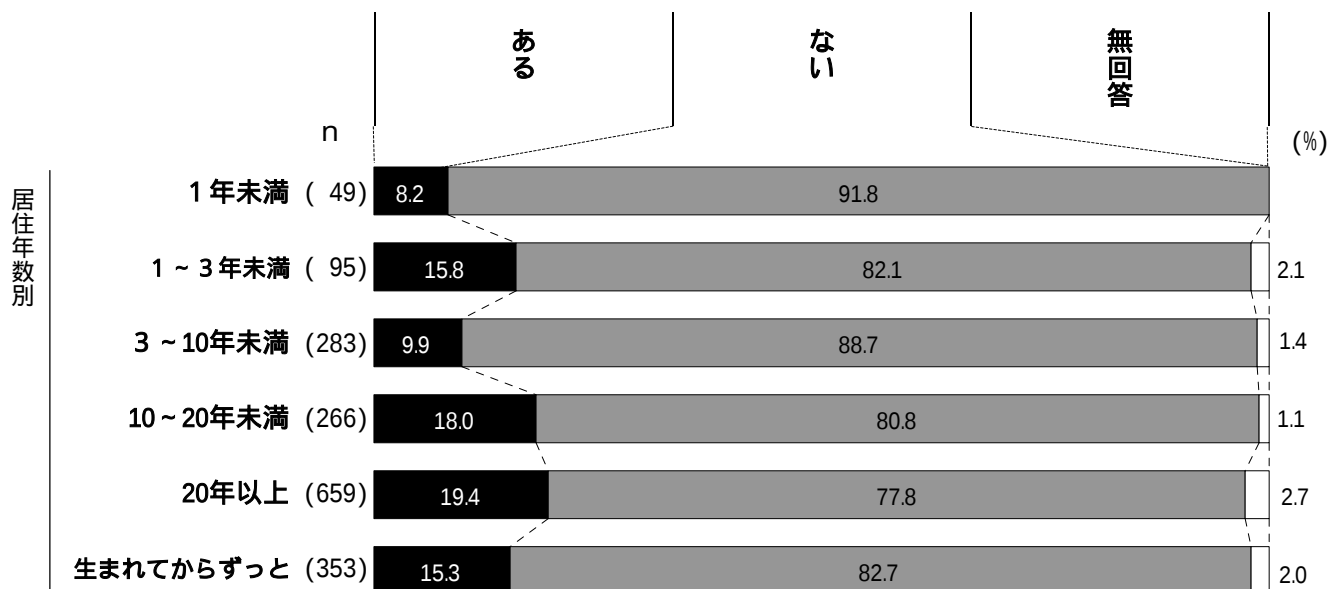


市の相談窓口を利用したことが「ある」(16.2%)は1割台半ばを超えるにとどまり、「ない」(81.7%)が8割を超え大きく上回る。(図表8 - 15)

【居住年数別】

「ある」は1年未満と3～10年未満が1割を切り低く、10～20年未満と20年以上が約2割で高くなっている。(図表8 - 16)

<図表8 - 16> 居住年数別



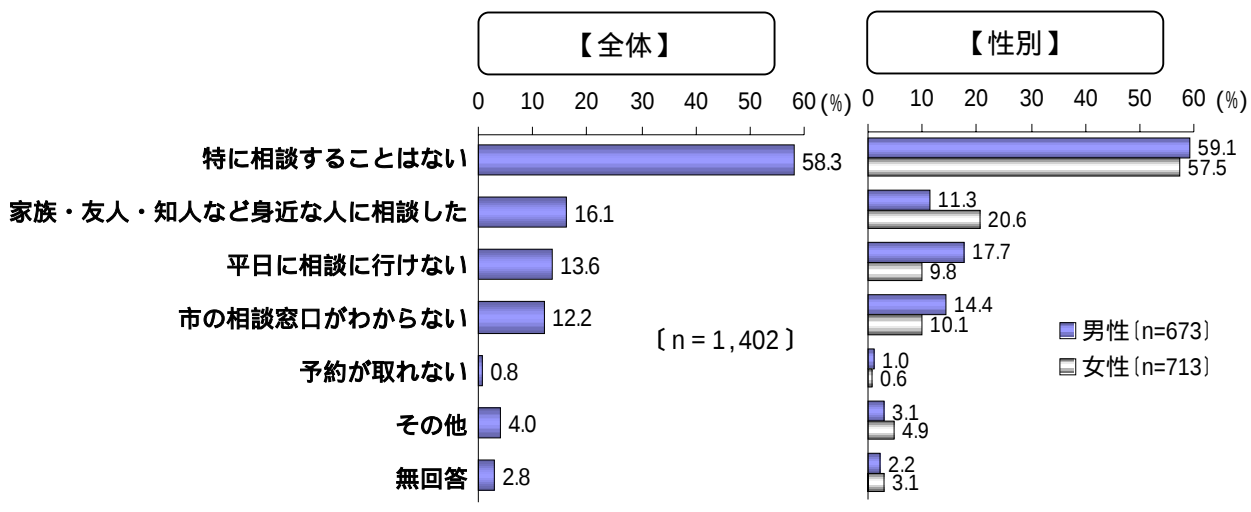
8 - 11 市の相談窓口を利用しない理由

「特に相談することはない」が約 6 割で突出

（問55で、「2 ない」とお答えの方に）

問55 - 1 市の相談窓口を利用しないのはなぜですか。（○は2つまで）

<図表 8 - 17> 市の相談窓口を利用しない理由（複数回答）



問55で、「ない」と回答した人にその理由を聞いた。その結果、「特に相談することはない」(58.3%) が約 6 割で突出する。以下、「家族・友人・知人など身近な人に相談した」(16.1%)、「平日に相談に行けない」(13.6%)、「市の相談窓口がわからない」(12.2%) と続く。

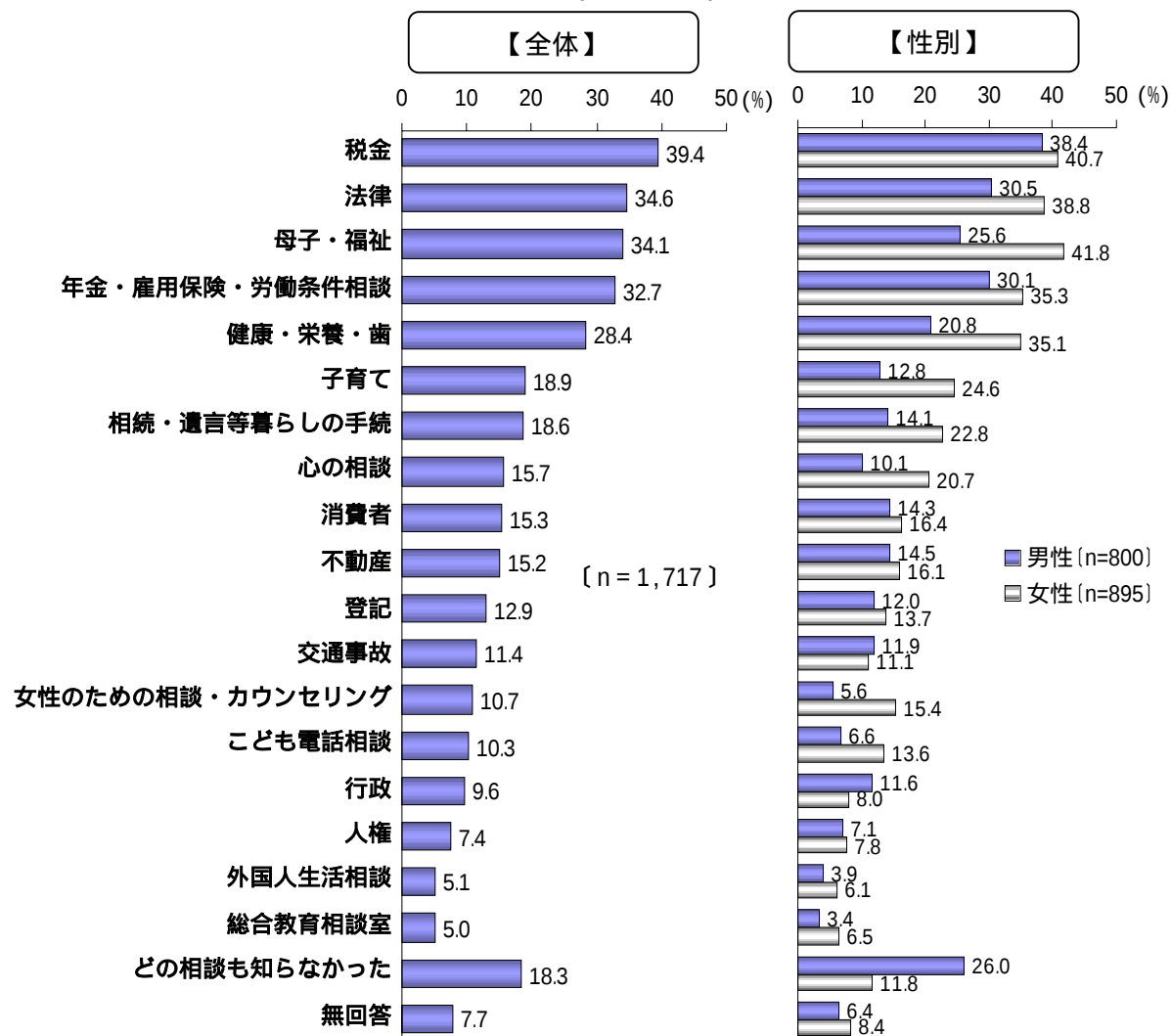
【性別】

「家族・友人・知人など身近な人に相談した」は女性の方が男性よりも 9 ポイント高く、逆に、「平日に相談に行けない」は男性が 8 ポイント上回る。（図表 8 - 17）

「税金」が4割弱でトップ。続くのは、「法律」と「母子・福祉」など

問56 市では、様々な相談を行っています、あなたが知っている相談はどれですか。
(○はいくつでも)

<図表 8 - 18> 市が行っている相談の認知状況 (複数回答)



市が行っている相談の認知状況としては、「税金」(39.4%)が4割弱で最も高くなっている。次いで、「法律」(34.6%)、「母子・福祉」(34.1%)、「年金・雇用保険・労働条件相談」(32.7%)の3項目が3割前半で並び、「健康・栄養・歯」(28.4%)が約3割となっている。このほか、「子育て」(18.9%)と「相続・遺言等暮らしの手続」(18.6%)が約2割である。なお、「どの相談も知らなかった」(18.3%)も約2割ある。

【性別】

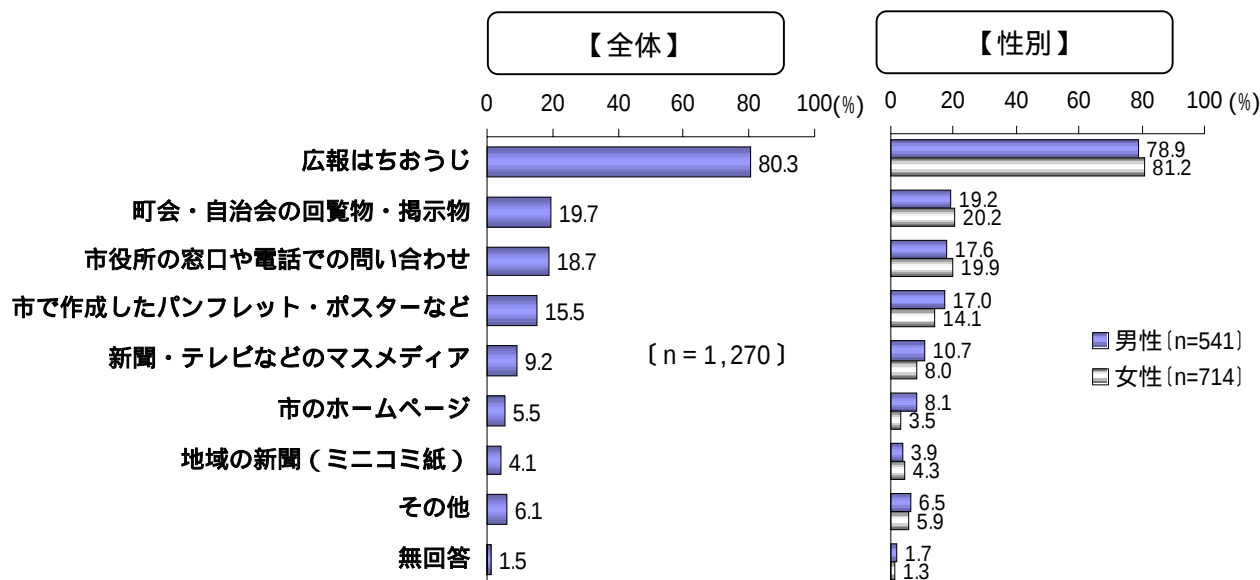
女性の方が男性を大きく上回るものが多く、10ポイント以上差が開いているものを順に列挙すると、「母子・福祉」の16ポイント、「健康・栄養・歯」の14ポイント、「子育て」の12ポイント、「心の相談」の11ポイント、「女性のための相談・カウンセリング」の10ポイントなどがある。逆に、男性は「どの相談も知らなかった」で14ポイント高くなっている。(図表 8 - 18)

「広報はちおうじ」が8割を超え突出

（問56で、「1」から「18」のいずれかをお答えの方に）

問56 - 1 あなたは、市で行っている相談をどのようにして知りましたか。（○はいくつでも）

<図表8 - 19> 市が行っている相談の認知媒体（複数回答）



問56で、市が行っている何らかの相談を知っていると回答した人に、その相談の認知媒体を聞いた。その結果、「広報はちおうじ」(80.3%)が8割を超え突出している。これに続く、「町会・自治会の回覧物・掲示物」(19.7%)と「市役所の窓口や電話での問い合わせ」(18.7%)は2割弱となっている。

【性別】

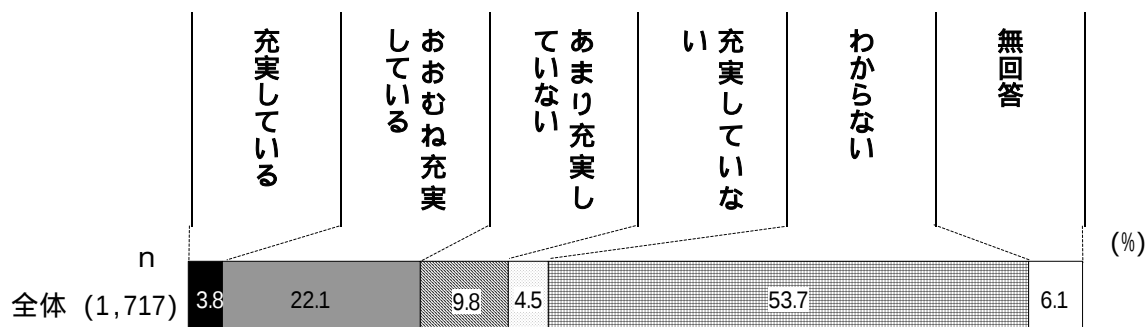
最も開きがみられるのは、「市のホームページ」で男性の方が女性よりも5ポイント高くなっている。（図表8 - 19）

8 - 14 市の相談窓口の充実度

《充実している》が2割台半ばを超える。一方の《充実していない》は1割台半ば近く

問57 あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(○は1つだけ)

<図表 8 - 20> 市の相談窓口の充実度



市の相談窓口が「充実している」(3.8%)は少数にとどまるものの、「おおむね充実している」(22.1%)は2割を超え、これら両者を合算すると、《充実している》(25.9%)で2割台半ばを超える。一方、「あまり充実していない」(9.8%)と「充実していない」(4.5%)を合算した、《充実していない》(14.3%)は1割台半ばに近い。なお、「わからない」(53.7%)が過半数となっている。(図表 8 - 20)

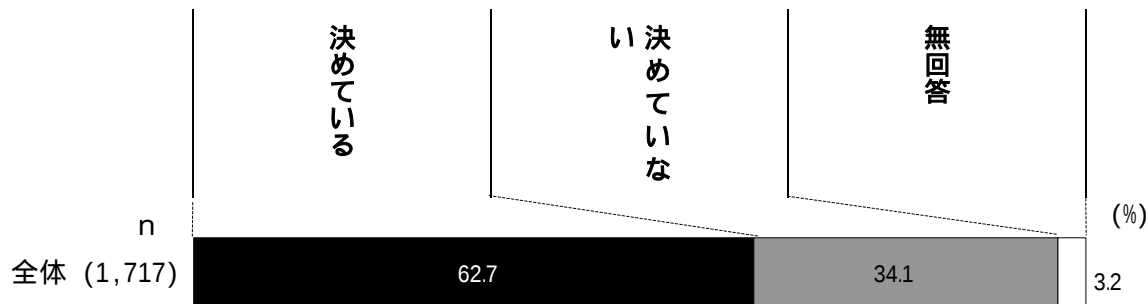
8 - 15 かかりつけの医療機関の有無

施策No - 18 医療体制づくり：かかりつけ医を決めている市民の割合

「決めている」が6割を超え多い

問58 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

<図表 8 - 21> かかりつけの医療機関の有無



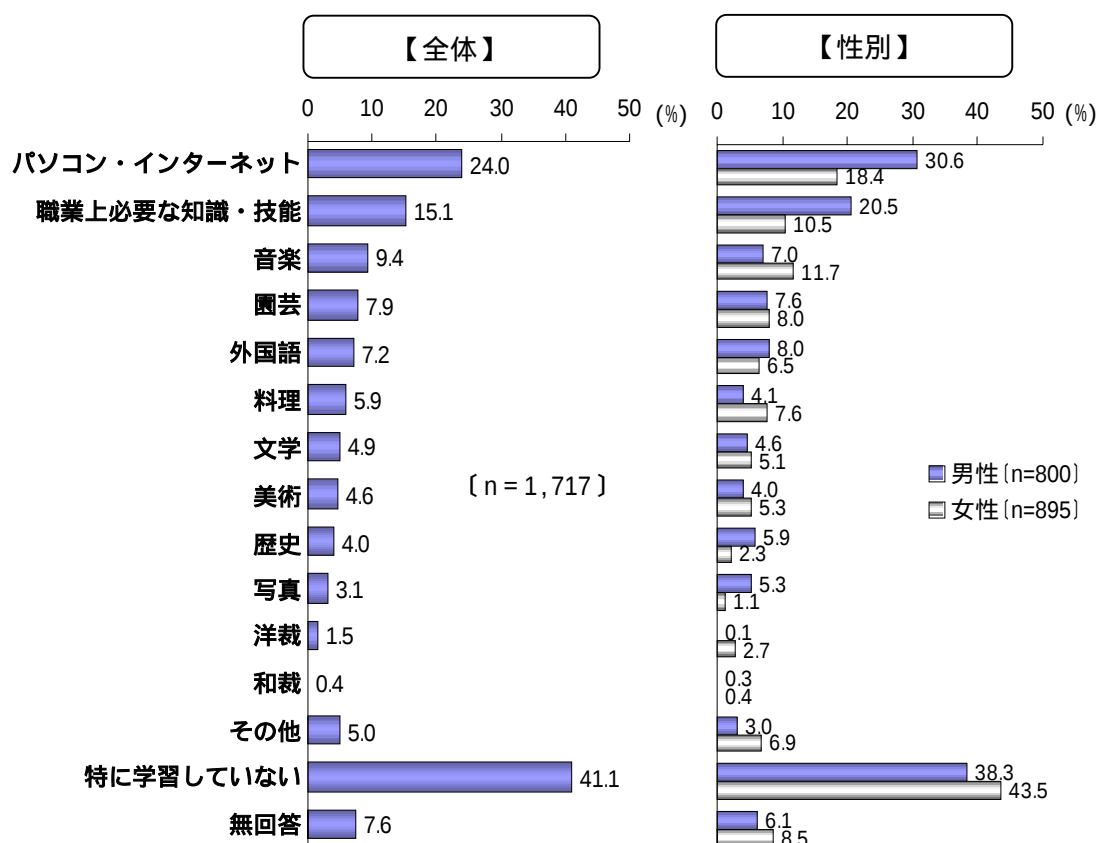
かかりつけの医療機関を「決めている」(62.7%)は6割を超え、「決めていない」(34.1%)を上回る。(図表 8 - 21)

施策No - 22 生涯学習の推進：生涯学習活動をしている市民の割合

「パソコン・インターネット」がほぼ4人に1人で最も高いが、多くは「特に学習していない」

問59 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

<図表8 - 22> 1年間に取り組んだ学習活動(複数回答)



この1年間に取り組んだ学習活動としては、「パソコン・インターネット」(24.0%)がほぼ4人に1人で最も高くなっている。続く、「職業上必要な知識・技能」(15.1%)は1割台半ば、「音楽」(9.4%)は1割弱である。だが、「特に学習していない」(41.1%)が4割を超え高率である。

【性別】

男性の方が女性よりも高いものに、「パソコン・インターネット」の12ポイント、「職業上必要な知識・技能」の10ポイント差などがある。逆に、女性は「音楽」で5ポイント高率である。また、「特に学習していない」でも女性は5ポイント高くなっている。(図表8 - 22)

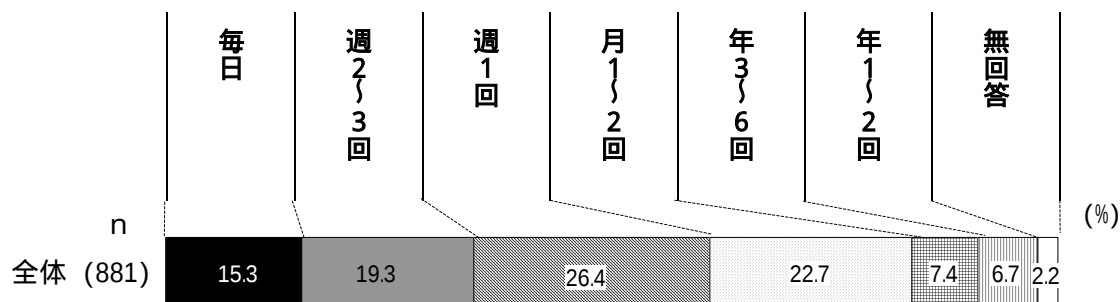
8 - 17 取り組んだ学習活動の頻度

「週1回」が2割台半ばを超え最も多く、「月1～2回」が続く

(問59で、「1」から「13」とお答えの方に)

問59 - 1 あなたがこの1年間で取り組んだ学習活動の頻度は、延べどのくらいになりますか。
(○は1つだけ)

<図表8 - 23> 取り組んだ学習活動の頻度

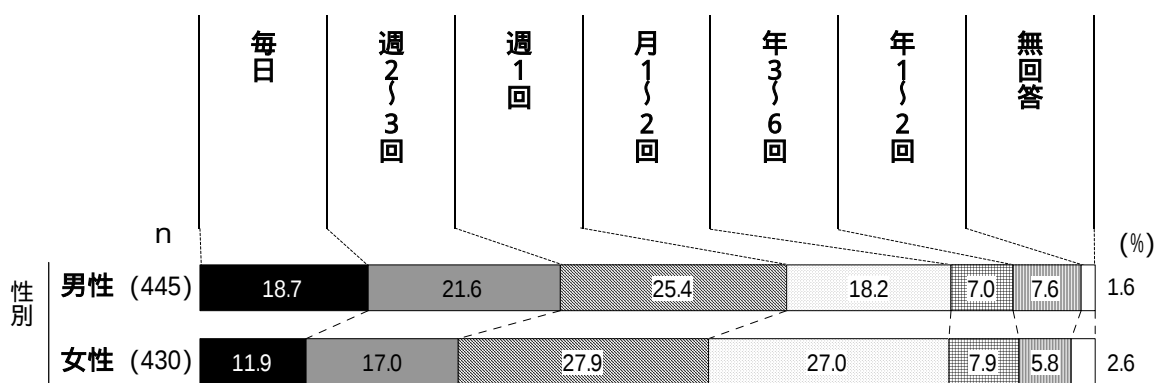


問59で、何らかの学習活動を行った人に、その頻度を聞いた。その結果、「週1回」(26.4%)が2割台半ばを超え最も高く、「月1～2回」(22.7%)が続く。(図表8 - 23)

【性別】

「毎日」は男性の方が女性よりも7ポイント高く、「週2～3回」でも5ポイント高い。女性は、「月1～2回」で9ポイント上回る。(図表8 - 24)

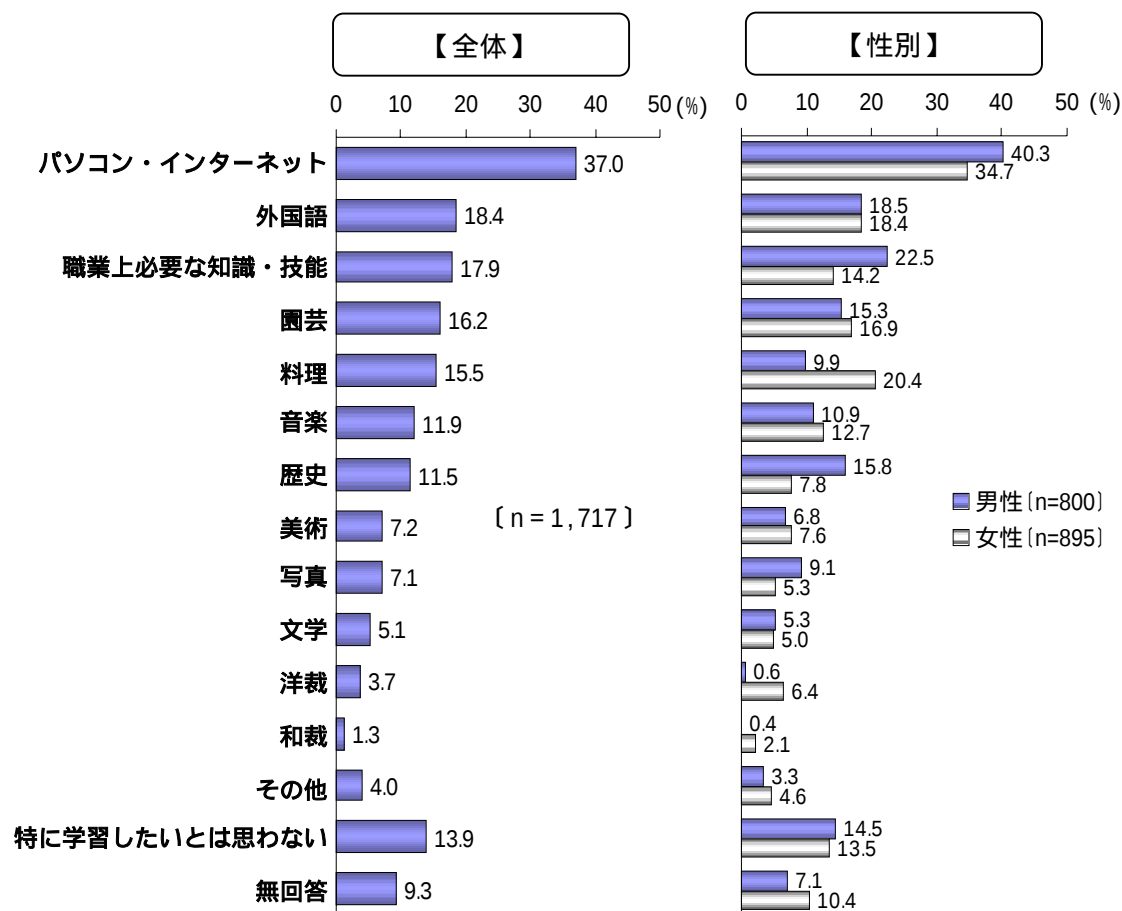
<図表8 - 24> 性別



「パソコン・インターネット」が約4割でトップ

問60 あなたが今後取り組みたいと思っている学習活動はどれですか（○はいくつでも）

<図表8 - 25> 今後取り組みたい学習活動（複数回答）



今後取り組みたい学習活動としては、「パソコン・インターネット」(37.0%)が約4割で最も高くなっている。この後には、「外国語」(18.4%)、「職業上必要な知識・技能」(17.9%)、「園芸」(16.2%)、「料理」(15.5%)の4項目が1割台後半で、「音楽」(11.9%)と「歴史」(11.5%)が1割台前半である。なお、「特に学習したいとは思わない」(13.9%)も1割台前半である。

【性別】

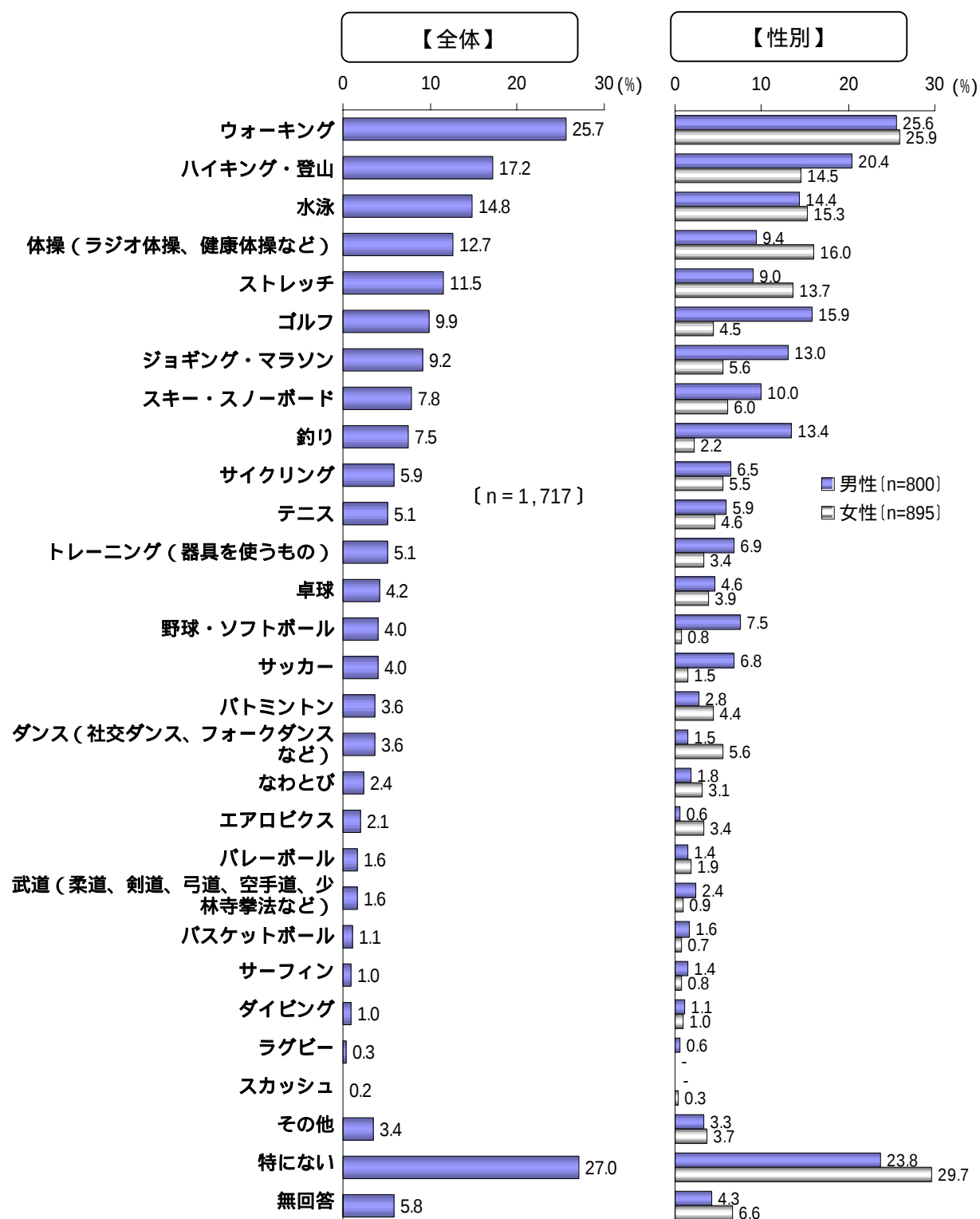
男性の方が女性よりも高いものには、「職業上必要な知識・技能」と「歴史」の8ポイント、「パソコン・インターネット」の6ポイント差などがある。逆に、女性は「料理」で11ポイント、「洋裁」で6ポイント男性を上回る。(図表8 - 25)

施策No - 23 生涯スポーツの推進：週1回以上スポーツをする成人の割合

「ウォーキング」が4人に1人で最も高率。しかし、「特にない」が2割台半ばを超える

問61 あなたがこの1年間に行ったスポーツはどれですか。(○はいくつでも)

<図表8 - 26> 1年間に行ったスポーツの内容（複数回答）



1年間に行ったスポーツの内容としては、「ウォーキング」(25.7%)が4人に1人で最も高く、「ハイキング・登山」(17.2%)が続く。次いで、「水泳」(14.8%)、「体操(ラジオ体操、健康体操など)」(12.7%)、「ストレッチ」(11.5%)が1割台前半で、「ゴルフ」(9.9%)と「ジョギング・マラソン」(9.2%)が1割弱となっている。なお、「特にない」(27.0%)が2割台半ばを超え高率である。

【性別】

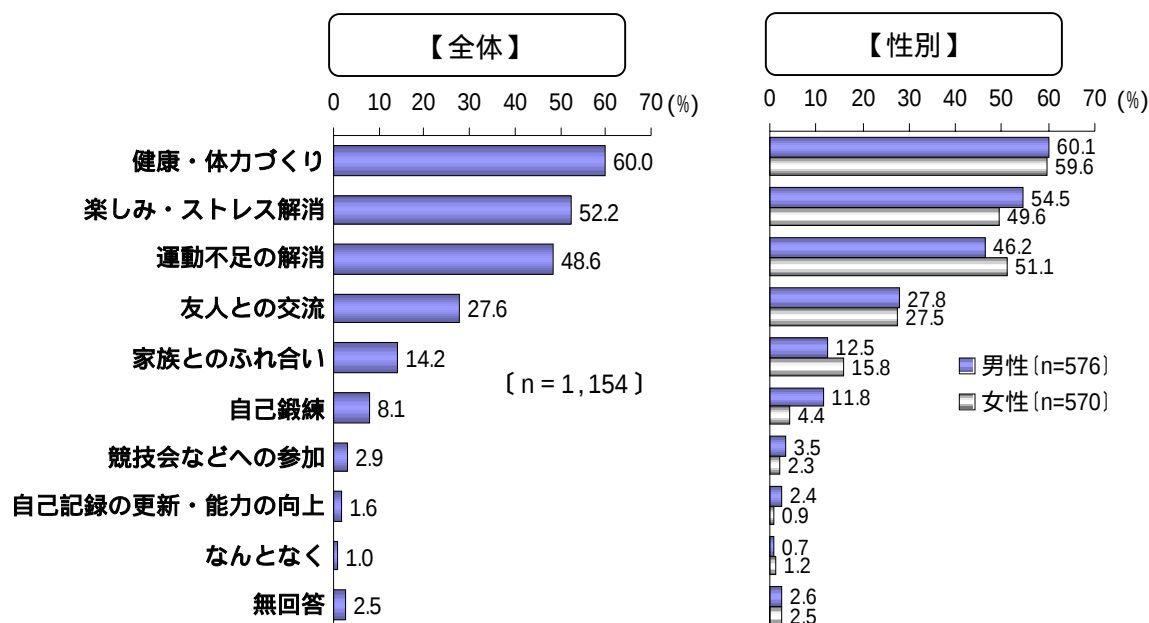
男性の方が女性よりも高いものには、「釣り」と「ゴルフ」の11ポイント、「ジョギング・マラソン」と「野球・ソフトボール」の7ポイント、「ハイキング・登山」の6ポイント、「サッカー」の5ポイント差などがある。逆に、女性の方が高いのは、「体操(ラジオ体操、健康体操など)」の7ポイント、「ストレッチ」の5ポイントなどである。また、「特にない」でも女性は6ポイント上回っている。(図表8 - 26)

「健康・体力づくり」が6割でトップ

（問61で、「1」から「27」のいずれかをお答えの方に）

問61 - 1 あなたがこの1年間にスポーツをしたのはどのような理由ですか。（○は3つまで）

< 図表 8 - 27 > スポーツをした理由（複数回答）



問61で、何らかのスポーツを行ったと回答した人に、その行った理由を聞いた。その結果、「健康・体力づくり」(60.0%)が6割で最も高く、続く、「楽しみ・ストレス解消」(52.2%)と「運動不足の解消」(48.6%)が半数前後となっている。このほか、「友人との交流」(27.6%)が2割台半ばを超え、「家族とのふれ合い」(14.2%)が1割台半ばに近い。

【性別】

男性は「自己鍛練」と「楽しみ・ストレス解消」で女性を上回り、前者で7ポイント、後者で5ポイントの差となっている。逆に、女性は「運動不足の解消」で5ポイント高い。(図表 8 - 27)

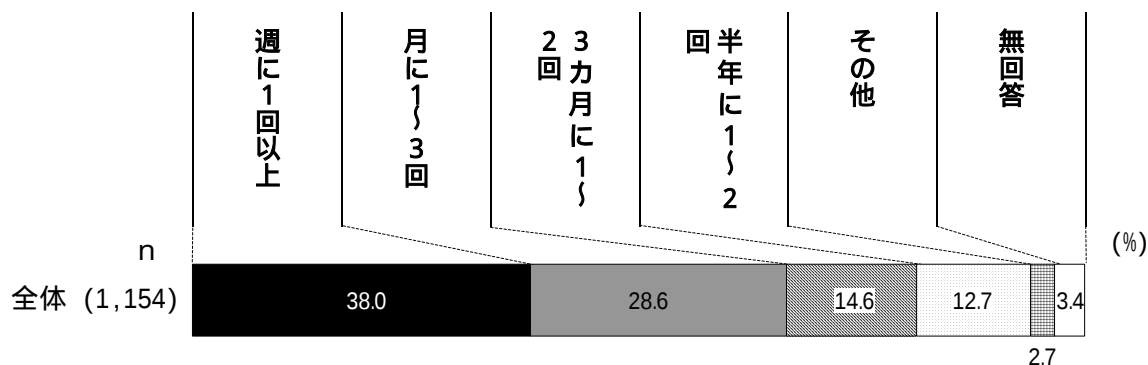
8 - 21 1年間に行ったスポーツの頻度

「週に1回以上」が約4割で最も高い

(問61で、「1」から「27」のいずれかをお答えの方に)

問61 - 2 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

<図表8 - 28> 1年間に行ったスポーツの頻度

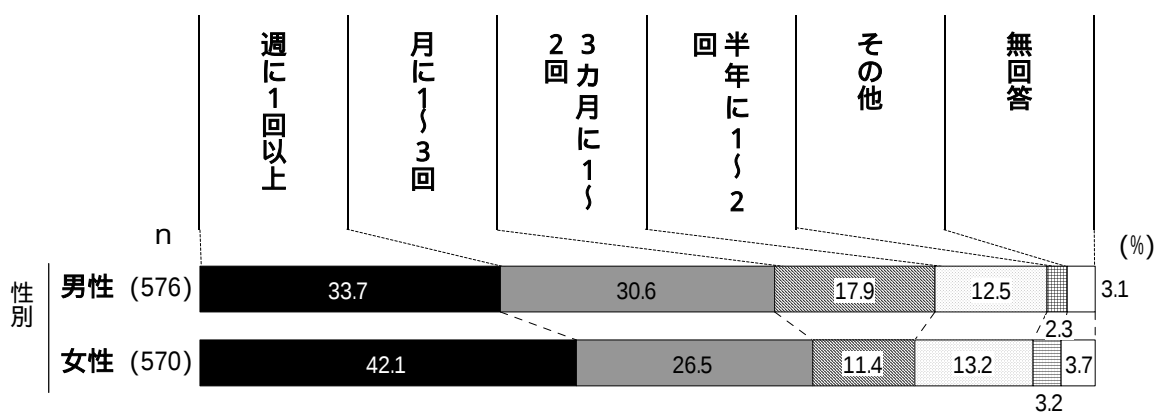


問61で、何らかのスポーツを行ったと回答した人に、その頻度を聞いた。その結果、「週に1回以上」(38.0%)が約4割で最も高く、次いで、「月に1~3回」(28.6%)が約3割となっている。(図表8 - 28)

【性別】

「週に1回以上」は女性の方が男性よりも8ポイント高くなっているが、「3カ月に1~2回」では男性の方が女性よりも7ポイント上回る。(図表8 - 29)

<図表8 - 29> 性別

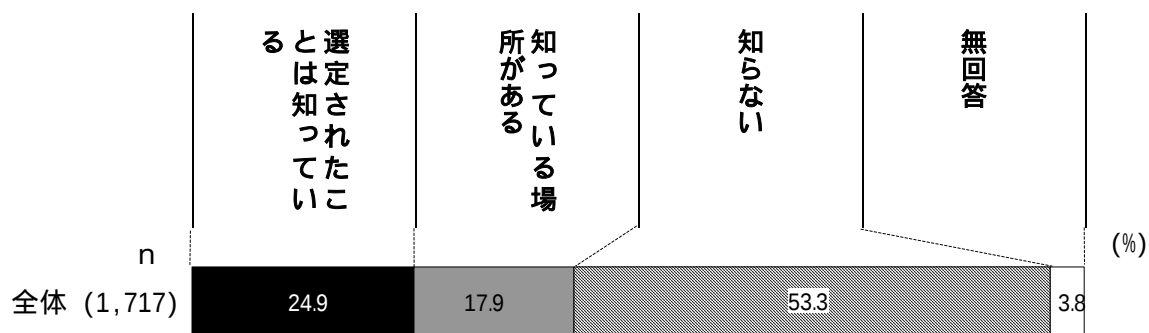


施策No - 27 計画的なまちづくり：八王子の景観への市民評価度

《知っている》が4割を超えるも、「知らない」が半数を超え上回る

問62 あなたは、八王子市の様々な自然景観・都市景観の中から選定された『八王子八十八景』を知っていますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 30> 『八王子八十八景』の認知度

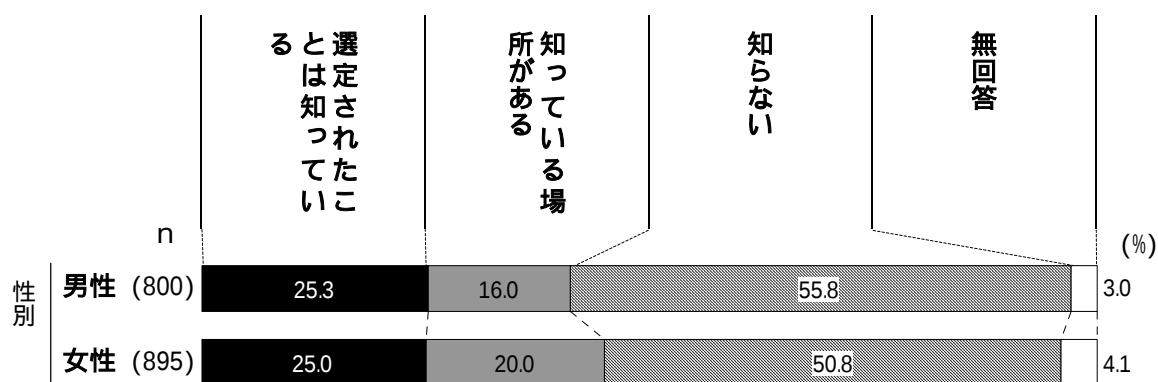


『八王子八十八景』について、「選定されたことは知っている」(24.9%)はほぼ4人に1人、「知っている場所がある」(17.9%)が約2割で、これらを合わせると《知っている》(42.8%)は4割を超える。しかしながら、「知らない」(53.3%)が半数を超え高くなっている。(図表8 - 30)

【性別】

最も差がみられるのは、「知らない」で男性の方が女性よりも5ポイント高くなっている。(図表8 - 31)

<図表8 - 31> 性別

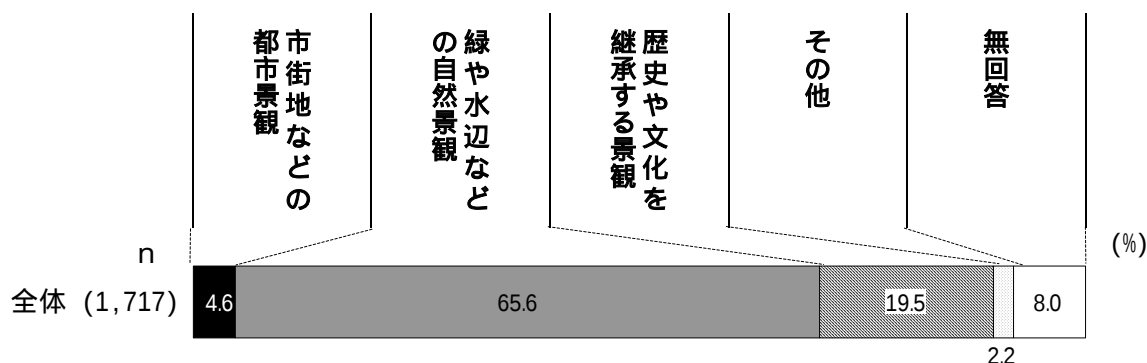


8 - 23 魅力的だと感じる景観

「緑や水辺などの自然景観」がほぼ3人に2人で最も高い

問63 あなたは、様々なまちの景観のうち、魅力的だと感じる景観はどのような景観ですか。
(○は1つだけ)

<図表 8 - 32> 魅力的だと感じる景観



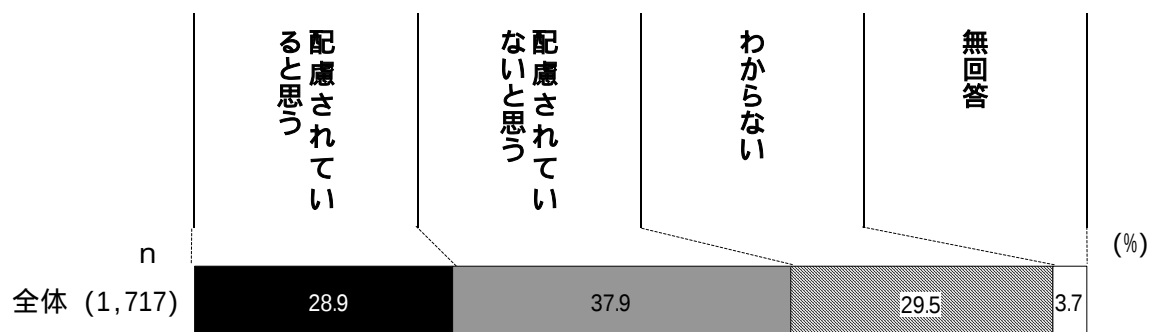
魅力的だと感じる景観としては、「緑や水辺などの自然景観」(65.6%)がほぼ3人に2人で最も高く、次いで、「歴史や文化を継承する景観」(19.5%)が2割弱となっている。(図表 8 - 32)

8 - 24 居住地域の景観への配慮の有無

「配慮されていると思う」の3割弱に対し、「配慮されていないと思う」は3割台半ばを超える

問64 あなたのお住まいの地域は、景観に配慮されていると思いますか。(○は1つだけ)

<図表 8 - 33> 居住地域の景観への配慮の有無

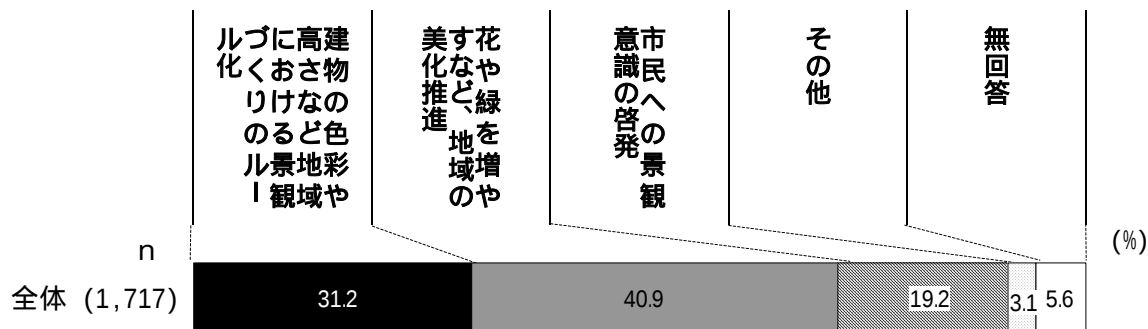


居住地域の景観が「配慮されていると思う」(28.9%)は3割弱だが、「配慮されていないと思う」(37.9%)は3割台半ばを超え、こちらの方が高くなっている。なお、「わからない」(29.5%)との回答も3割弱ある。(図表 8 - 33)

「花や緑を増やすなど、地域の美化推進」が4割を超え最も高い

問65 あなたは、景観づくりのためにどのようなことが必要であると思いますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 34> 景観づくりに必要なこと



景観づくりに必要なこととしては、「花や緑を増やすなど、地域の美化推進」(40.9%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「建物の色彩や高さなど地域における景観づくりのルール化」(31.2%)が3割を超える。また、「市民への景観意識の啓発」(19.2%)は2割弱である。(図表8 - 34)

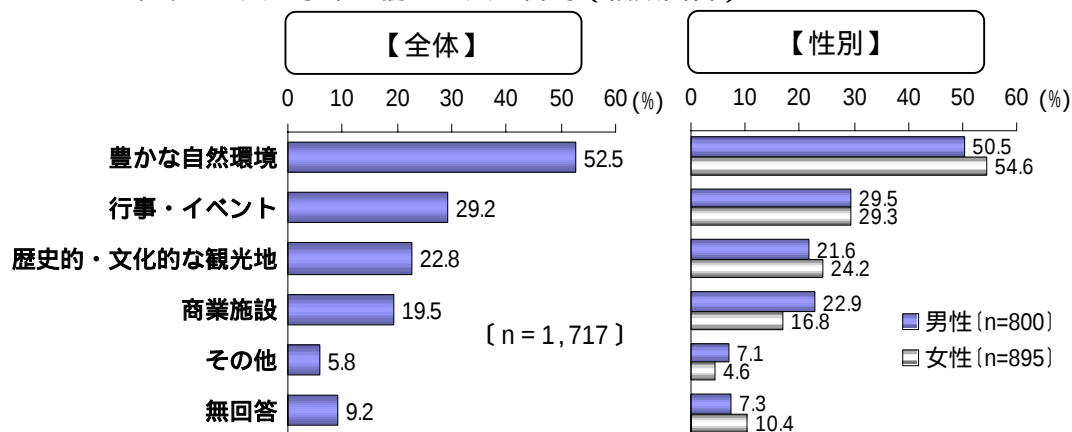
8 - 26 市外から八王子市を訪れる人の目的

施策No - 33 体制づくりと人材育成：にぎわいと活力があるまちと感じる市民の割合

「豊かな自然環境」が半数を超え最も高い

問66 毎年、多くの方が市外から八王子市を訪れていますが、その主な目的は何だと思いますか。
(○は2つまで)

<図表8 - 35> 市外から八王子市を訪れる人の目的(複数回答)



市外から本市を訪れる人の主な目的を推測してもらったところ、「豊かな自然環境」(52.5%)が半数を超えて最も高くなっている。続く、「行事・イベント」(29.2%)は3割弱、「歴史的・文化的な観光地」(22.8%)は2割強である。

【性別】

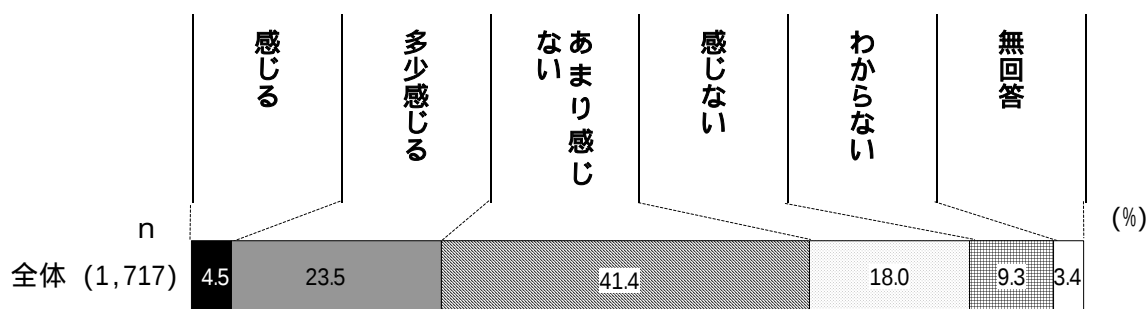
最も差がみられるのは、「商業施設」で男性の方が女性よりも6ポイント高くなっている。(図表8 - 35)

8 - 27 八王子市のにぎわいと活力の有無

《感じる》は約3割。一方の《感じない》が6割弱が多い

問67 あなたは、八王子市はにぎわいと活力があるまちと感じますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 36> 八王子市のにぎわいと活力の有無



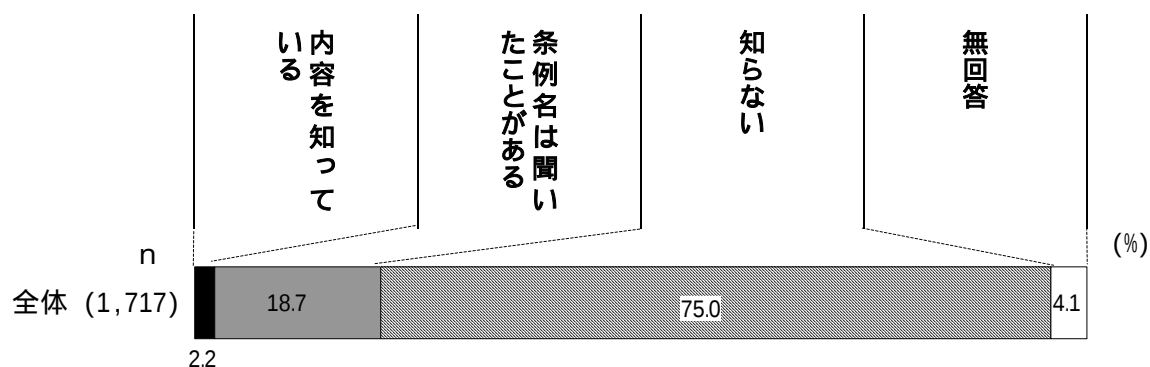
本市のにぎわいと活力を「感じる」(4.5%)は少数にとどまり、「多少感じる」(23.5%)と合算すると、《感じる》(28.0%)は約3割となる。一方、「あまり感じない」(41.4%)と「感じない」(18.0%)を合算すると、《感じない》(59.4%)は6割弱と《感じる》を上回る。(図表8 - 36)

施策No - 38 環境保全体制の確立：環境に関心がある市民の割合

《認知度は》2割強。4人に3人が「知らない」と回答

問68 あなたは、市が環境問題を解決するために、市と市民の皆さん・事業者とが一緒になって環境を保全し、回復し、創造していくことに取組めるよう制定した「八王子市環境基本条例」(平成13年12月28日公布)を知っていますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 37> 「八王子市環境基本条例」の認知度

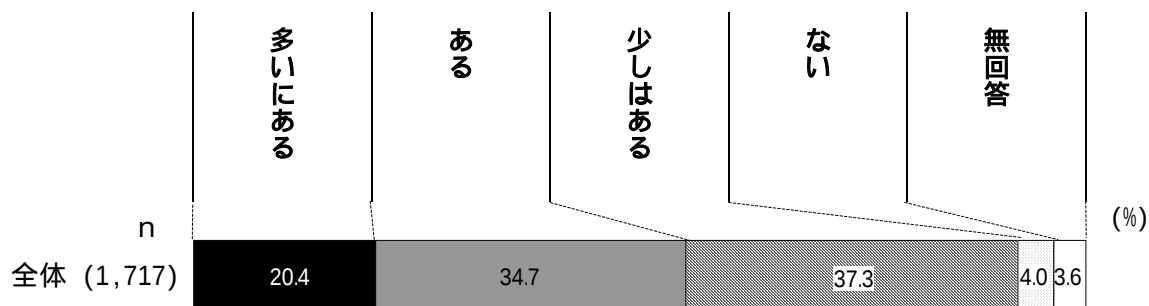


「八王子市環境基本条例」の「内容を知っている」(2.2%)は少数にとどまり、「条例名は聞いたことがある」(18.7%)は約2割となっている。これら両者を合算すると、《認知度》(20.9%)は2割強である。逆に、「知らない」(75.0%)は4人に3人である。(図表8 - 37)

《ある》は9割を超え大多数を占める

問69 あなたは環境問題に関心がありますか。(○は1つだけ)

<図表8 - 38> 環境問題への関心度

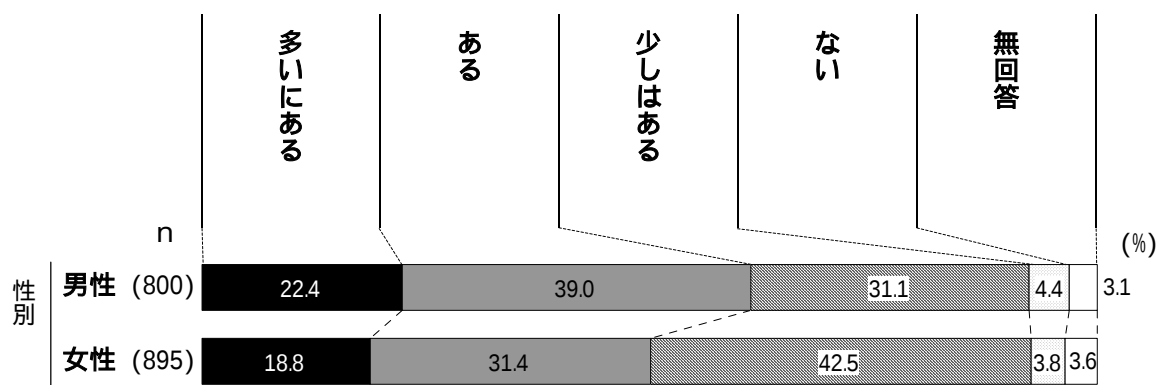


環境問題への関心が「多いにある」(20.4%)は2割を超え、3割台半ば前後の「ある」(34.7%)と「少しはある」(37.3%)までを合算すると、《ある》(92.4%)は9割を超え大多数を占める。(図表8 - 38)

【性別】

「多いにある」は男性が女性を若干上回り、「ある」でも男性が8ポイント上回る。逆に、女性は「少しはある」で11ポイント高率である。(図表8 - 39)

<図表8 - 39> 性別

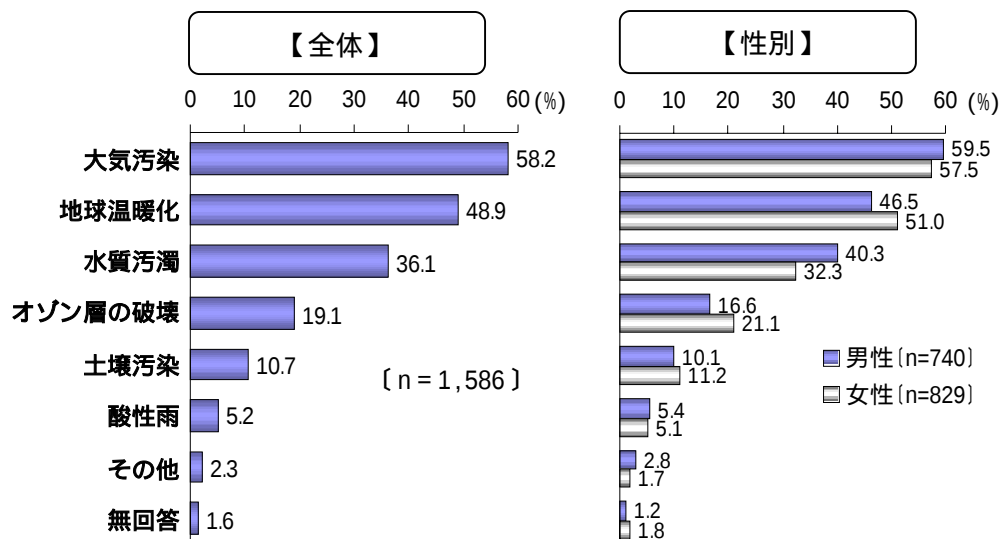


「大気汚染」が約 6 割でトップ。続く「地球温暖化」は半数に近い

(問69で、「1」から「3」のいずれかをお答えの方に)

問69 - 1 どのような環境問題に関心がありますか。(○は2つまで)

< 図表 8 - 40 > 関心のある環境問題 (複数回答)



関心のある環境問題としては、「大気汚染」(58.2%)が約 6 割で最も高率で、「地球温暖化」(48.9%)はほぼ半数で続く。このほか、「水質汚濁」(36.1%)が 3 割台半ばを超え、「オゾン層の破壊」(19.1%)が 2 割弱となっている。

【性別】

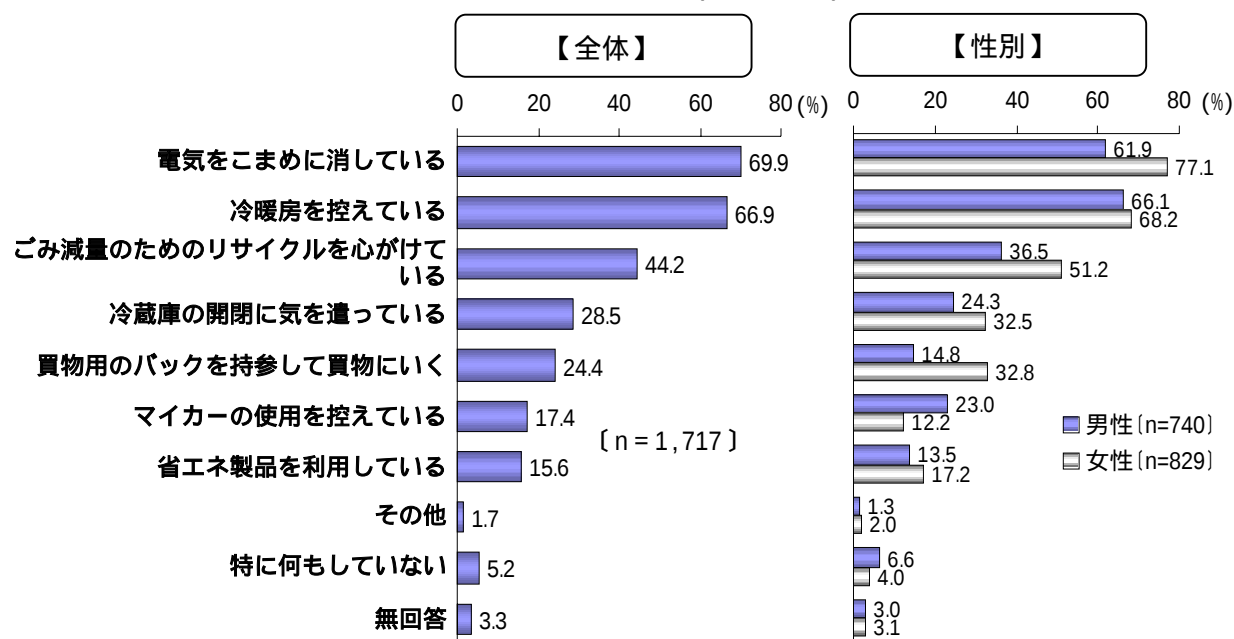
「地球温暖化」と「オゾン層の破壊」は女性の方が男性を 5 ポイント上回り、逆に、「水質汚濁」は男性の方が 8 ポイント高率である。(図表 8 - 40)

施策No - 42 資源・エネルギーの有効活用：省エネ・省資源を意識した暮らしを送っている市民の割合

「電気をこまめに消している」と「冷暖房を控えている」が上位2項目

問70 省エネ・省資源のために行っていることはありますか。(○はいくつでも)

<図表8 - 41> 省エネ・省資源のために行っていること(複数回答)



省エネ・省資源のために行っていることとしては、「電気をこまめに消している」(69.9%)が7割弱で最も高く、「冷暖房を控えている」(66.9%)が僅差で続く。このほか、「ごみ減量のためのリサイクルを心がけている」(44.2%)は4割台半ばに近く、「冷蔵庫の開閉に気を遣っている」(28.5%)が約3割、「買物用のバックを持参して買物に行く」(24.4%)がほぼ4人に1人である。

【性別】

女性の方が男性よりも高いものが多く、それらを列挙すると、「買物用のバックを持参して買物に行く」の18ポイント、「電気をこまめに消している」と「ごみ減量のためのリサイクルを心がけている」の15ポイント、「冷蔵庫の開閉に気を遣っている」の8ポイント差などがある。逆に、「マイカーの使用を控えている」は男性が11ポイント上回っている。(図表8 - 41)

質問と回答

平成15年度（第35回）八王子市市政世論調査

【ご記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、必ずあて名のご本人がご記入ください。
2. ご回答は、濃いえんぴつか、黒または青のボールペンなどをご使用ください。
3. ご回答は、次の要領で行ってください。
 - あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで○印をつけてください。
 - 回答の○の数は、(○は1つだけ) (○は3つまで) (○はいくつでも)などと指定していますので、それに合わせてください。
 - ご自分の答えが選択肢の中にある場合は、「その他()」を選び、()内にその内容を具体的に記入してください。
 - 今回の調査では、「八王子ゆめおりプラン」についての調査をあわせて行うため、設問数が多くなっています。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、質問は、1ページから順に最後までお答えください。なお、問○-1のように、一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成15年7月3日（木）までにご投函ください。
 なお、この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

調査については 八王子市 市民部 市民課 市民生活係 まで
電話 0426 - 20 - 7227 (ダイヤルイン)
(月～金曜日 午前8時30分～午後7時)

返送については 株式会社 サーベイリサーチセンター 社会研究課まで
電話 0120-39-6740 (フリーダイヤル)
(月～金曜日 午前9時～午後5時30分)

< あなたご自身について >

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1	男性	46.6	2	女性	52.1	(無回答)	1.3
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1	20歳代	13.1	3	40歳代	13.7	5	60～64歳	9.7	(無回答)	0.9
2	30歳代	16.5	4	50歳代	21.5	6	65歳以上	24.6		

F 3 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1	20～39歳で単身者	15.0
2	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	3.3
3	20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	10.7
4	20～64歳で一番下の子どもが小学生	5.5
5	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	5.8
6	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	22.8
7	40～64歳で単身者	4.7
8	40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	5.5
9	65歳以上	24.3
	(無回答)	2.4

F 4 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場(自分が親、自分が子ども)にかかわらず、世帯構成をお答えください。(○は1つだけ)

1	ひとり暮らし(単身世帯)	9.5	4	親と子ども夫婦(二世帯世帯)	4.4
2	夫婦のみ(一世帯世帯)	22.0	5	親と子どもと孫(三世帯世帯)	11.3
3	親と未婚の子ども(二世帯世帯)	48.4	6	その他()	2.7
				(無回答)	1.8

F 5 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つだけ)

1	1人	9.8	4	4人	23.2	6	6人	5.1
2	2人	28.6	5	5人	7.8	7	7人以上	1.6
3	3人	23.2					(無回答)	0.8

F 6 あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

1	1年未満	2.9	4	10～20年未満	15.5
2	1～3年未満	5.5	5	20年以上	38.4
3	3～10年未満	16.5	6	生まれてからずっと	20.6
				(無回答)	0.7

F 7 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 農・林・漁業	0.4	7 アルバイト・パート	13.4
2 自営業	6.5	8 (専業)主婦・主夫	18.8
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	0.6	9 学生	3.4
4 会社や団体の役員	3.2	10 その他()	1.6
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	26.0	11 無職	20.6
6 教員・公務員	4.6	(無回答)	1.0

(F 7で、「1」から「7」とお答えの方に)

F 7 - 1 あなたの職場は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 八王子市内	49.0	2 八王子市外	47.5	(無回答)	3.5
---------	------	---------	------	-------	-----

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 一戸建て(持ち家)	58.2	5 公団・公社の賃貸住宅	5.7
2 分譲マンション	12.5	6 都営・市営住宅	6.3
3 一戸建て(借家)	3.3	7 社宅・官舎・寮	2.1
4 民間の賃貸アパート・マンション	10.0	8 その他()	0.6
		(無回答)	1.3

F 9 あなたのお住まいは、次のように各事務所の管轄区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。
(○は1つだけ)

該当する地区が不明な場合は、()内にお住まいの町名をご記入ください。

1 本庁管内(中央地域)	22.1	5 由井・北野(東南部地域)	14.2
2 元八王子・恩方・川口(西部地域)	17.2	6 由木・由木東・南大沢(東部地域)	16.1
3 浅川・横山・館(西南部地域)	18.9	7 不明()	2.9
4 加住・石川(北部地域)	6.9	(無回答)	1.7

F 10 あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。(○は1つだけ)

1 入っている	80.7	2 入っていない	17.5	(無回答)	1.7
---------	------	----------	------	-------	-----

設問は全2章・計8つのテーマに分かれています。次ページからのすべての質問にお答えください。

第 1 章

< 定住意向 >

問 1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1 ずっと住み続けたい	45.4	3 市外へ移りたい	11.5
2 当分は住み続けたい	41.9	(無回答)	1.1

(問1で、「1 ずっと住み続けたい」か「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1 緑が多く自然に恵まれている	56.9	6 古き良きものが多い	5.1
2 交通の便が良い	32.8	7 街並み・景観が美しい	10.3
3 買い物に便利	27.1	8 公園などがよく整備されている	10.4
4 地域住民の連帯感が強い	11.7	9 その他()	14.8
5 教育環境がよい	4.3	10 特に理由はない	15.5
		(無回答)	0.9

(問1で、「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1 自然環境が悪い	9.6	6 住宅事情が悪い	12.1
2 交通の便が悪い	42.4	7 公害が多い	10.6
3 買い物に不便	24.7	8 街の雰囲気が嫌い	18.2
4 隣近所となじめない	4.0	9 その他()	37.4
5 この街に愛着がない	22.2	10 特に理由はない	7.6
		(無回答)	0.5

< 生活環境 >

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	(無回答)
(1) 日当たりや風通し	53.1	15.9	20.4	6.9	2.6	1.1
(2) 大気汚染	19.4	15.0	42.7	14.2	5.4	3.4
(3) 騒音・振動	19.6	12.9	31.3	20.0	13.7	2.4
(4) 災害時の安全性	14.0	12.3	53.7	12.1	4.3	3.7
(5) 下水・排水	31.6	12.0	39.1	8.6	6.5	2.2
(6) し尿処理	35.5	10.5	41.5	5.3	4.5	2.7

(次ページへ続く)

項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	(無回答)
(7) ごみ処理	24.9	17.2	43.0	10.2	3.0	1.6
(8) 防犯や風紀	7.9	12.3	48.7	21.1	6.8	3.2
(9) 病院などの医療施設	7.9	13.3	45.3	23.2	8.0	2.2
(10) 集会施設	10.5	12.3	58.8	11.8	3.1	3.3
(11) 公園・遊び場	13.6	17.0	42.3	16.0	7.8	3.3
(12) 道路の整備状況	14.3	15.1	41.5	17.9	8.0	3.1
(13) 緑の豊かさ	34.9	28.1	27.4	5.6	1.6	2.4
(14) 交通の便	18.3	21.7	29.4	18.0	10.7	2.0
(15) 交通の安全性	9.7	12.5	48.8	18.6	6.9	3.5
(16) 全体としての「住みやすさ」	12.0	27.0	47.9	8.8	1.6	2.7

< 防犯・防災対策 >

(1) 防犯対策

市では、市民の皆さんが安全で安心に暮らせるまちにするために、本年4月1日から「生活の安全・安心に関する条例」を施行しました。

今後、この条例に基づき、防犯に関する対策を検討していきます。

そこで、市民の皆さんの防犯対策についてのご意見を伺い、今後の施策の資料として活用させていただきます。

問3 あなたは、「生活の安全・安心に関する条例」を知っていますか。(○は1つだけ)

1 内容を理解している	4.0	3 知らない	72.2
2 名称だけは知っている	22.7	(無回答)	1.0

問4 あなたの日常生活における生活環境は安全だと思いますか。(○は1つだけ)

1 安全である	2.2	4 やや危険である	18.3
2 おおむね安全である	26.0	5 危険である	2.9
3 普通である	49.9	(無回答)	0.8

問5 あなたは、現在の八王子市の治安状況について、どのように思いますか。(○は1つだけ)

1 犯罪が非常に多くなっている	17.8	4 犯罪がやや少なくなっている	1.7
2 犯罪がやや多くなっている	56.7	5 犯罪が非常に少なくなっている	0.4
3 犯罪が多くも少なくもなっていない	21.7	(無回答)	1.7

問6 あなた自身犯罪に遭ったり、または危険を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

1 ある → (問6-1へ)	21.9	2 ない	77.3	(無回答)	0.8
----------------	------	------	------	-------	-----

(問6で、「1 ある」とお答えの方に)

問6 - 1 その場所はどこですか。(○はいくつでも)

1 自宅	30.6	4 電車・バス	9.0	7 駐車場	13.6
2 路上	55.6	5 駅	12.2	8 その他の公共施設	3.2
3 公園	10.9	6 エレベーター	2.1	9 その他()	7.2
				(無回答)	1.6

問7 あなたは、防犯対策として、何が必要だと思いますか。(1)～(9)の項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つつ)

項 目	必要	やや必要	どちらとも言えない	やや不要	不要	(無回答)
(1) 街頭防犯カメラ	29.4	25.1	29.2	4.4	6.2	5.6
(2) 交番の新設	34.4	25.1	27.8	3.1	4.4	5.2
(3) 取締りの強化	49.0	29.0	14.9	1.6	1.1	4.4
(4) 刑罰の強化	44.9	22.7	23.4	2.0	1.4	5.6
(5) 街路灯の増設	50.6	28.7	12.1	2.3	1.7	4.6
(6) 防犯情報の提供	48.6	33.6	11.4	0.6	0.5	5.2
(7) 近所づきあい	44.3	29.9	20.5	0.6	1.0	3.7
(8) 防犯装置の設置	40.4	33.0	19.6	1.2	1.0	4.8
(9) 自主的な防犯組織の結成	20.2	27.0	41.0	3.2	3.6	5.0

問8 あなたが実行している、または実行したことのある防犯対策はどれですか。(○はいくつでも)

1 警察、町会・自治会等で行う防犯教室への参加	11.1	4 自宅への防犯機器設置	16.3
2 町会・自治会等で行うパトロールへの参加	13.5	5 市や警察への犯罪抑止に対する提言	5.7
3 テレビ、インターネット等による情報収集	18.2	6 その他()	4.1
		7 特にない	45.9
		(無回答)	3.2

問9 防犯に関する情報を得たいとき、一番有効だと思う情報媒体はどれですか。(○は1つだけ)

1 広報はちおうじ	20.3	6 CATV(ケーブルテレビ)	2.2
2 広報誌(市以外のもの)	0.5	7 新聞・タウン誌	9.0
3 町会・自治会の回覧物	26.8	8 ポスター・チラシ・パンフレット	6.6
4 インターネット	6.4	9 その他()	1.0
5 テレビ	25.7	(無回答)	1.6

問10 JR八王子駅北口周辺におけるつきまとい勧誘行為についておたずねします。

あなたは、つきまとわれて迷惑したことがありますか。(○は1つだけ)

1 ある→(問10-1へ)	25.6	2 ない	73.3	(無回答)	1.1
---------------	------	------	------	-------	-----

(問10で、「1 ある」とお答えの方に)

問10 - 1 そのときの勧誘の内容は、どのようなものでしたか。(○はいくつでも)

1 モデル	4.3	4 金融貸付	9.3
2 性風俗店などの客	14.1	5 キャッチセールス	58.6
3 性風俗店などの従業員	23.6	6 その他()	19.8
		(無回答)	0.5

問11 市では、執ようなつきまとい勧誘行為を排除するために、5月からJR八王子駅北口周辺地域のパトロールを実施しています。現在のつきまとい勧誘行為の印象についてお答えください。

(○は1つだけ)

1 以前より多い	5.7	3 以前より少ない	11.1	5 わからない	53.4
2 以前と変わらない	17.2	4 以前と比較できない	7.1	6 その他()	1.2
				(無回答)	4.2

(2) 防災対策

阪神・淡路大震災のような大災害が発生した場合には、同時多発的な火災、建物倒壊、道路事情の悪化などにより、災害発生直後の初動期における防災機関による活動は制限されるおそれがあります。

このようなときに、自分や家族、財産などの被害を軽減するためには、市民一人ひとりが日頃から災害に備え、「自分の身は、自分で守る」「私たちのまちは私たちが守る」という自助・共助の理念に基づく行動が求められます。

この調査で各家庭における防災対策の実態を把握することにより、市民の皆さんの防災意識を今後の防災事業に反映し、災害に強い人づくり、まちづくりを進めていきます。

問12 あなたの家庭では、震災をはじめ、火災や台風などの災害に備え、何か準備をしていますか。

(○は1つだけ)

1 している	43.5	2 していない	54.7	(無回答)	1.7
--------	------	---------	------	-------	-----

問13 あなたの家庭では、大地震に備え何か準備をしていますか。(○はいくつでも)

1 食料・飲料水	36.8	6 貴重品類などの非常持出品	19.2
2 医薬品	23.1	7 衣類	7.3
3 ラジオ	47.3	8 その他()	2.1
4 懐中電灯	63.9	9 特に何もしていない	29.1
5 消火器	27.0	(無回答)	1.3

問14 阪神・淡路大震災では、死亡被災者の約9割が建物倒壊や家具等の転倒による圧死が原因でした。あなたの家庭では、建物倒壊防止や家具の転倒防止策を行っていますか。(○はいくつでも)

1 建物を耐震化している	13.9	4 その他()	3.6
2 家具等の転倒防止の器具などを設置している	23.6	5 特に何もしていない	60.3
3 ブロック塀等の補強を行っている	3.0	(無回答)	1.8

問15 あなたの家庭周辺には、危険だと思う場所がありますか。(○はいいくつでも)

1 高層ビル・マンション	16.6	4 がけ地	13.8
2 木造密集地	10.0	5 近くの河川	19.9
3 化学工場、石油タンクなどの貯蔵施設	3.4	6 その他()	16.0
		(無回答)	29.2

問16 市では、平成9年度に全市の避難場所を掲載した防災マップを各戸に配布しました。
あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか。(○は1つだけ)

1 知っている	59.3	2 知らない	38.8	(無回答)	1.8
---------	------	--------	------	-------	-----

(3) 自主防災組織

阪神・淡路大震災では、近隣住民が相互に助け合い、初期消火や救出・救助等に努め、被害の軽減に大きな役割を果たしました。この体制・活動が自主防災組織です。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助の認識をもち、防災活動や地域コミュニティに積極的に取り組み、災害に強いまちづくりの必要性が高まっています。

問17 あなたは、自主防災組織は必要だと思いますか。(○は1つだけ)

1 必要だと思う	68.2	2 必要だと思わない	4.3	3 わからない	26.2	(無回答)	1.4
----------	------	------------	-----	---------	------	-------	-----

問18 市では、自主防災組織づくりをすすめています。あなたのお住まいの地域の町会・自治会では、自主防災組織は組織されていますか。(○は1つだけ)

1 結成されている →(問18-1へ)	19.0	3 わからない	64.6
2 結成されていない	14.7	(無回答)	1.6

(問18で、「1 結成されている」とお答えの方に)

問18-1 あなたは、お住まいの町会・自治会の自主防災組織に参加していますか。(○は1つだけ)

1 参加している	53.7	2 参加していない →(問18-1-1へ)	44.8	(無回答)	1.5
----------	------	-----------------------	------	-------	-----

(問18-1で、「2 参加していない」とお答えの方に)

問18-1-1 自主防災組織に参加しない主な理由は次のどれですか。(○は1つだけ)

1 参加方法がわからない	13.0	4 関心がない	8.9
2 仕事や私事を制約される	38.4	5 その他()	31.5
3 参加したいと思わない	3.4	(無回答)	4.8

問19 あなたのお住まいの地域の自主防災組織や町会・自治会では防災訓練を実施していますか。
(○は1つだけ)

1 実施している	28.9	2 実施していない	20.1	3 わからない	48.7	(無回答)	2.3
----------	------	-----------	------	---------	------	-------	-----

問20 自主防災組織が活発な活動を行うには何が必要と思いますか。(○は2つまで)

1 会員の拡大・リーダーの育成	35.8	4 市や公共団体による自主防災組織	58.9
2 訓練の充実	28.9	についての情報提供	
3 資器材の充実	13.7	5 その他()	3.4
		(無回答)	8.2

<文化振興の推進>

市では、「文化振興計画」の策定に向けて検討を行っています。そこで、文化振興について市民の皆さんにご意見を伺い、計画策定の参考資料として活用させていただきます。

問21 あなたは、芸術・文化のどのような分野に最も関心がありますか。(○は1つだけ)

1 文学	3.3	10 伝統芸能(歌舞伎、落語など)	4.1
2 音楽	25.0	11 茶道	1.0
3 美術	7.2	12 華道	1.9
4 写真	3.0	13 書道	2.0
5 演劇	2.7	14 囲碁	1.3
6 舞踊	2.1	15 将棋	1.0
7 映画	14.7	16 歴史・文化財	12.5
8 漫画	1.1	17 その他()	2.4
9 アニメーション・メディア芸術	1.4	18 関心はない	9.8
		(無回答)	3.3

問22 あなたがこの1年間に鑑(観)賞または参加した芸術・文化活動は、どのようなものですか。(○はいくつでも)

1 文学	7.3	10 伝統芸能(歌舞伎、落語など)	8.2
2 音楽	31.9	11 茶道	2.7
3 美術	22.7	12 華道	3.3
4 写真	8.9	13 書道	5.2
5 演劇	11.2	14 囲碁	1.5
6 舞踊	5.4	15 将棋	1.6
7 映画	38.1	16 歴史・文化財	13.5
8 漫画	5.4	17 その他()	1.7
9 アニメーション・メディア芸術	4.8	18 していない	27.5
		(無回答)	3.9

(問22-1へ)

(問22で、「1」から「17」とお答えの方に)

問22-1 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

1 週に1回以上	7.9	3 半年に1~2回	48.2	5 その他()	2.6
2 月に1~2回	22.6	4 年1回	17.2	(無回答)	1.4

問23 あなたが芸術・文化活動から最も得られると思うものは、どのようなものですか。

(○は1つだけ)

1	生きがい	11.9	6	健康・体力づくり	6.1
2	現在の仕事に役立つ	1.2	7	展示会、発表会、コンクールに参加する	0.8
3	友人や仲間をつくる	10.1	8	指導者になって人に教える	0.2
4	心の豊かさ	57.1	9	その他()	3.3
5	新しい自分の発見	3.6		(無回答)	5.8

問24 あなたが芸術・文化活動を行うときに、主に情報を得ているものはどれですか。(○は1つだけ)

1	広報はちおうじ	21.4	6	C A T V (ケーブルテレビ)	1.0
2	市の講座・催し物のご案内	4.8	7	新聞・タウン誌	24.4
3	市のホームページ	0.5	8	チラシ・ポスター	9.3
4	インターネット	10.3	9	その他()	5.8
5	テレビ	15.3		(無回答)	7.3

問25 あなたは、八王子の文化として、どのようなことを知っていますか。知っているものをいくつでもご記入ください。

問26 あなたが文化施設を使用するとき、主にどのような理由や基準で選びますか。(○は1つだけ)

1	自宅に近い	26.3	6	使用申し込み手続きが簡単	3.2
2	J R 線、京王線の各駅周辺で交通の便がよい	16.8	7	使用料が安い	8.6
3	施設設備や備品が整っている	6.1	8	使用時間の都合がよい	2.9
4	同好の仲間がいる	7.2	9	指導者・リーダーを得やすい	0.1
5	自分のやりたい講座や教室をやっている	13.8	10	その他()	3.7
				(無回答)	11.2

問27 あなたが芸術・文化活動を行うために、市に最も取り組んでほしいものは、どのようなものですか。具体的にご記入ください。

(例：コンサート・演劇などの鑑賞機会の提供、講師・指導者の育成、活動の場の提供など)

問28 市では今後、文化振興計画の策定に取り組みます。この計画の、基本的な考え方や市民主体の文化活動のあり方などについて、ご意見やご要望をご記入ください。

< 地域福祉 >

市では、高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援、市民の健康づくりなどを一体化した地域保健福祉計画づくりを今後進めていく予定です。できるだけ多くの市民の皆さんの参加で計画づくりを進めるとともに、アンケートや意見募集を実施して市民の意向を反映していきます。

(1) 地域での支え合い

問29 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のつき合いをしていますか。(○ は 1 つだけ)

1 非常に親しい	4.1	3 あいさつ程度	60.3
2 親しい	27.1	4 ほとんどつきあいがない	7.2
		(無回答)	1.3

問30 あなたは、ふだんどのような悩みや不安を感じていますか。(○ は 3 つまで)

1 自分の健康	44.0	6 経済的問題	38.1
2 家族の健康	48.4	7 近所との関係	4.7
3 自分や家族の生活	32.6	8 その他 ()	3.1
4 育児の問題	7.7	9 特に感じていない ↓	11.4
5 介護の問題	20.7	(無回答) (問 30-1 へ)	2.0

(問30で、「 1 」から「 8 」とお答えの方に)

問30 - 1 あなたは、悩みや不安について誰に相談したいと思いますか。(○ は 3 つまで)

1 家族	70.4	7 病院や薬局	18.5
2 親戚	18.9	8 民生委員	2.7
3 近所の人	5.3	9 社会福祉協議会	2.2
4 知人・友人	43.3	10 福祉施設や在宅介護支援センター	8.5
5 職場の人	8.0	11 その他 ()	3.2
6 市の相談窓口	12.4	12 相談できる人がいない	4.6
		(無回答)	1.3

問31 あなたが、高齢や病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域で何をしてほしいですか。(○ は 3 つまで)

1 安否確認の声かけ	59.2	5 玄関前掃除・除雪	17.6
2 趣味などの話し相手	24.8	6 短時間の子どもの預かり	9.7
3 ちょっとした買い物	50.4	7 子育ての相談	4.3
4 ゴミ出し	32.6	8 その他 ()	7.0
		(無回答)	4.7

問32 あなたは、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題はどれだと思いますか。(○ は 2 つまで)

1 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への支援	74.8	4 健康づくりへの支援	22.0
2 子育てで悩んでいる家庭への支援	19.5	5 青少年の健全育成への支援	28.5
3 障害者への支援	26.4	6 その他 ()	2.1
		(無回答)	2.7

問33 社会福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてのあなたの考えに最も近いのはどれですか。(○は1つだけ)

1	社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない	4.1
2	行政の手の届かない福祉課題については住民が協力していくべきである	10.2
3	福祉課題については行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである	54.1
4	家庭や地域で助け合いできない場合に行政が援助すべきである	21.7
5	わからない	6.3
	(無回答)	3.6

問34 限られた財源のなかで今後、最も重視していくことが望ましいと思う福祉分野はどれですか。(○は1つだけ)

1	高齢者福祉	48.7	4	低所得者に対する福祉	16.3
2	障害者(児)福祉	7.9	5	健康づくり	8.7
3	児童福祉	13.9	6	その他()	1.8
				(無回答)	2.7

問35 市が取り組むべき具体的な保健・福祉施策として、どれを優先して充実すべきだと思いますか。(○は3つまで)

1	ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援	18.0
2	住民がともに支えあう仕組みづくりへの支援	16.9
3	身近なところでの相談窓口の充実	33.3
4	高齢や障害を持つようになって在宅生活が続けられるサービスの充実	53.8
5	保健福祉に関する情報提供や案内の充実	18.7
6	健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実	12.4
7	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	35.4
8	サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み	9.4
9	福祉教育の充実	9.8
10	高齢者・障害者・児童の福祉施設の充実	42.6
11	その他()	1.7
	(無回答)	3.5

(2) 健康づくり

問36 あなたは、日頃ストレスを感じていますか。(○は1つだけ)

1	強く感じている	14.0	3	少し感じている	41.1
2	感じている	30.8	4	感じていない	12.5
				(無回答)	1.6

問37 あなたは、自分が健康であると思いますか。(○は1つだけ)

1	思う	62.1	2	思わない	36.3	(無回答)	1.5
---	----	------	---	------	------	-------	-----

問38 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけていることはどれですか。(○はいくつでも)

1	適度な運動	55.0	5	趣味などの生きがいづくり	44.8
2	適度な休養	45.9	6	その他()	2.6
3	食事などの栄養バランス	57.4	7	特になし	7.5
4	各種定期検診の受診	35.3		(無回答)	1.2

< 都市交通 >

近年、交通を取り巻く環境が大きく変化していることから、市では安全で円滑な交通体系の見直しを総合的に図るため、総合都市交通体系整備計画を平成15年～16年度にかけて策定する予定です。

この調査で市民の皆さんの考えをお聞きし、整備計画に反映するための基礎資料とさせていただきます。

問39 あなたは通勤・通学・買い物など外出の際に、主にどのような交通手段を利用していますか。
(○はいくつでも)

1 電車	-----> (問39-1へ)	54.0	5 自転車	27.7
2 自動車	-----> (問39-2へ)	52.7	6 徒歩	37.7
3 バス		33.8	7 その他 ()	1.0
4 バイク		6.3	(無回答)	1.0

この設問で「1 電車」と「2 自動車」の両方をお答えの方は、問39-1と問39-2の両方をお答えください。

(問39で、「1 電車」とお答えの方に)

問39 - 1 駅まではどのような交通手段を利用していますか。(○はいくつでも)

1 バス	39.3	5 自転車	17.5
2 自動車(ご自身で運転)	7.0	6 徒歩	63.8
3 自動車(ご自身以外の運転による送迎)	10.4	7 その他 ()	1.3
4 バイク	3.6	(無回答)	0.3

(問39で、「2 自動車」とお答えの方に)

問39 - 2 自動車から電車・バスや自転車などへ、交通手段の転換を進める動きが見られますが、あなたは自動車からこれらの交通手段へ替えていく考えはありますか。(○は1つだけ)

1 替えようと思っている	6.4	3 あまり替えようとは思わない	30.6
2 条件が整えば替えようと思っ ている	33.1	4 替えるつもりはない (無回答)	24.8 5.1

問40 あなたは、交通手段を利用する場合不満を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

1 いつも感じている	-----> (問40-1、問40-2へ)	21.0
2 時々感じている	-----> (問40-1、問40-2へ)	40.9
3 あまり感じない	-----> (問40-3へ)	20.6
4 不満はない	-----> (問40-3へ)	10.4
5 満足している	-----> (問40-3へ)	3.1
(無回答)		4.0

(問40で、「1」から「3」のいずれかをお答えの方に)

問40 - 1 不満を感じる内容は何ですか。(○はいくつでも)

1 道路が少ない	5.3	7 電車・バスが時間通りに運行されない	20.7
2 道路が混雑している	41.5	8 電車・バスの運行時間が短い	10.5
3 道路が狭い	27.0	9 バスの路線が悪い	14.6
4 道路の安全性が劣っている	15.7	10 駐車場が少ない	23.1
5 駅が遠い	23.7	11 駐輪場が少ない	16.1
6 電車・バスの本数が少ない	36.7	12 その他 ()	10.5
		(無回答)	4.7

(問40で、「1」から「3」のいずれかをお答えの方に)

問40 - 2 不満を感じている場所など、具体的なものがありましたらご記入ください。

--

(問40で、「4 不満はない」か「5 満足している」とお答えの方に)

問40 - 3 不満を感じないのはなぜですか。(○はいくつでも)

1 道路網が充実している	21.6	4 渋滞が少ない	16.8
2 電車・バスなどの公共交通が充実している	47.0	5 その他()	6.9
3 駅が近い	59.5	(無回答)	2.6

問41 自動車から電車・バスや自転車などへ、交通手段の転換を進める際に、あなたはどのような課題があると思いますか。(○はいくつでも)

1 駐車場や駐輪場の整備	45.8	5 職場などの受け入れ態勢	6.0
2 電車・バスの運行本数・運行時間の充実	49.3	6 利用者の心構え	20.2
3 電車・バスの定時性確保	20.1	7 その他()	5.3
4 電車・バスの料金体系	37.2	(無回答)	11.1

問42 JR八王子駅、西八王子駅、高尾駅、京王八王子駅等の駅周辺の交通環境について、あなたはどのような課題があると思いますか。(○は2つまで)

1 歩行安全性の向上	30.1	5 駐車場の増設	21.7
2 バス乗り場の改善	12.3	6 駐輪場の増設	27.4
3 車両の排除強化(歩行者専用の道路整備)	15.0	7 このままで良い	5.3
4 車両との共存(歩行者優先の道路整備)	22.1	8 その他()	7.3
		(無回答)	9.8

問43 あなたが、今後の交通環境の整備に期待することは何ですか。(○は2つまで)

1 幹線道路の整備	15.3	6 バスの運行時間の拡大	18.5
2 生活道路の整備	22.6	7 バス路線の見直し	13.6
3 歩道及び歩行者道の整備	29.7	8 鉄道と道路の立体交差	25.3
4 自転車道の整備	18.8	9 その他()	2.6
5 バスの定時性確保	11.2	(無回答)	7.7

問44 その他にも今後の交通環境の整備についてご意見がございましたらご記入ください。

--

< 市政への要望 >

問45 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～34の中から第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。
(それぞれ1つずつ)

1 財政再建	18.5	19 交通安全対策	6.1
2 行財政改革	16.2	20 防犯対策	26.6
3 学校教育	11.8	21 防災対策	5.1
4 青少年の健全育成	11.2	22 高度情報化社会への対応	1.5
5 生涯学習	4.7	23 商・工業などの地域経済対策	5.7
6 文化施設・文化事業	4.8	24 道路整備	9.6
7 国際化の推進	1.3	25 交通機関・駐車場の整備	7.0
8 コミュニティづくり	1.6	26 緑の保全や公園の整備	7.6
9 学園都市づくり	0.6	27 下水道処理	4.3
10 男女共同参画社会づくり	0.6	28 都市整備事業(再開発、区画整理等)	3.2
11 保健医療	22.4	29 清掃事業(ごみ、し尿処理、リサイクル)	10.5
12 介護保険	11.2	30 公害防止対策	3.5
13 社会福祉(ひとり親、低所得者)	9.3	31 都市景観	2.7
14 高齢者福祉	30.6	32 観光・レクリエーション	2.0
15 心身障害者福祉	4.7	33 不法投棄・放置対策(自動車、自転車、バイク、ごみ等)	15.1
16 少子化対策・子育て支援	10.3	34 その他()	1.4
17 消費者保護	5.6	35 特にない	0.3
18 住宅対策	5.0	(無回答)	4.4

第1位	第2位	第3位

第1位、第2位、第3位を合算した総合の数字を掲載した。

第 2 章

< 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度 >

八王子市は、市民の皆さんが参加した「八王子ゆめおり市民会議」で策定した素案をもとにして、「人とひと、人と自然が共生し、だれもが生き生き生きるまち」を基本理念とする新たな基本構想・基本計画（八王子ゆめおりプラン）を策定し、本年度から実施しています。

この調査は、同プランの中で掲げた各施策の達成度に対する指標として、市民の皆さんの意識を調査させていただくものです。

施策No - 01 市民自治の推進：市民協働をすすめているまちであると感じる市民の割合

問46 八王子ゆめおりプランは、市民と行政の協働が基盤となっています。あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

1	その内容を理解している	9.1	3	知らなかった	63.1
2	言葉は聞いたことがある	24.1		（無回答）	3.7

問47 「協働」とは、「ともに手を携えてものごとをすすめていく」という意味で、「参加」にくらべて対等かつ主体性をもった語感で使われることが多い言葉です。

あなたが、今後、特に市が市民とともに協働していくことが必要だと感じる分野はどれですか。

（○は3つまで）

1	市民が行政に参加できる仕組みづくり	34.8	7	防災・災害対策に関するもの	43.7
2	高齢者に関するもの	43.9	8	産業振興に関するもの	8.9
3	障害者に関するもの	13.6	9	環境保全や緑地の創造に関するもの	20.3
4	こどもに関するもの	19.2	10	資源・エネルギーの有効活用に	15.1
5	スポーツ・レクリエーション等に	9.5		関するもの	
6	まち並み・景観に関するもの	19.0	11	図書館・公民館の有効活用法な	18.3
				ど生涯学習に関するもの	
				（無回答）	6.3

問48 あなたは、八王子市が市民協働を進めているまちであると思いますか。（○は1つだけ）

1	そう思う	3.6	4	思わない	14.8
2	どちらかといえばそう思う	10.7	5	わからない	39.4
3	あまりそう思えない	28.0		（無回答）	3.7

施策No - 04 説明責任の着実な実行：市政情報が容易に入手できると感じる市民の割合

問49 あなたは、市政情報に対して関心がありますか。（○は1つだけ）

1	関心がある	23.5	4	関心がない	5.1
2	多少は関心がある	42.6	5	わからない	7.2
3	あまり関心がない	18.8		（無回答）	2.9

問50 あなたは、市政の情報を主にどこから得ていますか。(○は3つまで)

1 広報はちおうじ	83.8	6 新聞・テレビなどのマスメディア	23.9
2 市のホームページ	6.0	7 八王子テレメディア	7.4
3 町会・自治会の回覧物・掲示物	41.9	8 J R八王子駅前河川情報板	1.3
4 地域の新聞(ミニコミ紙)	7.3	9 その他()	0.9
5 市で作成したパンフレット、ポスターなど	12.6	10 特にない	6.3
		(無回答)	2.5

問51 あなたは、現在の情報入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

1 満足している	5.2	4 満足していない	10.3
2 ほぼ満足している	32.9	5 わからない	19.6
3 あまり満足していない	28.0	(無回答)	4.1

問52 あなたは、市政の情報の入手にあたり、どのような点を改善するのが効果的だと思いますか。(○は2つまで)

1 広報はちおうじの内容を充実させる	67.5
2 市で案内やパンフレットなどを数多く作成する	18.6
3 ホームページの更新を早める	10.2
4 市民が自由に利用できる市政資料やパソコンが備わったスペースを設置する	11.8
5 携帯電話やＬモードなどによる情報サービスを充実させる	6.0
6 市のサービス・催し物などのパンフレットや案内がまとめて入手できる情報コーナーを設置する	32.6
7 その他()	4.3
(無回答)	6.9

施策No - 11 地域での支え合い：地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがある市民の割合

問53 あなたは、この1年間にボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

1 ある	16.9	2 ない	80.5	(無回答)	2.6
------	------	------	------	-------	-----

問54 あなたは、この1年間に盆踊りや清掃など地域の行事に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

1 ある	46.5	2 ない	51.3	(無回答)	2.3
------	------	------	------	-------	-----

施策No - 12 暮らしの相談・支援：相談の機会が充実していると感じる市民の割合

問55 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

1 ある	16.2	2 ない	81.7	(無回答)	2.1
------	------	------	------	-------	-----

(問55で、「2 ない」とお答えの方に)

問55 - 1 市の相談窓口を利用しないのはなぜですか。(○は2つまで)

1 予約が取れない	0.8
2 平日に相談に行けない	13.6
3 家族・友人・知人など身近な人に相談した	16.1
4 市の相談窓口がわからない	12.2
5 特に相談することはない	58.3
6 その他()	4.0
(無回答)	2.8

問56 市では、様々な相談を行っています、あなたが知っている相談はどれですか。

(○はいくつでも)

1 健康・栄養・歯	28.4	11 外国人生活相談	5.1
2 母子・福祉	34.1	12 人権	7.4
3 女性のための相談・カウンセリング	10.7	13 交通事故	11.4
4 法律	34.6	14 消費者	15.3
5 不動産	15.2	15 子育て	18.9
6 登記	12.9	16 心の相談	15.7
7 税金	39.4	17 総合教育相談室	5.0
8 相続・遺言等暮らしの手続	18.6	18 こども電話相談	10.3
9 年金・雇用保険・労働条件相談	32.7	19 どの相談も知らなかった	18.3
10 行政	9.6	(無回答)	7.7



(問56で、「1」から「18」のいずれかをお答えの方に)

(問56-1へ)

問56 - 1 あなたは、市で行っている相談をどのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

1 広報はちおうじ	80.3	5 市で作成したパンフレット・ポスターなど	15.5
2 市のホームページ	5.5	6 新聞・テレビなどのマスメディア	9.2
3 町会・自治会の回覧物・掲示物	19.7	7 市役所の窓口や電話での問い合わせ	18.7
4 地域の新聞(ミニコミ紙)	4.1	8 その他()	6.1
		(無回答)	1.5

問57 あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(○は1つだけ)

1 充実している	3.8	4 充実していない	4.5
2 おおむね充実している	22.1	5 わからない	53.7
3 あまり充実していない	9.8	(無回答)	6.1

施策No - 18 医療体制づくり：かかりつけ医を決めている市民の割合

問58 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

1 決めている	62.7	2 決めていない	34.1	(無回答)	3.2
---------	------	----------	------	-------	-----

施策No - 22 生涯学習の推進：生涯学習活動をしている市民の割合

問59 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

1	パソコン・インターネット	24.0	8	料理	5.9
2	音楽	9.4	9	洋裁	1.5
3	美術	4.6	10	和裁	0.4
4	写真	3.1	11	園芸	7.9
5	外国語	7.2	12	職業上必要な知識・技能	15.1
6	文学	4.9	13	その他()	5.0
7	歴史	4.0	14	特に学習していない (無回答)	41.1 7.6

(問59-1へ)

(問59で、「1」から「13」とお答えの方に)

問59-1 あなたがこの1年間で取り組んだ学習活動の頻度は、延べどのくらいになりますか。
(○は1つだけ)

1	毎日	15.3	3	週1回	26.4	5	年3～6回	7.4
2	週2～3回	19.3	4	月1～2回	22.7	6	年1～2回	6.7
							(無回答)	2.2

問60 あなたが今後取り組みたいと思っている学習活動はどれですか(○はいくつでも)

1	パソコン・インターネット	37.0	8	料理	15.5
2	音楽	11.9	9	洋裁	3.7
3	美術	7.2	10	和裁	1.3
4	写真	7.1	11	園芸	16.2
5	外国語	18.4	12	職業上必要な知識・技能	17.9
6	文学	5.1	13	その他()	4.0
7	歴史	11.5	14	特に学習したいとは思わない (無回答)	13.9 9.3

施策No - 23 生涯スポーツの推進：週1回以上スポーツをする成人の割合

問61 あなたがこの1年間に行ったスポーツはどれですか。(○はいくつでも)

1	水泳	14.8	16	釣り	7.5
2	ジョギング・マラソン	9.2	17	卓球	4.2
3	テニス	5.1	18	野球・ソフトボール	4.0
4	スカッシュ	0.2	19	サッカー	4.0
5	体操(ラジオ体操、健康体操など)	12.7	20	バスケットボール	1.1
6	ハイキング・登山	17.2	21	バレーボール	1.6
7	ゴルフ	9.9	22	エアロビクス	2.1
8	サイクリング	5.9	23	バトミントン	3.6
9	ウォーキング	25.7	24	武道(柔道、剣道、弓道、空手道、 少林寺拳法など)	1.6
10	サーフィン	1.0	25	ダンス(社交ダンス、フォークダ ンスなど)	3.6
11	ダイビング	1.0	26	ラグビー	0.3
12	スキー・スノーボード	7.8	27	その他()	3.4
13	トレーニング(器具を使うもの)	5.1	28	特にな (無回答)	27.0 5.8
14	ストレッチ	11.5			
15	なわとび	2.4			

(問62へ)

(問61で、「1」から「27」のいずれかをお答えの方に)

問61 - 1 あなたがこの1年間にスポーツをしたのはどのような理由ですか。(○は3つまで)

1 健康・体力づくり	60.0	6 自己鍛錬	8.1
2 楽しみ・ストレス解消	52.2	7 自己記録の更新・能力の向上	1.6
3 運動不足の解消	48.6	8 競技会などへの参加	2.9
4 友人との交流	27.6	9 なんとなく	1.0
5 家族とのふれ合い	14.2	(無回答)	2.5

(問61で、「1」から「27」のいずれかをお答えの方に)

問61 - 2 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

1 週に1回以上	38.0	3 3カ月に1~2回	14.6	5 その他()	2.7
2 月に1~3回	28.6	4 半年に1~2回	12.7	(無回答)	3.4

施策No - 27 計画的なまちづくり：八王子の景観への市民評価度

問62 あなたは、八王子市の様々な自然景観・都市景観の中から選定された『八王子八十八景』を知っていますか。(○は1つだけ)

1 選定されたことは知っている	24.9	3 知らない	53.3
2 知っている場所がある	17.9	(無回答)	3.8

問63 あなたは、様々なまちの景観のうち、魅力的だと感じる景観はどのような景観ですか。(○は1つだけ)

1 市街地などの都市景観	4.6	3 歴史や文化を継承する景観	19.5
2 緑や水辺などの自然景観	65.6	4 その他()	2.2
		(無回答)	8.0

問64 あなたのお住まいの地域は、景観に配慮されていると思いますか。(○は1つだけ)

1 配慮されていると思う	28.9	3 わからない	29.5
2 配慮されていないと思う	37.9	(無回答)	3.7

問65 あなたは、景観づくりのためにどのようなことが必要であると思いますか。(○は1つだけ)

1 建物の色彩や高さなど地域における景観づくりのルール化	31.2
2 花や緑を増やすなど、地域の美化推進	40.9
3 市民への景観意識の啓発	19.2
4 その他()	3.1
(無回答)	5.6

施策No - 33 体制づくりと人材育成：にぎわいと活力があるまちとを感じる市民の割合

問66 毎年、多くの方が市外から八王子市を訪れていますが、その主な目的は何だと思えますか。
(○は2つまで)

1 商業施設	19.5	4 行事・イベント	29.2
2 豊かな自然環境	52.5	5 その他()	5.8
3 歴史的・文化的な観光地	22.8	(無回答)	9.2

問67 あなたは、八王子市はにぎわいと活力があるまちと感じますか。(○は1つだけ)

1 感じる	4.5	3 あまり感じない	41.4	5 わからない	9.3
2 多少感じる	23.5	4 感じない	18.0	(無回答)	3.4

施策No - 38 環境保全体制の確立：環境に関心がある市民の割合

問68 あなたは、市が環境問題を解決するために、市と市民の皆さん・事業者とが一緒になって環境を保全し、回復し、創造していくことに取組めるよう制定した「八王子市環境基本条例」(平成13年12月28日公布)を知っていますか。(○は1つだけ)

1 内容を知っている	2.2	3 知らない	75.0
2 条例名は聞いたことがある	18.7	(無回答)	4.1

問69 あなたは環境問題に関心がありますか。(○は1つだけ)

1 多いにある	20.4	3 少しはある	37.3
2 ある	34.7	4 ない	4.0
		(無回答)	3.6

(問69で、「1」から「3」のいずれかをお答えの方に)

(問69-1へ)

問69 - 1 どのような環境問題に関心がありますか。(○は2つまで)

1 大気汚染	58.2	4 地球温暖化	48.9	6 酸性雨	5.2
2 水質汚濁	36.1	5 オゾン層の破壊	19.1	7 その他()	2.3
3 土壌汚染	10.7			(無回答)	1.6

施策No - 42 資源・エネルギーの有効活用：省エネ・省資源を意識した暮らしを送っている市民の割合

問70 省エネ・省資源のために行っていることはありますか。(○はいくつでも)

1 冷暖房を控えている	66.9	5 マイカーの使用を控えている	17.4
2 電気をこまめに消している	69.9	6 省エネ製品を利用している	15.6
3 冷蔵庫の開閉に気を遣っている	28.5	7 買物用のバックを持参して買物にいく	24.4
4 ごみ減量のためのリサイクルを心がけている	44.2	8 その他()	1.7
		9 特に何もしていない	5.2
		(無回答)	3.3

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、7月3日(木)までにご投函ください。

市 政 世 論 調 査 報 告 書 (第 3 5 回 ・ 平 成 1 5 年)

平成 15 年 9 月

発 行 東京都八王子市元本郷町三丁目24番 1 号
八王子市 総合政策部 広聴広報室
電話 (0426) - 20 - 7411 (直通)

調査担当 株式会社 サ-ベ-イ リサ-チ センター
電話 (03) - 3802 - 6711 (代表)
